

滋賀医科大学外科
同門会誌

2016年度

一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会

目 次

巻 頭 言

巻 頭 言	小玉 正智	1
巻 頭 言	谷 徹	2
滋賀医科大学外科同門会誌 巻頭言	浅井 徹	3
オリンピック・イヤーに思う	谷 眞至	4
巻 頭 言	花澤 一芳	5
滋賀医科大学外科同門会の理事就任にあたって	平野 正満	6
同門会 理事就任にあたって	来見 良誠	7
巻 頭 言	遠藤 善裕	8
2016年度 滋賀医科大学外科同門会誌「巻頭言」	井上 修平	9
巻 頭 言	白石昭一郎	10

追 悼

中根佳宏先生追悼	小玉 正智	11
----------	-------	----

2015年度 同門会賞受賞コメント

同門会賞受賞	竹林 克士	13
理事長賞受賞	三宅 亨	14
奨励賞受賞	川口 庸	15

同門会便り・新入会員紹介

近江草津徳洲会病院	小池 雅人	17
近江八幡市立総合医療センター	松林 景二	18
京都第一赤十字病院	糸井 尚子	19
甲賀病院	藤田 琢也	20
暖生会脳神経外科病院	村上耕一郎	21
東近江総合医療センター	太田 裕之	22
日野記念病院	児玉 泰一	23
南京都病院	朝倉 庄志	24
新入会員紹介		25

教室業績

消化器・乳腺・一般外科	27
心臓血管外科	43
呼吸器外科	50
総合外科学講座	55
看護学講座	59

関連病院業績

赤穂市民病院 外科	63
宇治徳洲会病院 外科	64

大津赤十字病院 呼吸器外科	64
近江草津徳洲会病院 心臓血管外科	65
近江八幡市立総合医療センター 心臓血管外科	66
音羽病院 呼吸器外科	67
関西医科大学 外科	68
岸和田徳洲会病院 心臓血管外科	69
きづきクリニック	70
岐阜赤十字病院 麻酔科	70
京都医療センター 呼吸器外科	70
京都第一赤十字病院	71
草津総合病院 一般外科・消化器外科	72
草津総合病院 呼吸器外科	73
甲賀病院 呼吸器外科	73
古賀病院 21	74
小松市民病院	75
佐藤病院	75
滋賀県立成人病センター 呼吸器内科	75
静岡がんセンター 食道外科	77
静岡がんセンター 大腸外科	77
新古賀病院 消化器外科 総合診療・救急部	83
高井病院 乳腺外科	84
武田総合病院 呼吸器外科	85
帝京大学医学部附属溝口病院 外科	85
暖生会脳神経外科病院 外科	88
第一東和会病院 内視鏡外科	88
豊郷病院 外科	89
長浜赤十字病院	89
萱島生野病院 外科	90
のじまバスキュラーアクセスクリニック	90
はえうち診療所	92
東近江総合医療センター 外科	92
東近江総合医療センター 呼吸器外科	95
日野記念病院 外科	98
ベルランド総合病院 外科	99
ベルランド総合病院 乳腺センター	100
みずき皮膚科クリニック	101
南京都病院 呼吸器外科	101
野洲病院	102
横浜総合病院 ハートセンター 心臓血管外科	103

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

役員一覧	105
定款	106
賛助会員	109
広告掲載ご協力	110

卷 頭 言

- | | |
|-------------------------|--------|
| ■一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 理事長 | 小玉 正智 |
| ■一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 理事 | 谷 徹 |
| ■一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 理事 | 浅井 徹 |
| ■一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 理事 | 谷 眞至 |
| ■一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 理事 | 花澤 一芳 |
| ■一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 理事 | 平野 正満 |
| ■一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 理事 | 来見 良誠 |
| ■一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 理事 | 遠藤 善裕 |
| ■一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 理事 | 井上 修平 |
| ■一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 理事 | 白石 昭一郎 |

◆ 巻 頭 言



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

理事長 小玉 正智

同門会の先生におかれましては、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

早いもので、同門会が一般社団法人としてスタートして、平成29年は4回目の定例総会を開催することになります。昨年より新しい6名の理事が参加され、各委員会の担当理事として活動していただいております。同門会の体質強化ができましたので、更なる飛躍を期待しています。

同門会で取り組みたい課題について述べたいと思います。

第一は、外科医の希望者が激減している現象です。その原因はいろいろな問題が考えられますが、他科に比べ一人前の外科医になるまでの修練期間の長いこと、勤務条件の厳しさ、それに比例した収入の評価の格差がないこと等の理由が考えられます。本学は附属病院の病床数が612床のため、臨床研修医の定員が55名で、後期研修医として大学に残る医師が少ないことが課題です。

医師を志して、医学生になった時点から将来どの科を選ぶか関心をもっていますので、病気に悩む患者を外科的治療で救命している希望のある外科医の生きがいや矜持を学生時代から理解してもらう必要があります。

第二は、大学では、教育、臨床、研究を担っており、質の高いレベルを維持するためにも、難しい課題ですが、外科の診療科領域の定員増加、または講座化を願っています。外科では、総合外科ができましたが、さらに呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、および形成外科が講座化できれば、大学と病院、および地域医療に強力な機能の向上が期待されます。

第三は、平成30年度から専門医制度が開始される予定ですが、外科では外科専門医が基本で、その上に各領域の専門医を作る2階建てが検討されています。将来は、外科医として認知される必須の資格となるので、大学教室と関連病院の密接な卒後研修プログラムのシステムの構築が必要になります。

今後、これらの課題にも取り組んで行きたいと思いますので、会員の皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

◆ 巻 頭 言



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
滋賀医科大学 バイオメディカル・イノベーションセンター
特任教授 谷 徹

現役を退いて2年を超えると臨床の情報に接することが少なく、疎くなる。薬剤の説明会でさえ、情報入手の機会として大切になる。

兼ねてから同門会はその情報発信の一つの手立てと見てきたが、日常の活動も含めて同門会にとっては会員のため臨床および医療に関する情報の発信が大きなサービスとなることを確信するようになった。

その中で最近接した2、3の事柄について述べてみる。

先日、関連病院長会議で新しい専門医制度の状況報告が第三者委員会委員からの講演としてあった。この内容事態は多くの方がご存じだと思うが、結局この講演会までに、来年の方針が決まら無かったとの事であった。あまりの無責任な状況に呆れ返っていたら一昨日新聞には新しい専門医制度の一年延期が報告されていた。外科医にとっても医師にとっても、病院、特に地方の病院にとっては専門医制度の内容とその成否は大きく個人の生涯、病院経営、その存立に影響するものである。にもかかわらず上記のように無責任な事態に立ち至っている現状であった。このような状況は同門会がいち早く知り得、情報を発信すべきと考える。

もう一つ、高額な医薬品の問題である。年間一人当たり数千万の高額医薬品のガイドラインがやっと作られるようになった。途轍もない金額の治療を保険で受けられ、患者にとっては恵まれた環境と言えるが、医療全体を考えた時このような状況は財政破綻に至る道筋である。このような臨床上の重大な問題は会員にとって必要な情報となり、同門会としても何らかの方策考えるべきと感じた。

これらの問題について、医師会では十分な情報供給が行われているかもしれないが、大学とその関連病院で勤務する若い先生方（外科同門会会員）に届いているようには思えない。

上記状況に鑑み、同門会の活動の活性化が必要と言ってきたが、本学同門会との連携が希薄であることに気が付いた。本学の同門会も情報発信が極めて少なく、総意として大学運営に何らかの提言をすることも無く、個人的なものに留まっているようにさえ思える。今後滋賀医科大学卒業生同門会との連携を得て、大学から国政に渉る重要な情報の取得、発信に努めていく必要があると感じる。

国内、国外ともテロ、難民、経済等に不安定要素が多い昨今である。また元気な皆さまとお会いできる新年会を楽しみにしている次第である。

◆ 滋賀医科大学外科同門会誌 巻頭言



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
滋賀医科大学 外科学講座(心臓血管外科・呼吸器外科)

教授 浅井 徹

2016年は、戦後初めてアメリカ大統領が原爆被爆地広島を訪れて献花したことや、リオオリンピックでは多くの日本人選手の活躍があり自分が日本人であることを自覚する機会が多かったように思います。世界的には、いつまでも終わらぬテロ事件や世界経済の減速など見通しの不透明な、難しい時代を反映する年でもあります。同門会員の皆様はどのようにお過ごしでしょうか。

2016年は、私たちの教室始まって以来の国際学会 ISMICS Winter Workshop (国際低侵襲心臓血管胸部外科学会) を10月に開催することになりました。難易度の高い心臓血管や呼吸器の外科手術をいかに低侵襲に行うことができるかだけでなく、新しい Innovative な手術の開発を取り上げてきた革新的で重要な学会です。この原稿を書いているのは、まだこの初めての国際学会の手探りの準備に追われている最中です。このような、20名を超える海外からの著名な外科医が Faculty として招請講演する本国際学会は、日本本土での開催は初めてということですが、全国だけでなく世界中からの外科医の参加は、教室にとっても同門会にとっても輝かしい経験です。この会の開催に当たり滋賀医科大学外科学講座同門会、また同門会員の所属される多くの施設から深いご理解と力強いご支援をいただき開催できる見通しとなりました。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。

近年、外科学の世界が大きく変わり、新たなデバイス開発による新しい治療オプションの多様化が顕著になってきています。若い外科医たちが学ぶべき知識や技術は年々変化し増加しています。このような状況でこそ重要となることは、原点に返って患者一人ひとりをよくみることに。専門領域の臓器の病態をこえて他の臓器を含めた全体視野をふまえた臨床感覚をみがくことの2点であると、私は常々考えています。

外科医とは何か。外科医は、内科的保存療法では超えられない状態を手術という手段を用いて劇的な問題解決にみちびく画期的なスターであることに若い学生や医師はあこがれますが、実はさらに重要なことは内科だけでは超えられない広い視野を持って患者を診る、治療するという立場であるということです。最先端の技術を磨くだけではなく、枠にとらわれずに患者を隅から隅まで把握するのは外科医であること。この覚悟の有無が、本来の外科医を他の専門領域の医師と差別化するのではないかと思います。

我が国の外科を含めた専門医制度や、医療事故に対する報道など、今後の我々外科医が進む道はなだらかではありません。私たちは、教室や同門会が力を合わせ一人ひとりが外科医としての力を向上させ、仲間を育て、次世代の信頼される医療人を輩出する。このミッションを再確認して本年度も皆さんと頑張っていきたいと思っています。

◆ オリンピック・イヤーに思う



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
滋賀医科大学 外科学講座(消化器・乳腺・一般外科)

教授 谷 眞 至

同門会の先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は同門会ならびに外科学講座の運営にご理解をいただき誠に有難うございます。

2016年はリオ・オリンピックが開催されました。この機会にテレビの買い替えをされた先生もいらっしゃるかと思います。この同門会誌が発行されるころには、4年後の東京を目指して、アスリートの皆さんはトレーニングに励んでいるものと思います。普段、気にしていない種目であっても、同門会会員の皆様方はオリンピック・ゲームだけは特別な思いでTVの前で必至に応援していたのではないのでしょうか。極限を目指したプレーに感動するのは、それぞれの選手が日の丸を背負い、プレッシャーに押しつぶされそうになっても今までの苦しい練習をバネにしてそれを跳ね除け、持てる以上の力で競技に取り組むその姿勢が心を打つからではないのでしょうか。わたしたちも、日の丸を背負うことの意味の重さを改めて認識しなければならないと思います。

科学の分野では、理化学研究所の森田浩介九州大学大学院理学研究院教授が率いる新元素探索チームが、原子番号 113 番の新元素の生成に成功しました。日本を中心とする研究グループが元素の発見者として認められたのは、史上初めての快挙です。国際的なルールにより、新元素の発見者には命名する権利が認められるそうですが、原子番号 113 番の新元素に、「Nh ニホニウム」という名前が名付けられました。嬉しいのは元素名が「日本」の国名由来のものとなったことです。森田浩介教授も日の丸を背負っての偉業であったと思います。

一方、同門会においては監事をお努めになられ、旧第1外科では長きにわたり助教授として外科医の育成に尽力された中根佳宏先生がご逝去されました。最後まで患者さんを大事にされた中根佳宏先生のお人柄を偲ぶとともに中根佳宏先生が大事に育ててこられた滋賀医科大学外科学講座(消化器・乳腺・一般外科)も、滋賀県を背負って立つという意気込みで、医学発展に寄与できるよう責任のある診療・研究・教育・社会貢献を頑張る所存ですので、今後のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

◆ 巻 頭 言



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
医療法人社団昂会 日野記念病院

院長 花澤 一芳

この度滋賀医科大学外科同門会の理事（会計・総務担当）を拝命いたしました。

もとより微力ではございますが、歴史と伝統の重みのある当同門会の発展に少しでも貢献できればと思っております。滋賀医科大学消化器外科学講座で小玉会長、谷徹前教授に多くの事を学び豊郷病院で副院長として3年間。現在昂会日野記念病院に勤務しております。地域医療を担う一病院長としてあっという間に約10年経ちました。当時は医師確保がほぼ不可能な状況下で外来診療科の減少が東近江医療圏の全ての病院で生じており、医師確保に奔走する毎日でした。滋賀医大はもとより京都大学医学部、府立医大、遠くは慶應大学、順天堂大学、北里大学、金沢医大等、知人を頼りに岡山大学の医局への医師派遣依頼への挨拶まわりの2-3年間でした。帰するところは外科学講座の小玉会長、浅井 徹教授、谷 徹前教授、谷 眞至教授の甚大なるご協力を得て診療科の拡充が可能となった現在であります。

さて同門会の主な役割は会員の親睦、学術集会の開催と更なる外科学講座の発展と支援が目的であります。同時に優しい、温かい、楽しい同門会である事が継続存在の必須条件であらねばなりません。会員数の増加は当同門会の必然の使命と考えます。今までに私は同門会の先生方より多大な数あるご支援を頂きました。

歴史の変遷とは言え私達が開腹手術に没頭した大半の手術手技も残念ながら今やコモディティー化しつつあります。故に若い外科医の育成にわれわれの関連施設自体も医療水準の高度化が必須となっております。次世代に誇れる関連病院として、外科学講座に引き継ぎ（同門会に如何に恩返しすればよいか）致したいと思っております。一理事として充実した同門会の発展に誠心誠意努力する所存であります。会員皆様の貴重なご意見を頂きご支援頂きますようお願い申し上げます。

◆ 滋賀医科大学外科同門会の 理事就任にあたって

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
社会医療法人誠光会 草津総合病院

院長 平野 正満



平成 28 年 1 月 16 日に開催されました滋賀医科大学外科同門会の第 2 回理事会で、私の同会理事への就任が決定されました。昭和 55 年春に滋賀医科大学第 2 外科に入局し、約 36 年の月日が流れる中で、外科医として成長させていただいた大学、そして同門の皆様へ恩返しのお機会をいただいと感謝申し上げますとともに、その責任の重さを痛感しています。同門会会長の小玉先生や外科学教室の浅井先生、谷先生の両教授をはじめ、多くの諸先輩方にご指導ご支援を賜りながら、微力ではございますが、同門会の発展に尽力したいと思います。

今回、私を含め新たに 6 名の関連病院の先生方が理事として同門会運営に参加・協力することになりました。私たちの使命は同門会の活性化にあります。主に地域で活動している多くの同門会員が同門会に何を期待し何を求めているかを聞き出し拾い上げながら、一人ひとりの会員の声や要望を同門会の運営に反映していくことが重要な役割です。関連病院の先生方と情報を密に共有しながら、今まで以上に信頼され必要とされる同門会に発展することで、大学を中心とした仲間、帰属意識が醸成されることを期待します。紆余曲折を経ながら平成 30 年 4 月から新専門医制度がスタートしようとしています。外科領域プログラムでは大学が基幹施設となり、私たちのような地域の病院は関連施設となります。2 年間の初期臨床研修を終了するとその後の 3 年間は主に大学で研修を積み専門医を目指すこととなります。大学の復権などとの指摘もありますが、外科医の人材確保と育成という大きな目標と使命を達成するためには必要な制度といえます。同門会には若手外科医の育成支援や外科医の能力開発推進支援、地域医療への貢献などの役割も担っています。プロフェッショナル集団としての同門会は新専門医制度の運用に全面的に協力し多くの優れた専門医を輩出する責任があります。地域と大学を繋ぐ架け橋として同門会の存在は今後さらに重要になってくるでしょう。私も一人の理事として地域で活動する医療人の立場から同門会の運営に積極的に参画して行きたいと考えています。

◆ 同門会 理事就任にあたって



一般社団法人滋賀医科大学同門会 理事
独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院

院長 来見 良誠

この度、滋賀医科大学外科同門会の理事を拝命し同門会の定款を読み返したところ、同門会の法人化に伴い、“会員相互の親睦を図る団体から、外科学講座の発展と向上および地域における外科診療の充実を目的とする人格のある組織に変貌を遂げた”ことを再認識いたしました。

高齢化社会における外科診療は、高い専門性を維持しながら総合力を要求されるようになって参りました。大学が専門性の高い外科診療と質の高い研究マインドを提供することによって、後進を育成する組織の核となり、地域での外科診療の専門性の維持を図るとともに、関連病院における地域医療に貢献できる人材育成が同門会の使命の一つであると思います。

私は、大学では約30年間にわたり消化器外科・乳腺一般外科に所属し、総合外科学講座に所属を移してからは地域医療の充実を目指して、4年間のNHO 東近江総合医療センターの勤務を経て現在はJCHO 滋賀病院に勤務しています。これらの経験をもとに現在の高齢化社会の医療を考えてみると、社会のニーズは、急性期を中心とする専門診療と総合診療の両立であると思っています。

外科医の人材育成は、医学生・研修医・専攻医の時期を経て外科専門医の資格取得が第一段階で、次にサブスペシャリティの専門医取得が目標となります。この道筋を確立していくことが同門会の重要なミッションであると思っています。

医学生や研修医が外科に興味を持つような研修会や研究会を通じて、外科入局者が増加するような環境整備や研究体制の支援を企画していきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

◆ 巻 頭 言



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
滋賀医科大学 臨床看護学講座

教授 遠藤 善裕

同門会の先生方におかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

本年1月の総会において、外科同門会の理事に選任されました。

旧第一外科、旧第二外科が、大講座である外科学講座として統合されたのを機会に、それぞれの同門会も外科同門会として統一され、さらには、一般社団法人として運営も順調に進んできています。出身母体の異なる2つの同門会が統合されることは、従来、困難なことであると考えられてきましたが、本同門会の成功は、他に類を見ず、学内外で、高く評価されていると伺っています。

私は、8年前より、滋賀医大看護学科において、看護学教育の一端を担っています。

看護師特定行為研修が、国公立大学として初めて本学附属病院で、本年6月より開始となりました。私も、開設準備より、本研修に参加しています。特定行為とは、診療の補助であります。平成27年10月より、看護師特定行為研修を修了した看護師には、医師の指示を待たずに手順書に従い、38の特定行為を行うことが可能になりました。本学での研修は、呼吸器関連の3特定行為の研修より開始しますが、将来的には、他の特定行為にも拡張の予定です。

各医療施設において、多くの、いわゆる“出来る看護師”により、実臨床が円滑に進んでいることは確かでありましょう。しかしながら、“出来る看護師”といえど、法的には、看護師の判断にて、医行為を行うことは許されておらず、万が一の事故時には、看護師を始め、医師にも管理責任が問われかねない状況です。今回導入された看護師特定行為研修は、現在、“出来る看護師”により非合法に行われている医行為を、意欲のある看護師には、合法的に看護師の活動範囲を増すことが可能となるものとも言えます。先生方の施設におきましても、参加をご検討いただければ、幸いです。

私は、本学の2期生で有り、卒後に旧第一外科に入局し、医局長、講師、病院教授を経て、看護学科臨床看護学講座教授を拝命しました。海外留学にて半年、国内研修にて、約1年、本学から離れたものの、それ以外は、長く、本学に勤務しております。一方、学外のことにつきましては、多くの会員諸氏のご意見、ご指導を仰ぎ、理事の職務を遂行出来ればと考えております。皆様の御協力をよろしくお願い致します。

◆ 2016年度 滋賀医科大学外科同門会誌 「巻 頭 言」

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター

院長 井上 修平



今回、外科同門会の企画（教育・学術）委員会の担当理事に任命されました。これまで以上に同門会の事業活動をサポートしていく所存ですので何卒宜しくお願い致します。早いもので私が国立病院機構東近江総合医療センターへ赴任してもうすぐ16年がたとうとしており、院長業務も9年目になりました。手術という仕事は殆ど関与出来なくなってきましたが、波瀾万丈の病院経営面では頑張ってきたと思っています。

現在、検討されている新専門医制度の目的のひとつは、国民に対して医師の専門性を分かりやすく明確にして診療の利便性を図ることにあるとされていますが、その過程で専門医の認定・更新制度を改革して医療および医師の質の向上を図ることも大きな目的とされています。そのためにスペシャリストとしての医師の育成・認定の仕組みを第三者の日本専門医機構に委ねる新たな取り組みで平成29年度からの開始予定となっていました。雲行きが怪しくなってきました。今回のシステムで本当に目的を達することができるのでしょうか？このままでは専門医を取得した時にはかなりの年齢になり学位がない医師が増加するのが目に見えており、医師の地域偏在の解決にはならないと思っています。私見ですが、医学部学生から研修医への教育制度に関しては、ポリクりに現在の研修医教育内容を導入し、卒業し国家試験に合格した時から専門医の研修を開始すべきだと思っています。また、これも私見ですが20歳を越えたら医学部の受験資格を厳しくするようにすれば、長期間国民のために働ける医師を増やすことができると思います。また新専門医制度の19領域目の総合診療は開業する医師の教育プログラムにすべきだと思っています。このままでは外科へ入局する若い医師がどんどん減少し少子（少外科医）高齢化の世界になるとと思っています。きっと新専門医制度導入は頓挫し従来通りの学会の研修プログラムへ戻っていくと思います。

とはいっても、滋賀医大外科学講座への入局者は減少の一途をたどっていて将来を危惧しています。我々、外科同門会が団結して入局者の勧誘を行っていかねばなりません。そのためにも魅力ある外科学講座のアピールや関連病院の充実を行っていかねばなりません。現在のシステムでは初期研修中に何とか外科医の魅力を伝えて同志を増やさねばなりません。その研修医ゲットプロジェクトをこの同門会で構築していこうと思っていますので、みなさんも宜しくお願い申し上げます。

◆ 巻 頭 言

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院 心臓血管外科

部長 白石昭一郎



このたび、滋賀医科大学外科同門会の理事に就任させていただきました。私は、昭和 60 年滋賀医科大学を卒業し、当時の第二外科学講座に入局いたしました。入局以来、あっという間に 30 年の年月を経たこととなります。

私が入局した当時は、外科学講座は、第一外科・第二外科に分かれ、更に第二外科は、呼吸器・心臓血管・腹部の 3 部門に分かれておりました。心臓血管外科は、現在とは異なり、かなり苦悩の時代でありました。その状況を一変させ、現在のように全国でも手術数や手術成績からも全国有数のものとなりえたのは、浅井徹教授のご尽力によるものです。

浅井教授の就任に当たり、私が、先生の手術を見学させていただいた時の衝撃がありました。その衝撃は、夏目漱石著の小説『夢十夜』の「第六夜」のようであると感じました。小説の内容は、「運慶が仁王像を彫っている。その姿を見ていた自分は、隣の男が『運慶は、木の中に埋まっている仁王を掘り出しているだけだ』と言っているのを聞く。」という話です。運慶は、平安時代末期、鎌倉時代初期に活動した仏師で、奈良県東大寺の金剛力士像などが有名です。この何もない木から木の中に埋まっているがごとくに仁王を掘り出している様子が、手術において組織を剥離し眼前に露出し、手術を進行させる様と酷似しているように感じた訳です。一説には、運慶は一人の仏師ではなく、数人の仏師のグループによるいわば「チーム運慶」とでもいうようなものだったといわれています。このような「チーム運慶」たる専門家集団が外科治療でも必要なものだと思います。浅井教授就任以来、心臓血管外科チームメンバーも増え、夫々のスキルも向上してきていると確信しております。

近年の外科は、新たな治療法が開発・進歩し、われわれ外科医が習得すべきことは膨大なものとなってきております。それにもかかわらず、医療安全の観点からわれわれ医師の果たすべき責任は重くなりつつあり、医師とくに外科医の将来は決して安泰なものではありません。滋賀医科大学外科同門会も、益々の発展し、外科学の発展や会員各位の外科医としての向上にも寄与する存在であればと考えます。理事としてその一端を担うことができればと微力ながら尽力する覚悟でございます。

中根佳宏先生追悼

故 中根 佳宏 先生



〈略 歴〉

1961(昭和36)年3月	京都府立医科大学 卒業
1982(昭和57)年2月	滋賀医科大学外科学第一講座 助教授
1991(平成3)年4月	近江八幡市民病院 副院長
1994(平成6)年4月	近江八幡市民病院 院長
2004(平成16)年4月	近江八幡市立看護専門学校 校長
2010(平成22)年4月	滋賀県国民健康保険団体連絡会 医療指導技師
2014(平成26)年1月	医療法人社団昂会介護老人保健リスタあすなろ 施設長
2014(平成26)年5月	医療法人社団昂会介護老人保健リスタあすなろ 非常勤医師

〈表彰歴〉

1996(平成8)年1月	滋賀県知事表彰 (国保審査員功労)
1996(平成8)年11月	厚生労働大臣表彰 (国保審査員功労)
2000(平成12)年9月	国保中央会表彰 (国保審査員功労)
2007(平成19)年11月	瑞宝小綬章

追 悼 文

滋賀医科大学外科同門会 前監事 故 中根佳宏先生

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会
理事長 小玉 正智

中根佳宏先生は、滋賀医科大学および近江八幡市民病院を中心として滋賀県の医療に貢献されましたが、平成28年2月24日に享年79歳で急逝されました。お元気で診療に従事していらっしゃいましたので、中根先生のご訃報は、ご指導頂いた門下生をはじめ多くの同門会員にとって驚きでした。ここに謹んで哀悼の意を表します。

中根先生は、昭和36年に京都府立医科大学をご卒業され、腎移植・内分泌外科をご専門とされました。昭和43年には「同種移植腎のRejectionに関する免疫学的研究」というタイトルで博士号を取得されています。その後腎移植について先進的な取り組みをされ、国内での普及に多大な貢献されました。昭和57年より滋賀医科大学外科学第一講座助教授に就任され、大学内では泌尿器科と共同して腎移植を立ち上げ、滋賀県内の多数の腎移植症例を施行し活躍されてこられました。平成3年から近江八幡市民病院の副院長に就任され、その後院長、国民健康保険審査員を歴任、地域医療・保健医療にも貢献されてきました。平成16年からは近江八幡市立看護専門学校校長として看護師の育成にも携われ、平成26年より医療法人社団昂会介護老人保健リスタあすなろにおいて地域老人医療を推進されました。これらのご業績に対して、平成8年には滋賀県知事表彰、厚生労働大臣表彰、平成12年には国保中央会表彰、および平成19年には瑞宝小綬章を受賞していらっしゃいます。

中根先生のご急逝に接し募る思いが尽きませんが、ここに同門会各位の敬愛を集められた中根佳宏先生のご遺徳とご功績を偲び、心より感謝の意を捧げますとともに謹んで先生のご冥福をお祈り申し上げます。

2015年度 同門会賞受賞コメント

■滋賀医科大学 外科学講座(消化器外科)
同門会賞受賞

竹林 克士

■滋賀医科大学 外科学講座(消化器外科)
理事長賞受賞

三宅 亨

■社会医療法人誠光会 草津総合病院 呼吸器外科 医長
滋賀医科大学 外科学講座(呼吸器外科) 非常勤講師
奨励賞受賞

川口 庸

◎ 2015年度同門会同門会賞受賞



滋賀医科大学 外科学講座（消化器外科）

竹林 克士（平成 17 年卒）

2014年4月、Annals of Surgical Oncologyに掲載された「Surgery-induced peritoneal cancer cells in patients who have undergone curative gastrectomy for gastric cancer.」に対して、同門会賞をいただき大変名誉な事と感じています。この研究テーマは私が大学院生の時に取り組んでいたもので、胃癌手術中の癌細胞散布とそれによる腹膜播種形成が胃癌腹膜転移再発の機序の1つであることを検証したものです。手術前後の洗浄腹水を比較し、PCR、細胞培養により癌細胞の存在を検索し、細胞培養にて増殖した癌細胞が腫瘍形成能をもつのかを mice を用いた in vivo model で検証しました。その結果、手術前の腹腔内に癌細胞が存在しない症例でも術後の洗浄腹水中には癌細胞が存在しており、それが播種巣を形成する能力をもっていることが確認されました。この内容は外科医が経験的に感じているものではありませんが、これまでは PCR での検証結果が報告されているのみでした。今回は細胞培養や Viability、腫瘍形成能までを証明した点に意義があるものと思います。

これまで毎年同門会賞の受賞式を見てきて、いつかは私自身も受賞できればと思っておりましたので、卒後 10 年前後で受賞できたことは大変嬉しい限りですが、この論文に関しては大学院生であった期間に多くの先生方から研究の進め方など御指導いただき論文発表まで結びついたものであり、支えて下さった方々のおかげで受賞させていただいたものと思います。この期間に得たものは論文発表だけでなく今後の研究活動に関する基礎を教えて頂いたことと思っています。重要なのはこれからも滋賀医大外科から新しい知見を世界に発信できるように日々精進することと心得ています。

この研究では術中の散布癌細胞が腹膜播種再発に関与するということを証明しましたが、今後はそれに対する予防手段や治療を確立していかなければなりません。それはこうした論文を発信した者の責務であり、それができれば、これまで私を支えて頂いた方々に対する恩返しともなるのではないかと思います。

大学院を修了し静岡がんセンター食道外科で食道手術を中心とした研鑽を経て、2016年4月に滋賀医科大学の上部消化管外科所属となりました。今後は滋賀医科大学外科同門会の一員として、滋賀県の医療、滋賀医科大学の発展に尽力する所存です。

◎ 2015年度同門会理事長賞受賞



滋賀医科大学 外科学講座（消化器外科）

三宅 亨（平成13年卒）

この度は同門会理事長賞の栄を賜り、誠にありがとうございます。このような素晴らしい賞を得られましたのも、同門の先輩方に様々な御指導をいただいたお陰であります。

私は大学院を大阪大学微生物研究所 自然免疫分野の審良静男教授に御指導いただき、NK細胞の活性化を中心に、遺伝子改変マウスを用いて研究を行っておりました。大学院卒業後、2012年4月よりアメリカに留学し、ボストンにある Harvard Medical School Beth Israel Deaconess Medical Center の Kalluri 研究室で研究を開始いたしました。

研究テーマとして、主に線維化や上皮間葉転換を中心に間質と上皮の可塑性に焦点を合わせて、研究を行いました。主には創傷治癒における間質の役割や、癌の増殖、転移における間質の機能など様々な病理学的な状態での間質の役割について、マウスモデルを中心に研究を行いました。この際、大学院で教えて頂いたマウスの扱い方、また遺伝子改変マウスの作成技術など様々な知識と技術が役立ち、実際様々な間葉系マーカーを発現した遺伝子改変マウスを作成し、解析に用いることが出来ました。

そのなかで、「Cell plasticity helps hearts to repair」を Nature に執筆する機会を得ました。心筋の虚血など心臓における急性障害の後には修復機能として創傷治癒機転が働きます。死細胞は除去され血管新生は誘導されます。また、間質は線維化により補填されます。一方で過度の心臓における線維化は心機能を低下の原因となります。これまでは線維芽細胞は急性の心筋障害の後に線維化を誘導する役割を担っており、EndoMT（血管内皮間質転換）が線維化に重要であると考えられていました。それに加えて、生体内では MEndoT（間質血管内皮転換）により線維芽細胞が血管内皮細胞に転換することで、血管新生が促進され、過度の線維化による心機能の低下を抑制していることがわかりました。さらに、その MEndoT において p53 が重要な役割を果たしていることが明らかとなりました。これらにより心筋修復過程において新しい治療方針の可能性が示唆されます。

2015年9月から日本に帰国し、現在滋賀医科大学 外科学講座で勤務しております。留学で得た知識、経験を元に、今後さらなる努力を行い、外科学の発展に微力ながら貢献できれば幸いです。今後共、御指導御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

◎ 2015年度同門会奨励賞受賞

社会医療法人誠光会 草津総合病院 呼吸器外科 医長
滋賀医科大学 外科学講座(呼吸器外科) 非常勤講師

川口 庸 (平成19年卒)



今回、同門会奨励賞をいただきましたことを感謝いたします。

ご評価していただいたのは、The Annals of Thoracic Surgeryに掲載された「Infected bronchogenic cyst treated with drainage followed by resection」という論文です。この症例では、縦隔にできた気管支嚢胞が感染を起し、嚢胞内に膿が溜まり、嚢胞が腫大し、気管支や食道を圧排しておりました。そこでまず経食道的にドレナージを行い、嚢胞を縮小し、炎症を沈静化させてから、2期的に手術切除を行ったものです。当時、私は卒後6年目で、大学病院から出向したばかりで、主治医の立場で患者さんの診断・治療にあたるようになった初めての年でした。これまで経験したことのない病態に対して、様々な文献を調べ、滋賀医科大学呼吸器外科の先生方に助言をいただき、他科の先生と連携しながら、「この患者さん・この病態にとって一番よい治療法は何か」ということを徹底的に考え、治療を組み立てていきました。この思い出深い症例で論文作成を行い、「Your paper has been received and is accepted for publication in The Annals of Thoracic Surgery」というメールが届いた時、心から嬉しかったことを覚えています。

この、医師として一人歩きを始めた時期に経験した、学び、実践し、結果を考察し、論文として発信するというサイクルは、今でも身に沁みついているように感じます。

この論文を評価していただき、同門会奨励賞という名誉な賞をいただいたことに心から感謝申し上げます。また論文作成にあたりご指導いただきました先生方にも、書中をもってお礼申し上げます。

同 門 会 便 り

■医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院

小池 雅人

■近江八幡市立総合医療センター

松林 景二

■日本赤十字社 京都第一赤十字病院

糸井 尚子

■公立甲賀病院

藤田 琢也

■社会医療法人信愛会 啜生会脳神経外科病院

村上 耕一郎

■独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター

太田 裕之

■医療法人社団昂会 日野記念病院

児玉 泰一

■独立行政法人国立病院機構 南京都病院

朝倉 庄志

医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院

副 院 長 小池 雅人 (平成 11 年卒)
心臓血管外科

当院は、平成 15 年 9 月に同門会会長の小玉正智先生を初代病院長に迎えて開院し、現在開設 13 年の、徳洲会グループの中でもまだまだ若い病院です。昨年 2015 年 3 月には、青嶋實先生が病院長に就任され、私自身も 2015 年 4 月より副院長の任を拝命し、新体制で病院全体の発展に向け努力しております。当院の理念である「生命を安心して預けられる病院」を体現し、地域の皆様から信頼される病院を目指すには、医療安全の充実なくしては不可能と考えています。2015 年 5 月より医療安全委員長の任を拝命して以来、青嶋院長先生の御協力もあり、当院の医療安全改革を積極的に行っています。成果の一つがインシデントレポート数で、今まで毎年約 700 件であった年間レポート数が、平成 27 年度は 2691 件まで増加し、更に本年度は 3000 件を超えるペースで病院職員全体から報告されるようになりました。

当科に関しては、開院時より小玉先生、青嶋先生の心臓血管外科開設に対する御尽力と、更に滋賀医科大学浅井教授の御協力を得て、平成 18 年 6 月に心臓血管外科の本格的開設となる第一例の開心術（AVR）を浅井教授御執刀で行いました。平成 19 年 4 月から滋賀医科大学より白石先生が心臓血管外科部長として赴任、私も非常勤医師から常勤医師として着任、手術件数も着実に増加してきております。平成 28 年 6 月までに、OPCAB132 例、弁膜症、胸部大血管 231 例、腹部大動脈瘤 123 例、末梢動脈血管 119 例、下肢静脈瘤 171 例とその他の手術を含めて総手術件数が間もなく 1000 例を超えるまでに症例数を積み重ねていくことができました。超高齢者の連合弁膜症、低左心機能、透析患者等のハイリスクな症例も含めて殆ど大きなトラブルもなく、開心術、開腹術後の約 90% の症例が、術後 24 時間以内に離床、歩行と食事を行えたという良好な成績を残し、全国学会にその成果を発表しております。残念ながら、未だ当院には ICU がなく、心臓麻酔を行う常勤麻酔科医、常勤の循環器内科医が不在という厳しい環境が続いています。しかしながら、その環境を嘆くだけではなく、病院全体の発展と当科の安定した手術成績を継続していくためには、今後も多くの同門諸先生の御指導、御協力をいただくことが重要と考えています。今後とも宜しくお願い申し上げます。



● 近江八幡市立総合医療センター

心臓血管外科部長 松林 景二 (平成4年卒)



近江八幡市立総合医療センター心臓血管外科は平成25年4月に新規開設され、今年で丸三年が過ぎました。開設当初は何かとトラブルの発生もありましたが、今では病棟やICU、手術室、臨床工学部、検査部、放射線部、薬剤部、リハビリテーション部、栄養管理室など各部署のスタッフ皆が心臓血管外科疾患にある程度精通し、患者さんへの対応も問題なく行えるようになり、ようやく病院全体でも心臓血管外科のある施設という認識が定着してきたのではないかと思います。

現在、定期的に週1～2例の開心術と腹部大動脈瘤や末梢血管手術をそれぞれ順調にこなしています。重症かつ複雑な症例に対して、浅井教授をお招きして、手術をして頂いております。手術症例の大半が院内紹介によるものですが、当院は年間約1000件のカテーテル検査と540件ものPCIを行っている施設であり、数多くの循環器疾患の患者さんが受診されます。個々の症例に対して、循環器内科やコメディカルと密接な連携をとって、治療方針を決定する、いわゆる“ハートチーム”による診療を行っています。その結果、年間約80例の心臓大血管手術を、腹部大動脈・末梢血管手術などを含めると250例もの手術を行う施設となりました。また、麻酔科医、手術室やICU等コメディカルの協力の下、24時間体制でいつでも緊急手術を行える環境も整っています。

また、定期的に院内勉強会を開いてコメディカルに対する教育活動はもちろんのこと、近江八幡のみならず東近江地域の患者さんのお役に立てるよう、啓蒙活動の一環として、どういった心臓血管疾患があって、どのような疾患に手術が必要で、手術とはどんなものか、手術を受けた後はどうなるのかなど、リハビリテーション部や薬剤部、栄養管理室のスタッフにも講演をしてもらって、年に数回の市民公開講座を開催しています。

この3年間で若干スタッフの交代もありましたが、本年4月より宮下がレジデントとして着任し、副部長 平松、部長 松林の総勢3名で、“高水準、安心と信頼の心臓手術”をモットーに、近江八幡ならびに東近江地域のために貢献できるよう、今後も精進してまいります。



● 日本赤十字社 京都第一赤十字病院

乳腺外科医長 糸井 尚子 (平成 11 年卒)

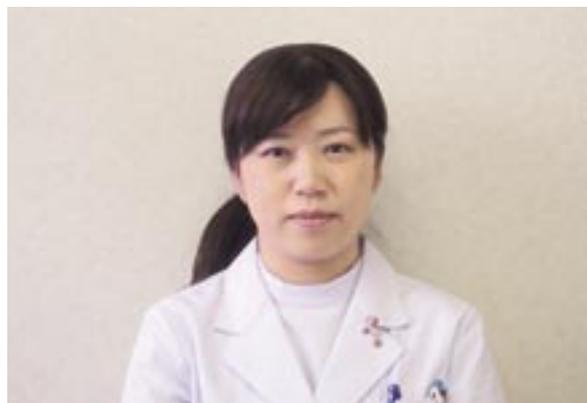
京都第一赤十字病院は京都市東山区に位置する 666 床の急性期病院です。紅葉の名所東福寺に隣接しており、周辺には八坂神社、祇園、清水寺、三十三間堂などがあり、京都の文化と歴史を感じられる環境です。

当院の診療機能の主なものとして、救命救急センター、基幹災害医療センター、総合周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、エイズ拠点病院などに指定されており高度な医療を提供しています。年間手術件数としては消化器約 800 件、乳腺約 120 件となっており、かつては消化器外科スタッフ、レジデントを中心に多くの医局員が診療に携わってきましたが、2016 年 6 月現在、滋賀医科大学外科学講座からの人員は乳腺外科へ 1 名となっています。

私は 2008 年より 4 年間当院でお世話になり乳腺専門医を取得したのち、日野記念病院での 4 年間を経て 2016 年 4 月より乳腺外科医長として再び赴任させていただきました。乳腺外科の李部長をはじめ、各科の先生方やスタッフにも温かく迎えて頂き大変感謝しています。乳癌治療は初期治療が 10 年、再発後の治療も年々長期化していますので、患者さんとも日々感動の再会をはたしています。

当院乳腺外科では乳癌の診断、手術、薬物療法（年間 2000 件で院内の化学療法の 1/3 を占めています）、再発治療、緩和ケアを 4 名（うち 1 名は育休中）で行っています。乳癌診療には欠かせない放射線治療科、形成外科とも密に連携し、薬剤師、乳がん看護認定看護師、がん看護専門看護師など多職種が協力しながらチーム診療を実践しています。乳癌診療は年々複雑になっており、術前化学療法をするのかしないのか、手術は温存か全摘か、乳房再建はするのか、再発後の治療はどうするのかといった選択肢が多くあります。若い先生が乳癌診療をひと通り学ぶ為には設備、症例数、指導が整った施設での数年間が必要だと思います。来年度からの開始が不透明になっています日本専門医機構による新専門医制度ですが、当院でも滋賀医科大学外科専門研修プログラムの連携施設として乳腺外科サブスペシャリティの取得が可能となるよう体制を整えていますので、研修先の候補として考えていただけると幸いです。

当院にまた、滋賀医科大学外科学講座のメンバーが増えることを願っています。



〒605-0981 京都市東山区本町 15-749 電話：075-561-1121

● 公立甲賀病院

呼吸器外科部長 藤田 琢也 (平成9年卒)

平成25年4月、新病院移転とともに甲賀病院、呼吸器外科に赴任してから早3年が経過しました。以前にもご紹介させていただきましたが、新病院は当然ながら見違えるように美しく機能的になっていると思われま。また、交通の便では、栗東湖南インターチェンジが開通しさらに便利になりました。当院の設備としては、がん拠点病院として、とくに肺がんの診療に力を入れておりますが、外来診療部、気管支鏡検査を行う内視鏡検査部、手術室、ICU、放射線治療設備、化学療法部、緩和ケア病棟と、肺がん診療におけるすべての設備が整っております。

実際に仕事しながら感じる点としては、ハード面の充実もさることながら、当院は滋賀医大出身者が多く、また近隣にも今まで大変お世話になった先生方が多く、非常に心強く思っております。また、以前からお世話になった先生方からの紹介が徐々に増えてきているのを感じ、当院での診療に一定の評価をいただいているものと、うれしく感じております。新病院移転以来3年が経過しましたが、年間の手術症例数は70例以上を維持しております。呼吸器外科医2人体制で行っている症例数とすれば、まずまずと評価いただいておりますが、当院から車で30から40分移動すれば、北には東近江総合医療センター、西には滋賀医大付属病院が、控えております。両施設で小生も勤務経験があり、それぞれ高水準の肺癌診療が行われていることは周知されております。当院で甲賀医療圏の肺がん診療を支えることを責務とし、周辺施設に負けない高水準な医療を提供することが、我々の存在意義であると考えて日々研鑽していきたいと思ひます。



〒528-0074 滋賀県甲賀市水口町松尾 1256 電話：0748-62-0234

● 社会医療法人信愛会 暁生会脳神経外科病院

外科医長 村上 耕一郎 (平成12年卒)

暁生会脳神経外科病院は、昭和 61 年に四条暁駅前が開院しました(190 床)。平成 17 年に、四條暁駅と忍が丘駅の間地点に新築移転され、平成 23 年に社会医療法人信愛会 暁生会脳神経外科病院への改組を経て二次救急施設として日夜地域医療に貢献しております。

四条暁市は人口 5.7 万人で面積は 18.7 km²、大阪市の東北部、北生駒山地を市域に含む北河内地区に位置します。滋賀からはるか遠く離れた地と思われる向きもあるかもしれませんが、第二京阪高速道路の開通により、車であれば滋賀医大から約 50 分でのアクセスが可能となりました。

市の歴史は、石器時代にまで遡ると言われ、とくに南北朝時代の四條暁の合戦の舞台として知られています。南朝 楠木正成の長男、楠木正行が、北朝方の高師直と戦って敗死した古戦場で、正行一族が合葬された小楠公御墓所や四條暁神社などが今も史跡として残ります。

現在の病院は総病床数 270 床、(一般 185 床、回復期リハビリ 42 床、療養 43 床) からなり、脳神経外科顧問として頭蓋底手術の世界的権威、「神の手を持つ男」こと福島孝徳先生が月 1 回ほど手術を手がけております。

外科は、名誉院長の小玉 正智 先生(元 滋賀医大第一外科教授、外科同門会理事長)の指導のもと、顧問の瀬戸 伸一 先生、外科部長 龍田 健 先生、外科医長 村上 耕一郎の 4 名の体制で診療を行っており、手術日には大学スタッフの先生のご支援も頂いております。平成 27 年度の手術症例数は、手術総件数 219 件、うち全身麻酔 154 件、緊急手術 33 件、腹腔鏡下手術 62 件でありました。

当院は脳神経外科病院であるため高齢や寝たきりの患者さんがもとも多いのですが、高齢化社会にあつてますます高齢や high risk の症例が増加していくことが予想されるため、より安全かつ質の高い低侵襲な手術が施行できるよう日々研鑽して参りたく思います。同門の先生方には今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成27年度外科手術症例数 (H27.4～H28.3)

手術総件数	219件
全身麻酔	154件
緊急手術	33件
腹腔鏡下手術	62件

胃癌手術 (腹腔鏡下胃切除)	13 (2)
膵頭十二指腸切除術	2
結腸癌直腸癌手術 (腹腔鏡下手術)	34 (19)
ヘルニア手術 (腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術)	39 (7)
胆嚢摘出術 (腹腔鏡下胆嚢摘出術)	33 (26)
肛門疾患手術	20
虫垂切除術 (腹腔鏡下虫垂切除術)	7 (7)
その他消化器手術	11
イレウス手術	9
静脈瘤手術	0
腹膜炎手術	7
その他	44



● 独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター

外科医長 太田 裕之 (平成10年卒)

当院が滋賀県地域医療再生計画および東近江市病院等整備計画に基づいて平成25年4月に東近江市立の二病院との集約化により、滋賀病院から独立行政法人 国立病院機構 東近江総合医療センターとして再出発してから早3年が経過いたしました。この間、滋賀医科大学の「第二教育病院」として強固な協力体制のもと地域医療の再生に向けて教育および診療活動を推進し着実に成果を上げつつあります。

名神高速道路の八日市インターチェンジに程近い7階建ての新病棟は結核病棟を含む5つの病棟（総320床）、5つの手術室、大会議室（きらめきホール）を有し、結核病棟以外に感染対策として各階に陽圧・陰圧が切り替え可能な個室を2床ずつ備えるなど高度な設備を誇っています。

各科の医師（常勤医45名）は主に滋賀医科大学の医局より派遣されており、診療に際しては各科の垣根を越えて横の連携プレーを密に行えることが中規模施設ならではの特徴です。common diseaseやemergencyに対応することも多く、若い先生方にとっては幅広い臨床経験を積むのに適していると思います。

平成28年4月からは懸案でありました麻酔科医師の増員が実現し常勤医2名体制となり手術件数は増加傾向にあります。（平成27年度の外科手術件数は354件でした。）院内には医療安全管理室や地域医療連携室、ICT、NST、褥瘡チーム、緩和ケアチームなど様々な医療チームが活発に稼働しており職種を超えて最良の結果を求めるチーム医療を実践しています。

また東近江市におけるがん診療の推進を目的として多職種の医療スタッフが会する勉強会や症例検討会を、平成28年4月より東近江総合医療センターと滋賀医科大学総合外科・内科学講座の共催で毎月開催し、地域の医療担当者からもご参加いただいています。

地域に開かれた信頼される病院となるべく、職員一同が研修会などに積極的に参加しスキルアップに努めており、病院全体が発展途上にあることを実感いたします。今後とも様々な方面におきまして同門の先生方には御指導、御鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



〒527-8505 滋賀県東近江市五智町 255 電話：0748-22-3030

● 医療法人社団 昂会 日野記念病院

外科医長 児玉 泰一（平成20年卒）

医療法人社団 昂会 日野記念病院は昭和60年4月に日野中央病院として開設され、2015年4月で開設30周年を迎えました。日野町は滋賀県の東南部に位置し、人口約2万2000人のまちです。日野町だけでなく、東近江医療圏を対象として救急医療にも貢献しております。また22の診療科を標榜しており、地域密着完結型の医療を行うことで地域のみなさまに信頼される病院を目指しております。2013年10月には蒲生スマートインターチェンジが開通し、大学からのアクセスも便利になりました。病床数は150床（一般病床110床、療養型病床40床）で、消化器内科のみならず他科の医師とも気軽に相談でき、連携もスムーズで働きやすい環境です。また当院は姉妹病院である湖東記念病院、2015年4月より昂会が指定管理者となった東近江市立 能登川病院とも密に連携し診療にあたっております。

日野記念病院外科は滋賀医科大学外科学講座から常勤医師が派遣され、現在花澤一芳院長、東田宏明外科部長、児玉泰一、徳田彩で診療を担当しております。当科での症例数は年間約250例（全身麻酔約150例）施行しておりますが、2015年11月より内藤弘之先生（前 日野記念病院副院長）が能登川病院へ移動され手術患者の紹介をしていただけるようになり、さらに全身麻酔下での症例数が増えつつあります。私としても、昨年まで大学院生として研究生生活でしばらく臨床から離れていたこともあり、今年4月より当院に赴任させていただくこととなつてから手術をする喜びを噛み締めながら日々研鑽を積んでおります。

当科での特徴としては、滋賀医大と同様の進行胃癌症例に対する腹腔内温熱化学療法や抗癌剤感受性試験を導入しております。また以前からも行っておりました腹腔鏡手術を各領域でさらに積極的に行うことで技術の向上を目指しております。

また今後の展望としては、さらに症例数を増やし日本消化器外科学会認定医療施設となることを目指しております。

このように大変やりがいのある職場であり、滋賀医科大学外科学講座の専門医修練施設として貢献できる病院となるよう努力したいと考えております。



〒529-1642 滋賀県蒲生郡日野町上野田 200-1 電話：0748-53-1201

● 独立行政法人国立病院機構 南京都病院

呼吸器外科医長 朝倉 庄志(昭和56年卒)

国立病院機構南京都病院は昭和14年に傷痍軍人京都療養所として設立されました。昭和20年に厚生省に移管し国立療養所となり、平成16年には全国143施設からなる国立病院機構(National Hospital Organization)の一施設となりました。許可病床数は370床で、そのうち120床が重症心身障害者病床となっています。平成24年には延べ床面積9200㎡の5階建ての新病棟が竣工し、1～2階は重症心身障害者病棟、3階は主に神経内科病棟、4～5階は呼吸器外科などの一般病棟となっています。一般病棟には陰圧室が備えられています。平成30年新春には3階建ての新外来棟(手術室、放射線科、検査室、医局を含む)が竣工し、病院全体が一新される予定となっています。

当院には常勤の呼吸器内科医10名が在職しており、呼吸器内科のすべての分野を網羅する形で専門医が揃っています。そのため呼吸器に関しては極めて高い臨床レベルを維持しています。呼吸器外科は常勤医2名で運営していますが、呼吸器内科医そして常勤の放射線科医と連携して、手術症例をコンスタントに確保できています。

最近の医師を取り巻く社会情勢から見た当院の利点として、国立病院機構では職員が国家公務員に準じた処遇を受けられるため、女性医師にとって非常に働きやすい環境であることがあげられます。現在2名の常勤呼吸器内科医は産休とそれに続く育休を取得中ですが、最大計3年の産休と育休が取得可能とのこと。当科の女性医師も当院で計13ヶ月の産休と育休を取得した後に、現役外科医に復帰しています。育児中の小児科の常勤女性医師も国立病院機構の子育て支援制度を利用しておられ、勤務時間の時短等の待遇を受けておられます。

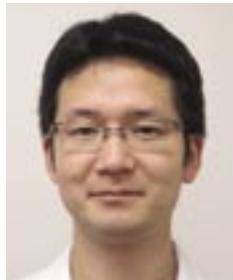
当院は京都と奈良の中間点である城陽市に立地していますが、平成35年に新名神道路が完成すると城陽市は大阪・京都・神戸と名古屋を結ぶ物流の一大拠点となる予定であり、各種施設の建設・整備も始まっています。京都南部地域の発展とともに当院の今後の発展も期待されるところです。



〒610-0113 京都府城陽市中芦原11 電話：0774-52-0065

● 新入会員紹介

消化器・乳腺・一般外科



油木 純一

出身大学：群馬大学
(平成 24 年度卒)

常に手術する意義や最善の治療法を考え、日々精進していきたいと思っております。また、医学部生の方や研修医の先生に

外科の魅力を伝えられるような外科医になりたいと思っています。今後とも宜しくお願い致します。



新田 信人

出身大学：滋賀医科大学
(平成 25 年度卒)

出身は京都府北部、天橋立の近くです。大学時代はバレーボールをしていました。バレーボールで培った体力・精神力

をもって、精一杯頑張りますので、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

心臓血管外科



南館 尚志

出身大学：東京医科歯科大学
(平成 22 年卒)

出身：岩手県
部活：水泳、ピアノ
趣味：釣り

関西の生活はいろいろ慣れない

こともあります。とても良い所で素晴らしいです。よろしくお願い致します。



住井 陽介

出身大学：大阪医科大学
(平成 25 年卒)

滋賀医科大学心臓血管外科でお世話になることになりました。

一人前の仕事ができるようになるように精進しますので、何卒、御指導、御鞭撻の程よろしくお願い致します。

呼吸器外科



赤澤 彰

出身大学：滋賀医科大学
(平成 25 年卒)

2015 年 4 月より、呼吸器外科で働かせていただいております。

学生時代は水泳部に所属して

おり、今でも何人かの先輩方にはよくいただいております。外科の中でも評価していただけるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



苗村 佑樹

出身大学：香川大学
(平成 25 年卒)

大学での部活：
バスケットボール
ハンドボール

一歩ずつ、確実に成長していけるよう頑張ります。宜しくお願い致します。

教室業績

消化器・乳腺・一般外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Sonoda H, Morishita H, Shioaki Y, Kimura H, Shimizu T, Tani T.

TIPS is Effective for Bleeding of Stomal Varices : Report of a Case.

Journal of Japanese College of Surgeons 40 (1); 144-147, 2015

Murakami K, Naka S, Shiomi H, Akabori H, Kurumi Y, Morikawa S, Tani T.

Initial experiences with MR Image-guided laparoscopic microwave coagulation therapy for hepatic tumors.

Surg Today 45 (9); 1173-1178, 2015

Bamba S, Hirota S, Inatomi O, Ban H, Nishimura T, Shioya M, Imaeda H, Nishida A, Sasaki M, Murata S, Andoh A.

Familial and multiple gastrointestinal stromal tumors with fair response to a half-dose of imatinib.

Internal Medicine 54 (7); 759-764, 2015

Yamamoto H, Nakae H, Uji Y, Maeda K, Tani T, Eguchi Y.

Plasma adiponectin levels in acute liver failure patients treated with plasma filtration with dialysis and plasma exchange.

Ther Apher Dial 19 (4); 349-354, 2015

Yamamoto H, Yamaguchi T, Kaida S, Murata S, Tani M.

Tu1909 Regulation of glucose metabolism via the portal neural system.

Gastroenterology 148 (4); S933, 2015

Vinh NQ, Tani T, Naka S, Yamada A, Murakami K.

Thermal tissue change induced by a microwave surgical instrument in a rat hepatectomy model.

Am J Surg 211 (1); 189-196, 2016

Tani T, Sonoda H, Tani M.

Sentinel lymph node navigation surgery for gastric cancer : Does it really benefit the patient?

World Gastroenterol 22 (10); 2894-2899, 2016

Takebayashi K, Sonoda H, Shimizu T, Ohta H, Mitsuaki M, Mekata E, Endo Y, Tani T, Tani M.

Pyomyositis at the surgical site in a patient with chronic myeloid leukemia : a case report and literature review.

World Jo Surgical Oncol 14; 116, 2016

Yamamoto H, Kaida S, Yamaguchi T, Murata S, Tani M, Tani T.

Potential mechanisms mediating improved glycemic control after bariatric/metabolic surgery.

Surg Today 46 (3); 268-274, 2016

〈和文学術論文〉

山本 寛

胃切除術施行後の消化管機能異常に対する大建中湯の臨床的効果の検討—cine MRIによる消化管運動解析の試み—

Prog. Med 35 : 510-511, 2015

山本 寛

肥満と肥満関連代謝性疾患に対する手術療法

BIO Clinica 30 (10) : 96-99, 2015

村田 聡

進行胃癌に対する治療戦略と治療成績について

滋賀医学 37 (3) : 15-17, 2015

小幡 徹, 清水智治, 谷 徹, 井上 均, 木次谷隆公, 竹内一郎, 市川正人
透析液エンドトキシン濃度からみた透析患者の影響
腎と透析 別冊; 50-51, 2015

谷 眞至, 塩見尚礼
膵疾患 膵管内乳頭腫瘍・嚢胞性膵腫瘍
消化器外科学レビュー 16; 141-145, 2015

前平博充, 園田寛道, 塩見尚礼, 清水智治, 仲 成幸, 九嶋亮治, 谷 眞至
胆管狭窄をきたした後腹膜原発脱分化型脂肪肉腫の1例
日本臨床外科学会雑誌 76 (4); 868-872, 2015

山本 寛
Ⅲ. 肥満2型糖尿病の治療とその新展開 6. 外科治療—肥満2型糖尿病に対する外科手術の現状—
The Lipid 26 (2), 2015

山本 寛
【日本人肥満メタボ型糖尿病の実相、病態、治療】肥満2型糖尿病の治療とその新展開 外科治療 肥満2型糖尿病に
対する外科手術の現状
The Lipid 26 (2); 175-180, 2015

太田裕之(滋賀医科大学外科学講座), 清水智治, 園田寛道, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院における進行直腸癌に対する腹腔鏡手術の短期治療成績 開腹手術との比較
滋賀医科大学雑誌 28 (1); 13-17, 2015

園田文乃, 園田寛道, 稲富 理, 目片英治, 清水智治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 谷 眞至, 安藤 朗
複数回の抗体薬投与と転移巣切除により長期生存が得られたS状結腸癌同時性多発肝転移の一例
滋賀医科大学雑誌 28 (1); 40-44, 2015

山口 剛, 山本 寛
肥満症診10. 外科療法の適応を教えてください。保険適用になったスリーブ状胃切除術とはどのような手術ですか?
モダンフィジシャン 35 (2); 179-183, 2015

北村直美, 清水智治, 今井秀一, 太田裕之, 園田寛道, 谷 眞至
腹腔鏡下手術中に広範囲な皮下気腫と換気障害を生じた直腸癌の1例
日本臨床外科学会雑誌 76 (7); 1752-1755, 2015

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 遠藤善裕, 石田光明, 谷 眞至
S状結腸間膜由来悪性末梢神経鞘腫の1例
日本臨床外科学会雑誌 76 (8); 1963-1968, 2015

児玉泰一(滋賀医科大学消化器外科), 園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 目片英治, 谷 眞至
小腸癌を契機として診断されたLynch症候群の2例
日本臨床外科学会雑誌 76 (9); 2225-2230, 2015

北村直美, 清水智治, 森 毅, 谷 眞至, 来見良誠
【若手外科医必読ヘルニア手術の最前線】鼠径部ヘルニア 嵌頓ヘルニアの手術
外科 77 (9); 1009-1013, 2015

河合由紀
妊孕性温存とがん薬物療法
薬事 57 (10); 103-109, 2015

山本 寛

高度肥満症の外科手術

臨床栄養 127 (4) ; 451-456, 2015

山本 寛

【最新エビデンスに学ぶ 効果の上がる肥満症食事療法の実践】肥満症の治療 高度肥満症の外科手術

臨床栄養 127 (4) ; 451-455, 2015

赤堀浩也, 塩見尚礼, 仲 成幸, 石田光明, 稲富 理, 馬場重樹, 谷 眞至

腹腔鏡下胆嚢摘出術中に診断した Farrar の診断基準を満たす原発性胆嚢管癌の 1 例

胆道 29 (4) ; 832-837, 2015

谷 眞至

【消化器外科の術後看護まるごとガイド 術後何日目に 何に注意すべきか 術後の山場がすぐわかる!】(3部)肝胆膵の手術 膵体尾部切除術

消化器外科 Nursing ; 206-213, 2015

谷 眞至

【消化器外科の術後看護まるごとガイド 術後何日目に何に注意すべきか 術後の山場がすぐわかる!】(3部)肝胆膵の手術 膵頭十二指腸切除術

消化器外科 Nursing ; 194-205, 2015

村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 清水智治, 塩見尚礼, 山本 寛, 谷 眞至

【腹膜悪性腫瘍】転移性腹膜腫瘍の治療 腹膜播種性転移に対する腹腔内温熱化学療法 (HIPEC)

外科 77 (10) ; 1140-1147, 2015

小幡 徹 (滋賀医科大学外科学講座), 清水智治, 赤堀浩也, 谷 徹, 谷 眞至

透析液清浄度評価の新たな視点 高感度エンドトキシン測定法 (ESP 法) からみた透析液品質管理

日本血液浄化技術学会会誌 23 (3) ; 362-364, 2015

三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 石田光明, 吉田哲也, 谷 眞至

集学的治療により小腸切除術後 33 ヶ月生存している腎細胞癌小腸転移の 1 例

日本臨床外科学会雑誌 76 (12) ; 3008-3012, 2015

清水智治, 山口 剛, 園田寛道, 三宅 亨, 金崎周造, 谷 眞至

動脈塞栓術が無効であった孤立性内腸骨動脈瘤直腸瘻の 1 例

日本臨床外科学会雑誌 76 (12) ; 2940-2945, 2015

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 生内一夫, 三宅 亨, 生田大二, 遠藤善裕, 谷 眞至

潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下手術の現状

日本大腸肛門病学会雑誌 68 (9) ; 718, 2015

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至

進行下部直腸癌に対する術前化学療法併用 ISR 安全、確実な ISR を目指して

日本大腸肛門病学会雑誌 68 (9) ; 05, 2015

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 生田大二, 前平博充, 山口 剛, 森 毅, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至

大腸癌化学療法終了時の mGPS が治療中止の判断基準となる

日本緩和医療学会学術大会プログラム 20 ; 353, 2015

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹

当院における大腸 SM 癌内視鏡治療後追加切除症例におけるリンパ節転移予測因子の検討

日本大腸肛門病学会雑誌 68 (5) ; 349, 2015

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 山口 剛, 森 毅, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
大腸 大腸がん化学療法への進歩 進行再発大腸癌化学療法終了の判断基準としての mGPS の有用性
日本癌治療学会誌 68 (9) ; 718, 2015

太田裕之, 望月慶子, 塚本正市, 藤岡重一, 川浦幸光, 後藤善則, 辻端亜紀彦, 園田寛道, 清水智治
異所性腺が原因と考えられた十二指腸出血の1例
消化器外科 37 (6) ; 1071-1074, 2015

生内一夫 (はえうち診療所), 清水智治, 園田寛道, 生田大二, 谷 眞至, 目片英治, 遠藤善裕
診断に苦慮した肛門管癌の1症例
日本大腸肛門病学会雑誌 68 (9) ; 764, 2015

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕, 三宅 亨, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 村上耕一郎,
山口 剛, 森 毅, 北村直美, 仲 成幸, 谷 眞至
80歳以上の超高齢者大腸癌に対する術式選択 腹腔鏡下手術の有用性
日本臨床外科学会誌 76 増刊 ; 611, 2015

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 山本 寛,
村上耕一郎, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 仲 成幸, 一瀬真澄, 川崎誠康, 中村一郎, 藤野光廣, 土橋洋史, 宇治祥隆, 安 炳九,
池添清彦, 八木俊和, 龍田 健, 東田宏明, 井内武和, 神谷純広, 西村彰一, 籠 洋三, 長谷川 均, 熊野公東, 横田 徹,
藤田益嗣, 林 直樹, 山口智弘, 飯田洋也, 水野 文, 貝塚真知子, 柿原直樹, 佐藤浩一郎, 矢澤武史, 田中彰恵,
小林知恵, 生内一夫, 谷 眞至
胃癌および大腸癌術後に発症した Clostridium difficile 感染症の検討—関連病院におけるアンケート調査の結果から—
滋賀医大誌 29 (1) ; 27-31, 2016

北村直美, 清水智治, 坂井幸子, 三宅 亨, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 山口 剛, 森 毅, 田畑貴久, 江口 豊,
谷 眞至
当院における腹部緊急手術の現状
滋賀医大誌 29 (1) ; 40-45, 2016

遠藤善裕 (滋賀医科大学臨床看護学講座), 清水智治, 谷 眞至
PMX の作用機序はエンドトキシン吸着である (カンナビノイド、サイトカイン、適正治療時間)
救急・集中治療 28 (3) ; 4, 2016

生田大二, 前平博充, 塩見尚礼, 赤堀浩也, 仲 成幸, 谷 眞至
腹腔鏡下胆嚢摘出術直後に発症した感染性肝嚢胞の1例
日本臨床外科学会雑誌 77 (1) ; 148-153, 2016

村上耕一郎
教室・施設紹介 滋賀医科大学外科学講座 (消化器・乳腺一般外科)
膵臓 30 ; 815-817, 2015

谷 眞至
膵疾患の臨床研究と病診連携とのかかわり
大津医師会誌第 452 (9)

佐野圭二, 谷 眞至, 金子弘真 (座談会)
肝胆膵外科医に聞く 肝がん腹腔鏡下手術 安心して受けるには?
手術数でわかるいい病院全国&地方別ランキング 2016 週刊朝日 MOOK

【学会発表】

〈国際学会〉

Yamaguchi T, Wei-jei Lee W, Kyung Yul Hur, Muffazal Lakadawala, Kasama K, Shimon K.H.Wong, Tani M, Tani T.
Gastrointestinal Metabolic Surgery for the Treatment of Diabetic Patients.
A Multi-Institutional International Study-3 Year Outcomes, IFSO-APC, 2015, Seoul

Yamamoto H, Yamaguchi T, Kaida S, Murata S, Tani M.
Regulation of glucose metabolism via the portal neural system.
DDW2015, 2015, Chicago

Yamamoto H, Yamaguchi T, Kaida S, Murata S, Ugi S, Maegawa H, Tani T, Tani M.
Mid-term results after laparoscopic sleeve gastrectomy in our hospital.
JSSO Congress, 2015, Chiba

Yamamoto H, Yamaguchi T, Kaida S, Murata S, Tani M.
Intraneural system of the portal vein is important for maintaining normal glucose metabolism.
2nd Diabetes Surgery Summit (DSS-II), 2015, London

Yamamoto H, Yamaguchi T, Kaida S, Furukawa A, Ugi S, Maegawa H, Tani M.
Potential role of gastrointestinal motility underlying mechanisms of improved glycemic control after sleeve gastrectomy.
2nd Diabetes Surgery Summit (DSS-II), 2015, London

〈全国学会〉

仲 成幸, 村上耕一郎, 前平博充, 赤堀浩也, 谷 総一郎, 東口貴之, 山田篤史, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 目片英治, 遠藤善裕, 来見良誠, 森川茂廣, 谷 徹, 谷 眞至
大腸癌肝転移に対する MR 画像誘導下マイクロ波凝固療法の検討
第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月, 名古屋

貝田佐知子, 村田 聡, 山本 寛, 山口 剛, 清水智治, 塩見尚礼, 園田寛道, 太田裕之, 仲 成幸, 赤堀浩也, 北村直美, 前平博充, 生田大二, 目片英治, 久保田良浩, 梅田朋子, 森 毅, 河合由紀, 坂井幸子, 谷 徹, 谷 眞至
4 型進行胃癌に対する胃癌手術と術中腹腔内治療の治療効果・4 型進行胃癌に対する胃癌手術と術中腹腔内治療の治療効果
第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月, 名古屋

赤堀浩也, 山本 寛, 清水智治, 生田大二, 前平博充, 貝田佐知子, 河合由紀, 北村直美, 太田裕之, 山口 剛, 園田寛道, 森 毅, 藤野和典, 田畑貴久, 塩見尚礼, 梅田朋子, 久保田良浩, 村田 聡, 仲 成幸, 谷 眞至, 谷 徹
出血性ショックモデルにおける神経伝達物質の関与
第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月, 名古屋

山本 寛, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 太田裕之, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 村田 聡, 仲 成幸, 谷 眞至
Effects of weight loss and diabetes improvement and the underlying mechanisms after sleeve gastrectomy.
第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月, 名古屋

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 三宅 亨, 村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 山本 寛, 塩見尚礼, 赤堀浩也, 竹林克士, 森 毅, 仲 成幸, 谷 眞至
当院における痛合併炎症性腸疾患に対する外科治療の検討
第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月, 名古屋

塩見尚礼, 後藤彰彦, 高井由佳, 赤堀浩也, 前平博充, 生田大二, 村上耕一郎, 貝田佐知子, 北村直美, 太田裕之, 森 毅, 園田寛道, 山口 剛, 清水智治, 山本 寛, 村田 聡, 仲 成幸, 来見良誠, 濱田泰以, 谷 徹, 谷 眞至
眼球運動解析による内視鏡下手術習熟度の評価
第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月, 名古屋

梅田朋子, 石田光明, 村田 聡, 森 毅, 河合由紀, 坂井幸子, 富田 香, 北村美奈, 北村直美, 赤堀浩也, 太田裕之, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 山本 寛, 目片英治, 久保田良浩, 仲 成幸, 九嶋亮治, 谷 眞至
Invasive micropapillary carcinoma (混合型) における CD44s, CD44v6, v9 の発現— micropapillary pattern 領域と通常型乳癌領域の比較—
第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月, 名古屋

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 塩見尚礼, 仲成幸, 谷眞至
Stage III b 大腸癌術後補助化学療法に I-OHP は必要か?
第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月, 名古屋

村田聡, 山本寛, 山口剛, 貝田佐知子, 清水智治, 塩見尚礼, 園田寛道, 太田裕之, 仲成幸, 赤堀浩也, 北村直美,
前平博充, 生田大二, 目片英治, 久保田良浩, 梅田朋子, 森毅, 河合由紀, 竹林克士, 谷徹, 谷眞至
胃癌治療における術中腹腔内化学療法の意義
第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月, 名古屋

植木智之, 亀井武志, 松原大樹, 大竹玲子, 名西健二, 下村克己, 窪田健, 池田純, 谷口史洋, 塩飽保博
当院における切除不能進行・再発大腸癌症例に対するレゴラフェニブの使用経験
第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月, 名古屋

山本寛, 大竹玲子, 貝田佐知子, 山口剛, 村田聡, 谷眞至
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術によるメタボリック症候群の改善とその機序について
第 5 回肥満と消化器疾患研究会, 2015 年 4 月, 仙台

山本寛, 山口剛, 谷眞至
減量手術による減量・糖尿病改善効果における消化管ホルモンの関与について
第 101 回日本消化器病学会総会 (シンポジウム), 2015 年 4 月, 仙台

森毅, 油木純一, 生田大二, 前平博充, 坂井幸子, 貝田佐知子, 北村直美, 太田裕之, 山口剛, 園田寛道, 清水智治,
村田聡, 久保田良浩, 仲成幸, 谷眞至
吸収性メッシュを用いた腹壁癒着ヘルニア修復術の 1 例
第 13 回ヘルニア学会学術集会, 2015 年 5 月, 名古屋

油木純一, 森毅, 生田大二, 前平博充, 坂井幸子, 太田裕之, 山口剛, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 山本寛,
村田聡, 久保田良浩, 仲成幸, 谷眞至
当院における成人鼠径ヘルニア再発症例の検討
第 13 回ヘルニア学会学術集会, 2015 年 5 月, 名古屋

村上耕一郎, 赤堀浩也, 前平博充, 塩見尚礼, 生田大二, 北村直美, 太田裕之, 園田寛道, 大竹玲子, 貝田佐知子,
山口剛, 清水智治, 村田聡, 山本寛, 仲成幸, 谷眞至, 石田光明, 九嶋亮治
膵リンパ上皮嚢胞に神経内分泌腫瘍が合併した一切除例
第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月, 大阪

坂井幸子
創傷被覆保護材を用いて臍帯を上皮化し components separation 法にて腹壁閉鎖を行った巨大臍帯ヘルニアの 1 例
第 52 回日本小児外科学会, 2015 年 5 月, 神戸

赤堀浩也, 仲成幸, 塩見尚礼, 前平博充, 村上耕一郎, 谷眞至
肝部分切除術が可能な新規マイクロ波凝固切開装置の開発
第 27 回日本肝胆膵外科学会学術集会, 2015 年 6 月, 東京

村上耕一郎, 仲成幸, 山田篤史, 前平博充, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 谷眞至, 谷徹
オープンソース医用画像ソフトウェアを用いた腹腔鏡下肝切除手術におけるポートプランニング法の開発
第 27 回日本肝胆膵外科学会学術集会, 2015 年 6 月, 東京

前平博充, 塩見尚礼, 生田大二, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 森毅, 園田寛道, 清水智治, 久保田良浩, 村田聡, 山本寛,
梅田朋子, 目片英治, 仲成幸, 谷眞至
Alonso-LejII 型先天性胆道拡張症と膵胆管合流異常を合併した良性胆管狭窄の 1 例
第 40 回日本外科系連合学会学術集会, 2015 年 6 月, 東京

北村直美, 清水智治, 太田裕之, 園田寛道, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 山口 剛, 塩見尚礼, 山本 寛, 村田 聡, 仲 成幸, 谷 眞至

腹腔鏡下手術中に換気障害を伴う広範囲皮下気腫を生じた直腸癌の1例

第40回日本外科系連合学会学術集会, 2015年6月, 東京

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 生田大二, 前平博充, 山口 剛, 森 毅, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
大腸癌化学療法終了時のmGPSが治療中止の判断基準となる

第20回日本緩和医療学会学術大会, 2015年6月, 横浜

塩見尚礼, 村田 聡, 前平博充, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至

膵癌切除後の腹腔内洗浄液中癌細胞の検出と対策について (HIPECの有用性に関する考察)

第46回日本膵臓学会大会, 2015年6月, 名古屋

山口 剛, 山本 寛, 大竹玲子, 貝田佐知子, 村田 聡, 楠 知里, 関根 理, 森野勝太郎, 卯木 智, 前川 聡, 谷 眞至, 谷 徹

腹腔鏡下スリーブ状胃切除術保険収載1年における現状と問題点について

第33回日本肥満症治療学会学術集会, 2015年6月, 千葉

山口 剛, 山本 寛, Trung Vo Nguyen, 古川 顕, 大竹玲子, 貝田佐知子, 村田 聡, 楠 知里, 関根 理, 森野勝太郎, 卯木 智, 前川 聡, 谷 眞至, 谷 徹

Metabolic Surgeryの理論的根拠—腸管運動に関して

第33回日本肥満症治療学会学術集会, 2015年6月, 千葉

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 貝田佐知子, 村田 聡, 山本 寛, 清水智治, 塩見尚礼, 園田寛通, 太田裕之, 仲 成幸, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 前平博充, 生田大二, 谷 眞至

腹腔鏡下胃袖状切除術における減量効果良好群と不良群の検討

第33回日本肥満症治療学会学術集会, 2015年6月, 千葉

山本 寛, 山口 剛, 栗原美香, 秋定有紗, 大竹玲子, 貝田佐知子, 村田 聡, 関根 理, 森野勝太郎, 卯木 智, 伊波早苗, 安藤光子, 前川 聡, 谷 眞至, 谷 徹

減量外科チームアプローチによる腹腔鏡下胃袖状切除術後の減量効果の検討

第33回日本肥満症治療学会学術集会, 2015年6月, 千葉

山本 寛

Metabolic Surgeryの理論的根拠

第33回日本肥満症治療学会学術集会, 2015年6月, 千葉

山口 剛, 大竹玲子, 貝田佐知子, 村田 聡, 山本 寛, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 谷 眞至
食道癌のFP療法に伴う急性腎不全の検討

第69回日本食道学会学術集会, 2015年7月, 横浜

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 村田 聡, 山本 寛, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 谷 眞至
食道癌 StageI 根治術後10年で縦隔リンパ節再発を来した1例

第69回日本食道学会学術集会, 2015年7月, 横浜

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹 玲子, 村田 聡, 山本 寛, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 谷 眞至
食道癌 StageI 根治術後10年で縦隔リンパ節再発を来した1例

第69回日本食道学会学術集会, 2015年7月, 横浜

山本 寛, 大竹玲子, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 谷 眞至

胃食道接合部小細胞癌術後縦隔リンパ節転移に対してCRTが奏功した1例

第69回日本食道学会学術集会, 2015年7月, 横浜

山本 寛, 大竹玲子, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 谷 眞至
術前診断し得た下部食道 GIST に対する腹腔鏡補助下部食道切除術の 1 例
第 69 回日本食道学会学術集会, 2015 年 7 月, 横浜

山本 寛, Vo Nguyen Trung, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 谷 眞至
ブドウ糖負荷に対する糖代謝ホルモン動態の消化管の部位による違い
日本肥満症治療学会 joint シンポジウム, 2015 年 7 月, 東京

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院における切除可能な遠隔転移を有する Stage IV 大腸癌症例の検討
第 83 回大腸癌研究会, 2015 年 7 月, 岡山

梅田朋子, 森 毅, 今井秀和, 河合由紀, 富田 香, 田中彰恵, 糸井尚子, 坂井幸子, 北村美奈, 北村直美, 村上耕一郎,
清水智治, 貝田佐知子, 村田 聡, 久保田良浩, 谷 眞至
乳癌術後疼痛に対する術中前鋸筋一肋間筋面ブロックの有効性に関する検討
第 23 回日本乳癌学会学術総会, 2015 年 7 月, 東京

森 毅, 北村美奈, 富田 香, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 北村直美, 河合由紀, 太田裕之, 清水智治, 村田 聡,
梅田朋子, 久保田良浩, 谷 眞至
当院における蛍光法を用いた乳癌センチネルリンパ節生検の検討
第 23 回日本乳癌学会学術総会, 2015 年 7 月, 東京

河合由紀, 森 毅, 梅田朋子, 北村美奈, 富田 香, 糸井尚子, 北村直美, 村上耕一郎, 田中彰恵, 清水智治, 村田 聡,
阿部 元, 久保田良浩, 谷 眞至
当院における進行・再発乳癌に対する Bevacizumab+Paclitaxel 併用療法奏功例の維持療法の検討
第 23 回日本乳癌学会学術総会, 2015 年 7 月, 東京

富田 香, 河合由紀, 森 毅, 北村美奈, 村上耕一郎, 糸井尚子, 北村直美, 太田裕之, 清水智治, 村田 聡,
久保田良浩, 梅田朋子, 阿部 元, 水黒知行, 谷 眞至
男性乳癌に対する蛍光法によるセンチネルリンパ節生検の 5 例
第 23 回日本乳癌学会学術総会, 2015 年 7 月, 東京

田中彰恵, 山田篤史, 梅田朋子, 富田 香, 北村美奈, 河合由紀, 金子智亜紀, 森 毅, 久保田良浩, 谷 眞至
乳房 MRI を用いた腹臥位から仰臥位への体位変換に伴う乳癌位置変化の検討
第 23 回日本乳癌学会学術総会, 2015 年 7 月, 東京

糸井尚子, 徳田 彩, 花澤一芳, 富田 香, 北村美奈, 河合由紀, 梅田朋子, 森 毅, 久保田良浩
トラスツブマブ療法後の乳癌組織内への免疫細胞浸潤の検討
第 23 回日本乳癌学会学術総会, 2015 年 7 月, 東京

北村美奈, 森 毅, 梅田朋子, 富田 香, 河合由紀, 田中彰恵, 糸井尚子, 坂井幸子, 阿部 元, 久保田良浩, 谷 眞至
術後 5 年目に腹膜播種を認めた再発乳癌の 1 例
第 23 回日本乳癌学会学術総会, 2015 年 7 月, 東京

仲 成幸, 村上耕一郎, 山田篤史, 前平博充, 谷 総一郎, 赤堀裕也, 塩見尚礼, 谷 眞至, 谷 徹
肝切除におけるマルチモダリティによる術中シミュレーション
日本肝癌研究会, 2015 年 7 月, 神戸

清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至, 村上耕一郎, 山田篤史, 谷 徹
携帯型半導体マイクロ波発生装置と止血機器の開発
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

塩見尚礼, 村田 聡, 竹林克士, 仲 成幸, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 前平博充, 山口 剛, 山本 寛, 谷 眞至
膣癌切除後の腹腔内洗浄中癌細胞と術中温熱化学療法の効果
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

赤堀浩也, 仲成幸, 塩見尚礼, 生田大二, 前平博充, 村上耕一郎, 清水智治, 村田聡, 山本寛, 谷眞至
ICG 蛍光法による手術ナビゲーションを応用した腹腔鏡下肝切除術
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

仲成幸, 赤堀浩也, 前平博充, 山田篤史, 村上耕一郎, 清水智治, 塩見尚礼, 来見良誠, 谷眞至, 谷徹
腹腔鏡下肝切除のための新規マイクロ波手術デバイスの開発
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

山口剛, 山本寛, 大竹玲子, 貝田佐知子, 村田聡, 清水智治, 塩見尚礼, 仲成幸, 谷眞至, 谷徹
腹腔鏡下袖状胃切除術後の 2 型糖尿病改善予測に対する Diabetes surgery score の有用性について
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

児玉泰一, 園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 三宅亨, 竹林克士, 山口剛, 目片英治, 遠藤善裕, 谷眞至
当院での閉塞性大腸癌の治療成績
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

前平博充, 塩見尚礼, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 園田寛道, 清水智治, 村田聡, 山本寛, 仲成幸, 谷眞至
当院における治癒切除不能・再発膵癌に対する FOLFIRINOX 療法の使用経験
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

村田聡, 山本寛, 山口剛, 貝田佐知子, 北村直美, 竹林克士, 清水智治, 塩見尚礼, 仲成幸, 谷眞至
進行胃癌治療手術後の再発メカニズム解明と再発防止戦略
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

山本寛, 宇留島隼人, 前田和久, 大竹玲子, 貝田佐知子, 北村直美, 山口剛, 村田聡, 仲成幸, 谷眞至
消化器癌周術期のアディポネクチン測定の有用性について
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 生田大二, 山本寛, 村田聡, 仲成幸, 谷眞至
当院における進行直腸癌に対する腹腔鏡手術の短期成績についての検討—開腹手術との比較—
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 長澤芳信, 生田大二, 目片英治, 遠藤善裕, 谷眞至
局所進行直腸癌に対する術前化学療法の有用性
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

貝田佐知子, 山口剛, 村田聡, 山本寛, 大竹玲子, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 仲成幸, 谷眞至
幽門側胃切除術 Billroth I 法再建後の残胃形態の検討
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

村上耕一郎, 仲成幸, 山田篤史, 赤堀浩也, 北村直美, 徳田淳一, 波多伸彦, 谷徹, 谷眞至
肝癌に対する画像誘導下局所治療における治療難易度の定量化の試み
第 10 回肝癌治療シミュレーション研究会, 2015 年 9 月, 東京

山本寛, 貝田佐知子, 山口剛, 村田聡, 関根理, 森野勝太郎, 卯木智, 前川聡, 谷眞至
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術による高度肥満患者のメタボリックプロファイルの改善効果
第 36 回日本肥満学会, 2015 年 10 月, 名古屋

村田聡
HIPEC の殺細胞機構・薬剤選択
第 32 回日本ハイパーサーミア学会, 2015 年 9 月, 大阪

山本寛, 山口剛, 谷眞至
Changes of gut microbiota and intestinal motility after sleeve gastrectomy for patients with morbid obesity.
JDDW2015, 2015 年 10 月, 東京

山本 寛, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 谷 眞至

Intact neural system of the portal vein is important for maintaining normal glucose metabolism.
JDDW2015, 2015年10月, 東京

仲 成幸, 山田篤史, 前平博充, 谷 総一郎, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 谷 眞至, 谷 徹

Gd-EOB-DTPA 造影 MRI による術前肝胆道シミュレーションの有用性
JDDW2015, 2015年10月, 東京

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 三宅 亨, 植木智之, 赤堀浩也, 山口 剛, 貝田佐知子, 前平博充,
村上耕一郎, 谷 眞至

新しいエンドトキシン測定法の潰瘍性大腸炎重症度の指標としての可能性
JDDW2015, 2015年10月, 東京

村上耕一郎, 仲 成幸, 徳田淳一, 山田篤史, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 波多伸彦, 谷 眞至, 谷 徹

肝腫瘍に対する画像誘導下アブレーション治療における治療難易度の定量化の試み
JDDW2015, 2015年10月, 東京

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 山口 剛, 村田 聡, 山本 寛, 仲 成幸,
目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至

当院における切除可能な転移巣をもつ StageIV 大腸癌症例の検討
JDDW2015, 2015年10月, 東京

園田文乃, 大崎理英, 塩谷 淳, 西田淳史, 稲富 理, 馬場重樹, 清水智治, 谷 眞至, 安藤 朗

大腸癌化学療法における抗 EGFR 抗体薬再導入の有効性についての後方視的検討
JDDW2015, 2015年10月, 東京

清水智治, 小幡 徹, 三宅 亨, 野口耕右, 松下美季子, 藤野和典, 北村直美, 田畑貴久, 辻田靖之, 江口 豊,
谷 眞至

敗血症診断における Endotoxin Scattering photometry (ESP) 法の評価
第 43 回日本救急医学会総会・学術集会, 2015年10月, 東京

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 山口 剛, 森 毅, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至

進行再発大腸癌化学療法終了の判断基準としての mGPS の有用性
第 53 回日本癌治療学会学術集会, 2015年10月, 京都

塩見尚礼, Dinh Tuy, 向所賢一, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 仲 成幸,
河合由紀, 北村直美, 遠藤善裕, 杉原洋行, 谷 眞至

ABCG2 の大腸癌における発現はイリノテカンに対する感受性を予測する
第 53 回日本癌治療学会学術集会, 2015年10月, 京都

村田 聡, 山本 寛, 山口 剛, 貝田佐知子, 石田光明, 竹林克士, 塩見尚礼, 仲 成幸, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之,
目片英治, 九嶋亮治, 谷 徹, 谷 眞至

胃癌手術時の消化管再建における腹腔内癌細胞散布の危険性について
第 53 回日本癌治療学会学術集会, 2015年10月, 京都

河合由紀, 木村文則, 目片英治, 園田文乃, 糸井尚子, 竹林明枝, 太田悦子, 田崎亜希子, 谷 眞至, 村上 節

滋賀におけるがん生殖医療に関する地域連携ネットワーク設立への取り組み
第 53 回日本癌治療学会学術集会, 2015年10月, 京都

三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 目片英治, 河合由紀, 遠藤善裕, 塩見尚礼, 森 毅, 村田 聡, 谷 眞至

Colitic cancer の治療経過についての検討
第 53 回日本癌治療学会学術集会, 2015年10月, 京都

赤堀浩也, 塩見尚礼, 前平博充, 村上耕一郎, 北村直美, 河合由紀, 山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 仲 成幸, 谷 眞至
進行腓体尾部癌に対する術中温熱化学療法
第 53 回日本癌治療学会学術集会, 2015 年 10 月, 京都

北村直美, 塩見尚礼, 前平博充, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 河合由紀, 山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 仲 成幸, 谷 眞至
当科における切除不能再発進行腓癌に対する FOLFIRINOX 療法の経験
第 53 回日本癌治療学会学術集会, 2015 年 10 月, 京都

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 山本 寛, 村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 仲 成幸, 塩見尚礼, 赤堀浩也, 谷 眞至
腹腔鏡下低位前方切除術後の縫合不全発生に関するリスク因子の検討
第 53 回日本癌治療学会学術集会, 2015 年 10 月, 京都

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 三宅 亨, 目片英治, 河合由紀, 遠藤善裕, 森 毅, 村田 聡, 谷 眞至
大腸癌に対する術中温熱化学療法の検討
第 53 回日本癌治療学会学術集会, 2015 年 10 月, 京都

赤堀浩也, 仲 成幸, 塩見尚礼, 水野 文, 前平博充, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 北村直美, 太田裕之, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 谷 眞至
肺癌肝転移の 2 例
日本臨床外科学会, 2015 年 10 月, 福岡

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 村田 聡, 山本 寛, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
胃癌に対する右門側胃切除術 Billroth I 法再建後の残胃形態分類の試みと縫合不全との関連性についての検討
第 45 回胃外科・術後障害研究会, 2015 年 11 月, 名古屋

北村直美, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 生田大二, 三宅 亨, 植木智之, 遠藤善裕, 谷 眞至
一時的回腸人工肛門造設を伴う直腸癌手術と潰瘍性大腸炎手術における術後合併症の比較検討
第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015 年 11 月, 名古屋

生田大二, 北村直美, 太田裕之, 清水智治
Pagetoid spread を伴った肛門管癌の 2 例
第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015 年 11 月, 名古屋

太田裕之, 水黒知行, 橋本京三, 清水智治, 園田寛道, 北村直美, 生田大二, 生内一夫, 谷 眞至
分娩外傷による肛門括約筋機能不全に対して会陰体修復術を施行した 1 例
第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015 年 11 月, 名古屋

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
進行下部直腸癌に対する術前化学療法併用 ISR —安全, 確実な ISR を目指して
第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015 年 11 月, 名古屋

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 生内一夫, 三宅 亨, 生田大二, 遠藤善裕, 谷 眞至
潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下手術の現状
第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015 年 11 月, 名古屋

生内一夫, 清水智治, 園田寛道, 生田大二, 谷 眞至, 目片英治, 遠藤善裕
診断に苦慮した肛門管癌の 1 症例
第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015 年 11 月, 名古屋

村田 聡, 児玉泰一, 貝田佐知子, 山口 剛, 山本 寛, 北村直美, 植木智之, 塩見尚礼, 仲 成幸, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 谷 眞至
胃癌手術操作が原因による癌転移予防—特に消化管再建について—
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

油木純一, 森 毅, 植木智之, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 北村直美, 赤堀浩也, 太田裕之, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 仲 成幸, 谷 眞至
腹壁癒痕ヘルニアに対する吸収性メッシュの使用経験
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

植木智之, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当施設にて外科的切除を施行した直腸神経内分泌腫瘍 (NET G1) 13 症例の検討
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

山本 寛, 貝田佐知子, 北村直美, 赤堀浩也, 太田裕之, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 村田 聡, 仲 成幸, 谷 眞至
腹腔鏡下胃全摘における手技上の注意点と工夫
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 山口 剛, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 三宅 亨, 村田 聡, 山本 寛, 塩見尚礼, 村上耕一郎, 森 毅, 仲 成幸, 谷 眞至
大腸穿孔症例での血中プロカルシトニンと SOFA スコアを指標とした予後評価
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

塩見尚礼, 仲 成幸, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 北村直美, 新田信人, 貝田佐知子, 太田裕之, 森 毅, 山口 剛, 園田寛道, 山本 寛, 村田 聡, 清水智治, 谷 眞至
単孔プラス 1 で行う腹腔鏡下膣体尾部切除術
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕, 三宅 亨, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 山口 剛, 森 毅, 北村直美, 仲 成幸, 谷 眞至
80 歳以上の超高齢者大腸癌に対する術式選択—腹腔鏡下手術の有用性
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

赤堀浩也, 仲 成幸, 塩見尚礼, 水野 文, 前平博充, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 北村直美, 太田裕之, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 谷 眞至
肺癌肝転移の 2 例
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

森 毅, 富田 香, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 河合由紀, 北村直美, 赤堀浩也, 太田裕之, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 梅田朋子, 仲 成幸, 谷 眞至
当院における乳癌センチネルリンパ節偽陰性症例の検討
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

新田信人, 塩見尚礼, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 北村直美, 太田裕之, 園田寛道, 植木智之, 山口 剛, 村田 聡, 山本 寛, 森 毅, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
上行結腸癌, 多発肝転移の経過中に肝外胆管転移を来した 1 例
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕
感染性心内膜炎を合併した大腸癌の 2 例
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

清水智治, 小幡 徹, 園田寛道, 太田裕之, 山口 剛, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 三宅 亨, 野口耕右, 谷 眞至
敗血症診断における Endotoxin Scattering Photometry (ESP) 法とプロカルシトニンの比較検討
第 28 回日本外科感染症学会総会学術集会, 2015 年 12 月, 名古屋

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
一時的回腸人工肛門閉鎖術後の創感染に対する陰圧閉鎖療法の有用性について
第 28 回日本外科感染症学会総会学術集会, 2015 年 12 月, 名古屋

山本 寛, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 太田裕之, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 仲 成幸, 谷 眞至
本邦におけるメタボリックサージェリーの課題と展望
第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年 12 月, 大阪

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 生田大二, 山本 寛, 村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 仲 成幸, 塩見尚礼,
赤堀浩也, 村上耕一郎, 谷 眞至
直腸癌に対する腹腔鏡下低位前方切除術後の縫合不全発生リスク因子の検討
第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年 12 月, 大阪

生田大二, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 貝田佐知子, 山口 剛, 村上耕一郎, 赤堀 浩也, 塩見尚礼,
村田 聡, 山本 寛, 仲 成幸, 谷 眞至
直腸 MP 癌術後の側方リンパ節転移再発に対し腹腔鏡下側方郭清を施行した 1 例
第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年 12 月, 大阪

山口 剛, 山本 寛, 大竹玲子, 貝田佐知子, 村田 聡, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 森 毅, 清水智治,
塩見尚礼, 仲 成幸, 谷 眞至, 谷 徹
Bariatric and Metabolic Surgery の現状—当院における成績—
第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年 12 月, 大阪

山口 剛, 山本 寛, 大竹玲子, 貝田佐知子, 村田 聡, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 森 毅, 清水智治,
塩見尚礼, 仲 成幸, 谷 眞至, 谷 徹
減量手術のピットフォールとその対策
第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年 12 月, 大阪

塩見尚礼, 後藤彰彦, 高井由佳, 村上耕一郎, 太田裕之, 赤堀浩也, 新田信人, 北村直美, 山口 剛, 園田寛道, 森 毅,
清水智治, 仲 成幸, 濱田泰以, 谷 眞至
眼球運動解析からみた内視鏡手術の技術分析と指導への応用
第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年 12 月, 大阪

大竹玲子, 山口 剛, 貝田佐知子, 村田 聡, 山本 寛, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
腹腔鏡下胃袖状切除術における術前減量効果に関する検討
第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年 12 月, 大阪

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 村田 聡, 山本 寛, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 森 毅, 清水智治, 塩見尚礼,
仲 成幸, 谷 眞至
当院における腹腔鏡下袖状胃切除術の 2 型糖尿病に対する効果について
第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年 12 月, 大阪

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 三宅 亨, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 山口 剛, 目片英治,
遠藤善裕, 村田 聡, 山本 寛, 仲 成幸, 谷 眞至
当院における潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘、回腸肛門吻合術の術式の変遷—更なる質の改善を目指して—
第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年 12 月, 大阪

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 山口 剛, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 井内武和,
貝田佐知子, 野口耕右, 油木純一, 新田信人, 谷 眞至
当院における進行大腸癌に対する腹腔鏡下手術の長期成績の検討
第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年 12 月, 大阪

仲 成幸, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 新田信人, 油木純一, 植木智之, 貝田佐知子, 太田裕之, 園田寛道, 山口 剛, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 谷 眞至, 谷 徹
腹腔鏡下肝切除におけエネルギーデバイスによる止血法の工夫
第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年 12 月, 大阪

植木智之, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 谷 眞至
腹腔鏡下胃全摘術を施行後に腹腔鏡下大腸全摘術を施行した 1 例
第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年 12 月, 大阪

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 生田大二, 山本 寛, 村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 仲 成幸, 塩見尚礼, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 谷 眞至
腹腔鏡下低位前方切除術後の縫合不全発生に関するリスク因子の検討
第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年 12 月, 大阪

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
腹膜播種を伴う原発性大腸癌に対する術中温熱化学療法の有効性についての検討
第 84 回大腸癌研究会, 2016 年 1 月, 熊本

植木智之, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院において治療した大腸癌 Stage IV の病理組織学的因子の検討
第 84 回大腸癌研究会, 2016 年 1 月, 熊本

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院における下部直腸癌に対する ISR の適応と成績
第 84 回大腸癌研究会, 2016 年 1 月, 熊本

塩見尚礼, Tuy Hoang Dinh, 清水智治, 植木智之, 貝田佐知子, 三宅 亨, 村上耕一郎, 北村直美, 赤堀浩也, 太田裕之, 山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 村田 聡, 山本 寛, 仲 成幸, 目片英治, 谷 眞至
大腸癌組織における ABCG2 の発現とイリノテカンベースの化学療法に対する抵抗性
第 84 回大腸癌研究会, 2016 年 1 月, 熊本

山本 寛, 貝田佐知子, 三宅 亨, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 太田裕之, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 仲 成幸, 谷 眞至
肥満外科手術における術後出血の経験と抗凝固治療戦略
第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 山口 剛, 赤堀浩也, 三宅 亨, 植木智之, 貝田佐知子, 大竹玲子, 北村直美, 田畑貴久, 江口 豊, 谷 眞至
大腸穿孔の治療と予後に関する検討
第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 三宅 亨, 赤堀浩也, 山口 剛, 馬場重樹, 安藤 朗, 谷 眞至
潰瘍性大腸炎患者に生じ、腸管温存手術を施行した非腫瘍性成人腸重積の 1 例
第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
DST 吻合を伴う大腸切除術後に縫合不全をきたした症例の検討
第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

赤堀浩也, 仲 成幸, 村上耕一郎, 北村直美, 山口 剛, 園田寛道, 塩見尚礼, 清水智治, 谷 眞至
当院における IIIb 型腓損傷例の検討
第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

村上耕一郎, 仲 成幸, 北村直美, 赤堀浩也, 植木智之, 油木純一, 貝田佐知子, 三宅 亨, 太田裕之, 園田寛道, 山口 剛, 清水智治, 田畑貴久, 松下美季子, 江口 豊, 太田信一, 新田哲久, 谷 眞至
 鈍的肝損傷に対する治療法の選択 —IVR か開腹手術か—
 第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

山口 剛, 大竹玲子, 貝田佐知子, 村田 聡, 山本 寛, 三宅 亨, 植木智之, 村上耕一郎, 北村直美, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 森 毅, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至, 谷 徹
 十二指腸潰瘍穿孔の保存的治療と手術治療に関する検討
 第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 村田 聡, 山本 寛, 坂井幸子, 植木智之, 三宅 亨, 村上耕一郎, 北村直美, 赤堀浩也, 太田裕之, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
 経食道心エコー施行後に食道損傷、血胸をきたし緊急開胸止血にて救命しえた 1 例
 第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

三宅 亨, 清水智治, 植木智之, 太田裕之, 園田寛道, 山口 剛, 赤堀浩也, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 谷 眞至
 当院における閉塞性大腸癌に対する治療成績の検討
 第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

植木智之, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 遠藤善裕, 谷 眞至
 一時的回腸人工肛門を伴う腸閉塞に対して腹腔鏡下にイレウス解除とストマ閉鎖を同時に施行した 2 例
 第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

大竹玲子, 山口 剛, 貝田佐知子, 村田 聡, 山本 寛, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
 当院における十二指腸潰瘍穿孔に対する鏡視下手術
 第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

油木純一, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 三宅 亨, 山口 剛, 北村直美, 赤堀浩也, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 谷 眞至
 腹腔鏡下で修復した子宮広間膜ヘルニアの一例
 第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

北村直美, 清水智治, 三宅 亨, 赤堀浩也, 園田寛道, 山口 剛, 仲 成幸, 谷 眞至, 田畑貴久, 江口 豊
 当院における非閉塞性腸管虚血の検討
 第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
 DST 吻合を伴う大腸切除術後に縫合不全をきたした症例の検討
 第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

新田信人
 当院における外傷性小腸穿孔の検討
 第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

澤井裕貴, 太田裕之, 園田寛道, 植木智之, 清水智治, 三宅 亨, 貝田佐知子, 山口 剛, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 山本 寛, 村田 聡, 仲 成幸, 谷 眞至
 下血をきたした肺癌十二指腸転移の 1 例
 第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

〈地方会〉
 赤堀浩也
 術前診断困難だった胆管原発リンパ上皮腫様癌の 2 例
 第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月, 京都

村上耕一郎, 仲 成幸, 北村直美, 赤堀浩也, 新田信人, 油木純一, 貝田佐知子, 三宅 亨, 太田裕之, 園田寛道,
山口 剛, 清水智治, 谷 眞至
大腸癌肝転移における MR ガイド下マイクロ波凝固療法の有効性の検討
滋賀消化器研究会第 57 回学術講演会, 2015 年 7 月, 滋賀

村上耕一郎, 仲 成幸, 徳田淳一, 山田篤史, 北村直美, 新田信人, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 波多伸彦, 谷 徹, 谷 眞至
肝腫瘍に対する画像誘導下アブレーション治療における治療難易度の定量化の試み
第 15 回関西肝血流動態・機能イメージ研究会, 2015年7月, 大阪

村上耕一郎, 仲 成幸, 山田篤史, 新田信人, 北村直美, 赤堀浩也, 谷 徹, 谷 眞至
オープンソース医用画像ソフトウェアを用いた腹腔鏡下肝切除手術におけるポートプランニング法の開発
第 10 回肝癌治療シミュレーション研究会, 2015 年 9 月, 東京

心臓血管外科

【論文】

〈和文著書〉

浅井 徹

CKD を有する血行再建

日本冠疾患学会雑誌 21 (2), 2015

木下 武, 浅井 徹

透析患者に対する冠動脈バイパス術

日本冠疾患学会雑誌 21 (2) ; 168-172 総説, 2015

鈴木友彰

特集心臓血管外科：前篇，術式別に学ぶ心臓血管手術：胸部大動脈疾患

2. 上行大動脈置換術、弓部大動脈置換術

INTENSIVIST 7 (4) ; 805-813, 2015

木下 武

5. 縦隔炎：特集心臓血管外科：後編早期の診断・治療が大切

INTENSIVIST 8 (1) ; 161-168, 2016

〈英文学術論文〉

Tomoaki Suzuki, Tohru Asai, Takeshi Kinoshita

Total arterial off-pump coronary artery bypass grafting was not associated with inferior outcomes for diabetic when compared with non-diabetic patients.

Interact Cardiovasc Thorac Surg. 21 (6); 705-11, 2015

Tohru Asai, Takeshi Kinoshita, Tomoaki Suzuki, Shoichiro Shiraishi, Masato Koike

Early and follow-up results of butterfly resection of prolapsed posterior leaflet in 76 consecutive patients.

J Thorac Cardiovasc Surg 149 (5); 1296-300

Ryosuke Kaku, Koji Teramoto, Keiko Ishida, Tooyuki Igarashi, Masayuki Hashimoto, Shoji Kitamura,

Noriaki Tezuka, Tohru Asai, Jun Hanaoka

Simultaneous resection of pulmonary tumor following cardiovascular surgery

Asian. Journal of Surgery; S1015-9584 (15); 00054-8, 2015

Tomoaki Suzuki, Tohru Asai, Hiromitsu Nota, Takeshi Kinoshita, Susumu Fujino, Noriyuki Takashima

Similar Outcome in Insulin-Dependent and Noninsulin-Dependent Diabetic Patients After Off-Pump Coronary Artery Bypass Grafting With Multiple Skeletonized Arterial Conduits.

Ann Thorac Surg; 99 (5); 1562-710, 2015

Takeshi Kinoshita, Tohru Asai, Tomoaki Suzuki

Reoperative Median Sternotomy Following the Use of a Right Internal Mammary Artery Pedicle Graft Crossing the Midline to the Left Anterior Descending Artery.

J Card Surg 30; 396-399, 2015

Takeshi Kinoshita, Tohru Asai, Tomoaki Suzuki

Off-Pump Bilateral Skeletonized Internal Thoracic Artery Grafting in Patients with Chronic Kidney Disease.

Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery 150 (2); 315-21. e3, 2015

Suzuki Tomoaki · Asai Tohru

The current status of multi-arterial off-pump coronary artery bypass grafting.

Surg Today 46 (1); 1-12, 2015

Tohru Asai

Early and Follow-Up Results of Butterfly Resection of Prolapsed Posterior Leaflet in 76 Consecutive Patients.
The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery 149 (5), 2015

Tohru Asai, Tomoaki Suzuki, Takeshi Kinoshita

The new butterfly technique-a sophisticated repair method for posterior leaflet prolapse.
Ann Cardiothorac Surg 4 (4); 380-383, 2015

Tohru Asai

The butterfly technique.
Ann Cardiothorac Surg (4); 370-375, 2015

Tomoaki Suzuki, Tohru Asai, Hiromitsu Nota, Takeshi Kinoshita, Susumu Fujino

Impact of Total Arterial Reconstruction on Long-Term Mortality and Morbidity: Off-Pump Total Arterial Reconstruction Versus Non-Total Arterial Reconstruction.
Ann Thorac Surg (6); 2244-9, 2015

Kinoshita T, Asai T.

OPCAB made in Japan, Intraoperative Graft Assessment; 137-149, 2015

Kinoshita T, Asai T.

OPCAB made in Japan, Difficult Coronary; 187-194, 2015

Tohru Asai

"Postinfarction ventricular septal rupture: can we improve clinical outcome of surgical repair?"
Gen Thorac Cardiovasc Surg Jan 18. [Epub ahead of print], 2016

Suzuki Tomoaki, Asai Tohru

Reply
Ann Thorac Surg 101; 826-35, 2016

【学会発表】

〈国際学会・招聘講演〉

Tohru Asai

Total arterial revascularization in Asian patients.
Annual Meeting of the Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery,
2015年5月12日, Hong Kong Convention and Exhibition Center

Tohru Asai

The butterfly technique and geometrical leaflet repair.
Annual Meeting of the Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery,
2015年5月13日, Hong Kong Convention and Exhibition Center

Tohru Asai

The Evidence for GEA Grafting in 2015
AATS International Coronary Congress: State-of-the-Art Surgical Coronary Revascularization, 2015年8月21日,
New York

Tohru Asai

How I Harvest and Utilize the GEA
AATS International Coronary Congress: State-of-the-Art Surgical Coronary Revascularization, 2015年8月21日,
New York

Tohru Asai
Butterfly technique and modern concept of mitral leaflet optimization
2015 Shanghai Heart Valve Summit, 2016年8月28日-30日, Shanghai

Tohru Asai
Total arterial, off-pump CABG
2015 Congress on the New Trends in Management of Cardiovascular Diseases, 2015年10月13日, Ho Chi Minh City

Tohru Asai
A new surgical technique for post ischemic septal rupture
2015 Congress on the New Trends in Management of Cardiovascular Diseases, 2015年10月13日, Ho Chi Minh City

Tohru Asai
Total arch replacement: What treatment is the best?
2015 Congress on the New Trends in Management of Cardiovascular Diseases
2015年10月13日, Ho Chi Minh City

〈国際学会・一般発表〉

Takeshi Kinoshita, Tohru Asai, Tomoaki Suzuki.
OFF-PUMP CORONARY ARTERY BYPASS SURGERY FOR PATIENTS WITH END-STAGE RENAL DISEASE.
ISMICS, 2015年6月4日, Intercontinental Hotel Berlin

〈国際学会・ポスター〉

Takeshi Kinoshita, Tohru Asai, Tomoaki Suzuki
Geometry-oriented Butterfly Technique Has Advantage For Posterior Leaflet Prolapse Based On Quantitative Assessment Of Tissue Redundancy;
2015 AATS Mitral Conclave 2015年4月23日-24日, New York Hilton Midtown

Reo Sakakura
Clinical outcome of aortic valve replacement for aortic stenosis with coronary artery bypass grafting.
Annual Meeting of the Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery.
2015年5月14日, Hong Kong Convention and Exhibition Center

Tomoaki Suzuki
Current off-pump coronary artery bypass grafting with multiple skeletonized arterial conduits can improve clinical outcome for diabetic patients
ESC Congress 2015, 29 August to 2 September, London

〈パネルディスカッション〉

Tohru Asai, Giuseppe Tavilla, & Presenting Authors Panel Discussion: Abstract Q & A
AATS International Coronary Congress: State-of-the-Art Surgical Coronary Revascularization, 2015年8月21日, New York

〈全国学会 シンポジウム〉

木下 武, 浅井 徹, 鈴木友彰
GEA 採取のコツ
第20回日本冠動脈外科学会学術集会, 2015年7月9日, 京都
〈全国学会 ディベート〉

鈴木友彰
FFR 活用法
第68回日本胸部外科学会学術集会, 2015年10月19日, 神戸

鈴木友彰

全動脈グラフト OPCAB は糖尿病症例の成績を改善する
第 68 回日本胸部外科学会学術集会, 2015 年 10 月 18 日, 神戸

浅井 徹

心臓中隔穿孔への手術術式
第 68 回日本胸部外科学会学術集会, 2015 年 10 月 20 日, 神戸

〈全国学会 一般演題〉

白石昭一郎, 浅井 徹, 小池雅人, 青嶋 實
僧帽弁閉鎖不全症の全例に行った僧帽弁形成術の治療戦略とその成績
第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月 17 日, 名古屋

乃田浩光, 浅井 徹, 鈴木友彰, 木下 武, 坂倉玲欧, 藤野 晋, 榎本匡秀, 森本政憲, 宮下史寛
腹部大動脈瘤破裂に対するステントグラフト内挿術
第 43 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2015 年 6 月 5 日, 横浜

宮下史寛, 乃田浩光, 鈴木友彰, 木下 武, 坂倉玲欧, 藤野 晋, 榎本匡秀, 森本政憲, 浅井 徹
A 型急性大動脈解離に対して上行置換術後に発症した症候性 B 型急性大動脈解離に対する TEVAR の 1 例
第 43 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2015 年 6 月 5 日, 横浜

森本政憲, 木下 武, 鈴木友彰, 宮下史寛, 榎本匡秀, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 乃田浩光, 浅井 徹
左鎖骨下動脈閉塞および shaggy aorta に合併した重症 3 枝病変に対する心拍動下冠動脈バイパス術に GEA が有用であった一例
第 20 回日本冠動脈外科学会学術集会, 2015 年 7 月 10 日, 京都

鈴木友彰, 浅井 徹, 乃田浩光, 木下 武, 坂倉玲欧, 藤野 晋
全動脈グラフト OPCAB は糖尿病症例の成績を改善する
第 20 回日本冠動脈外科学会学術集会, 2015 年 7 月 10 日, 京都

宮下史寛, 木下 武, 森本政憲, 榎本匡秀, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹
Off pump CABG 症例における術後創部感染予防を目的とした術中抗菌薬局所散布に対する検討
第 20 回日本冠動脈外科学会学術集会, 2015 年 7 月 10 日, 京都

浅井 徹

器質的および機能性 MR の最新治療
第 63 回日本心臓病学会, 2015 年 9 月 19 日, 横浜

鈴木友彰, 浅井 徹, 乃田浩光, 木下 武, 藤野 晋, 坂倉玲欧
全動脈グラフト再建は糖尿病合併例の成績を改善する
第 29 回日本冠疾患学会学術集会, 2015 年 11 月 20 日, 札幌

木下 武

Endothelial function of ITA graft and renal dysfunction in CABG patients.
第 29 回日本冠疾患学会学術集会, 2015 年 11 月 20 日, 札幌

浅井 徹, 鈴木友彰, 乃田浩光, 木下 武, 藤野 晋, 坂倉玲欧
Arterial OPCAB の役割 Not SLOPCAB, but TOPCAB!
第 29 回日本冠疾患学会学術集会, 2015 年 11 月 20 日, 札幌

浅井 徹

VSR に対する手術治療は本当に進歩してきたか。Extended Sandwich Patch 法の可能性
第 29 回日本冠疾患学会学術集会, 2015 年 11 月 20 日, 札幌

木下 武

透析患者に対する冠動脈バイパス手術の短期・遠隔成績
第 53 回日本人工臓器学会大会, 2015 年 11 月 21 日, 東京

〈全国学会 ポスター〉

高島範之, 近藤康生, 浅井 徹, 鈴木友彰
心内病変を有する成人大動脈縮窄に対する胸骨正中切開による同時手術
第 43 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2015 年 6 月 4 日, 横浜

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 鈴木友彰, 浅井 徹
75 歳以上の後期高齢者に対する待機的腹部大動脈瘤開腹手術の治療成績
第 43 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2015 年 6 月 5 日, 横浜

榎本匡秀, 乃田浩光, 宮下史寛, 森本政憲, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹
超高齢者に対する弓部大動脈人工血管置換術の検討
第 43 回日本心臓血管外科学会学術総会, 2015 年 6 月 5 日, 横浜

田和正志, 木下 武, 浅井 徹, 鈴木友彰, 今村武史, 岡村富夫
2 型糖尿病患者の内胸動脈グラフトにおける cGMP 生成薬の血管反応性
第 68 回日本胸部外科学会学術集会, 2015 年 10 月 18 日, 神戸

乃田浩光, 浅井 徹, 鈴木友彰, 木下 武, 坂倉玲欧, 藤野 晋, 宮下史寛, 森本政憲
Short neck 症例に対する EVAR
第 56 回日本脈管学会総会, 2015 年 10 月 30 日, 東京

高島範之, 近藤康生, 鈴木友彰, 浅井 徹
In situ 右胃大網動脈の左冠動脈領域へのバイパス術
第 29 回日本冠疾患学会学術集会, 2015 年 11 月 20 日, 札幌

坂倉玲欧, 浅井 徹, 住井陽介, 宮下史寛, 森本政憲, 藤野 晋, 木下 武, 乃田浩光, 鈴木友彰
冠動脈バイパス術 1 年後に透析困難となった 1 例
第 29 回日本冠疾患学会学術集会, 2015 年 11 月 20 日, 札幌

宮下史寛, 森本政憲, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 木下 武, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹, 永谷幸裕, 石田光明, 南口仁志
IgG4 関連疾患に伴う冠動脈瘤を併発した冠動脈 3 枝病変に対する手術の一例
第 29 回日本冠疾患学会学術集会, 2015 年 11 月 20 日, 札幌

近藤康生, 高 範之, 鈴木友彰, 浅井 徹
Oozing type の左室自由壁破裂に対して sutureless technique を用いた緊急手術を行い救命しえた一例
第 29 回日本冠疾患学会学術集会, 2015 年 11 月 21 日, 札幌

森本政憲, 木下 武, 鈴木友彰, 住井陽介, 宮下史寛, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 乃田浩光, 浅井 徹
左鎖骨下動脈閉塞と shaggy aorta に合併した 2 枝 CTO を含む重症 3 枝病変に対する OPCAB に GEA が有用であった一例
第 29 回日本冠疾患学会学術集会, 2015 年 11 月 21 日, 札幌

浅井 徹

‘SAM を考慮した MVP’
第 6 回日本心臓弁膜症学会, 2015 年 12 月 5 日, 東京

清原由希, 木脇恵子, 小池雅人, 浅井 徹

自宅退院が困難と予想された超高齢者の AS 患者に対して看護師中心で取り組むチーム医療が有効であった一例
第 43 回日本集中治療医学会学術集会, 2016 年 2 月 12 日, 神戸

〈地方会・研究会〉

浅井 徹

ビデオで見る HOCM 心筋切除術の実際

KCJL2015, 2015 年 4 月 19 日, 京都

坂倉玲欧, 宮下史寛, 森本政憲, 榎本匡秀, 藤野 晋, 木下 武, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹

生体腎移植後に抗リン脂質抗体症候群を合併した大動脈弁置換術の 1 例

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日, 京都

宮下史寛, 木下 武, 森本政憲, 榎本匡秀, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹

好酸球性心筋炎による右房拡大に伴う三尖弁閉鎖不全に対する手術の一例

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日, 京都

近藤康生, 島 範之, 鈴木友彰, 浅井 徹

AVR 術後に右不全麻痺で発症した遅延発症型ヘパリン起因性血小板減少症の 1 例

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日, 京都

乃田浩光, 浅井 徹, 鈴木友彰, 木下 武, 坂倉玲欧, 藤野 晋, 榎本匡秀, 森本政憲, 宮下史寛

Short neck 症例に対する snorkeling technique を用いた EVAR

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日, 京都

榎本匡秀, 宮下史寛, 森本政憲, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 木下 武, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹

巨大上行大動脈仮性瘤により肺動脈穿破と肺動脈高度狭窄を呈した 1 例

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日, 京都

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 浅井 徹

超高齢者の弓部大動脈瘤に対して弓部大動脈留置換術を行い fast-track recovery を成し得た一症例

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日, 京都

森本政憲, 乃田浩光, 宮下史寛, 榎本匡秀, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹

腹部大動脈瘤 IVC 穿破に対する EVAR の一例

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日, 京都

坂倉玲欧, 宮下史寛, 森本政憲, 榎本匡秀, 藤野 晋, 木下 武, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹

大動脈弁温存基部置換術の治療成績

第 58 回関西胸部外科学会学術集会, 2015 年 6 月 12 日, 岡山

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 鈴木友彰, 浅井 徹

80 歳以上の高齢者大動脈弁狭窄に対して大動脈弁置換術を行い Fast-track recovery を成し得た二症例

第 58 回関西胸部外科学会学術集会, 2015 年 6 月 13 日, 岡山

浅井 徹

GEA グラフトの採取

第 58 回関西胸部外科学会学術集会, 2015 年 6 月 12 日, 岡山

乃田浩光, 浅井 徹, 鈴木友彰, 木下 武, 坂倉玲欧, 藤野 晋, 榎本匡秀, 森本政憲, 宮下史寛

全弓部置換術後の TEVAR の経験

第 58 回関西胸部外科学会学術集会, 2015 年 6 月 13 日, 岡山

木下 武, 浅井 徹, 鈴木友彰

生体弁 AVR 後の再 AVR の原因と手術成績

第 58 回関西胸部外科学会学術集会, 2015 年 6 月 12 日, 岡山

宮下史寛, 木下 武, 森本政憲, 榎本匡秀, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹

好酸球性心筋炎による右房拡大に伴う三尖弁閉鎖不全に対する手術の一例

第 58 回関西胸部外科学会学術集会, 2015 年 6 月 13 日, 岡山

森本政憲, 乃田浩光, 鈴木友彰, 宮下史寛, 榎本匡秀, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 木下 武, 浅井 徹

下行大動脈人工血管置換術にて同時に肺部分切除を行い, 術後人工血管感染を認めた 2 例

第 58 回関西胸部外科学会学術集会, 2015 年 6 月 13 日, 岡山

浅井 徹

大動脈弁狭窄症の最近の話題

第 158 回草津栗東医師会循環器研究会, 2015 年 6 月 17 日, 滋賀

浅井 徹

虚血性心疾患の外科治療

第 4 回関東もみじフォーラム, 2015 年 6 月 20 日, 東京

浅井 徹

Wet Lab 虚血性心疾患の外科治療

第 4 回関東もみじフォーラム, 2015 年 6 月 20 日, 東京

森本政憲, 鈴木友彰, 乃田浩光, 木下 武, 坂倉玲欧, 藤野 晋, 内藤志歩, 宮下史寛, 浅井 徹

心大血管緊急救命手術: 滋賀医大式手術室直接搬送システム

第 67 回近畿心臓外科研究会, 2015 年 6 月 20 日, 大阪

浅井 徹

「心臓血管外科の Up to Date」

第 4 回氷見動脈硬化リスクファクター研究会, 2015 年 7 月 8 日, 富山

鈴木友彰

『Experts から JACYS Member JACYS Member へのアドバイス—心臓外科医として 30 代で何を学び, 何をしておくべきか?』

第 20 回 AHVS/OPCAB 研究会, 2015 年 7 月 10 日, 京都

宮下史寛, 森本政憲, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 木下 武, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹

好酸球心筋炎による右房拡大に伴う三尖弁閉鎖不全に対する手術例

第 78 回滋賀県循環器疾患研究会, 2015 年 7 月 18 日, 草津

浅井 徹

変性性弁膜症の病態と私たちの治療方針

第 21 回山形心臓外科懇話会, 2015 年 7 月 18 日, 山形

浅井 徹

TAVI 時代の sAVR

Edwards Heart Valve Seminar 2015, 2015 年 9 月 26 日, 東京

浅井 徹

手術手技アドバイザー MVP Course

Edwards Heart Valve Seminar, 2015, 2015 年 9 月 27 日, 東京

呼吸器外科

【論文】

〈和文著書〉

花岡 淳, 大塩恭彦

先端医療シリーズ 46 呼吸器疾患診療の最先端, 先端医療技術研究所; 375-376, 2015

〈英文学術論文〉

Yo Kawaguchi, Takuya Fujita, Jun Hanaoka

Spontaneous Regression of Pulmonary Lymphoepithelioma-like Carcinoma

Ann Thorac Surg. 99 (6); 2197-9, 2015

Ryosuke Kaku, Koji Teramoto, Keiko Ishida, Tomoyuki Igarashi, Masayuki Hashimoto, Shoji Kitamura, Noriaki Tezuka, Tohru Asai, Jun Hanaoka

Simultaneous resection of pulmonary tumor following cardiovascular surgery

Asian J Surg. pii: S1015-9584 (15) 00054-8, 2015

〈和文学術論文〉

五十嵐知之, 花岡 淳, 大塩恭彦, 橋本雅之, 林 一喜, 榎堀 徹

横隔膜腹腔側より子宮内膜組織を確認した月経随伴性気胸の一切除例

日本呼吸器外科学会 29 (4); 48 (468)-54 (474), 2015

鈴木雄治, 橋本雅之, 一瀬増太郎

二期的に左主気管支切除術を施行した粘表皮癌の1例

日本臨床外科学会雑誌 76 (6); 1326-1331, 2015

橋本雅之, 花岡 淳, 林 一喜, 賀来良輔, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 大内正嗣, 寺本晃治, 手塚則明
癌性心膜炎・胸膜炎との鑑別を要した放射線性心膜炎の1例

日本胸部臨床 74 (6); 703-709, 2015

林 一喜, 花岡 淳, 橋本雅之, 大塩恭彦, 五十嵐知之, 賀来良輔

多発リンパ節腫大を有する孤立性 hyaline vascular type Castleman 病の1例

日本呼吸器外科学会 29 (5); 56 (600)-60 (604), 2015

片岡瑛子, 岡本圭伍, 大塩麻友美, 元石 充, 花岡 淳, 澤井 聡

広範な壊死を認めた胸腺腫の1例

日本呼吸器外科学会 29 (5); 83 (627)-87 (631), 2015

橋本雅之, 花岡 淳, 大塩恭彦, 五十嵐知之, 片岡瑛子, 林 一喜

同一肺葉に部分肺静脈還流異常を合併した肺扁平上皮癌の1例

日本呼吸器外科学会 29 (6); 51 (727)-55 (731), 2015

岡本圭伍, 賀来良輔, 元石 充, 澤井 聡, 花岡 淳

肺淡明細胞腺癌の1切除例

日本呼吸器外科学会 29 (6); 80 (756)-84 (760), 2015

石田恵子, 賀来良輔, 堀 哲雄, 川口 庸, 花岡 淳, 寺本晃治

急激な転帰を辿った肺多形癌の1例

日本呼吸器外科学会 30 (2); 27 (153)-32 (158), 2016

【学会発表】

〈国際学会・ポスター〉

Haruhisa Kitano, Joon-Yong Chung, Jun Hanaoka, Shuhei Inoue, Doki Yoshinori, Junya Fukuoka, Stephen M. Hewitt.

Synaptonemal complex protein 3 is associated with lymphangiogenesis in non-small cell lung cancer
American Association for Cancer Research Annual Meeting 2015, 2015年4月, Philadelphia

Tomoyuki Igarashi, Jun Hanaoka, Koji Teramoto, Yataro Daigo
Immunological Characterization of PD-L1-Positive Non-Small Cell Lung Cancer Cells
16th World Conference on Lung Cancer, 2015年9月, Denver

Masayuki Hashimoto, Jun Hanaoka, Koji Teramoto, Tomoyuki Igarashi, Yoko Kataoka, Koji Teramoto
Prediction of Postoperative Pulmonary Function Using CT Volumetry
16th World Conference on Lung Cancer, 2015年9月, Denver

〈全国学会 一般演題〉

堀本かなな, 花岡 淳, 白鳥琢也, 林 一喜, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 大内政嗣, 寺本晃治, 手塚則明

局所進行非小細胞肺癌(cN2)に対する術前導入療法の検討
第115回日本外科学会, 2015年4月16日, 名古屋

片岡瑛子, 堀本かなな, 白鳥琢也, 林 一喜, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳, 寺本晃治, 澤井 聡
末梢型肺腺癌における胸膜浸潤の病理学的検討
第115回日本外科学会, 2015年4月17日, 名古屋

林 一喜, 花岡 淳, 堀本かなな, 白鳥琢也, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 大内政嗣, 寺本晃治, 手塚則明
当科における肝転移を有する大腸癌肺転移切除症例の検討
第115回日本外科学会, 2015年4月18日, 名古屋

橋本雅之, 堀本かなな, 白鳥琢也, 林 一喜, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳, 大内政嗣, 寺本晃治, 手塚則明, 北野晴久
ポート感染例の臨床的検討
第115回日本外科学会, 2015年4月18日, 名古屋

五十嵐知之, 花岡 淳, 大塩恭彦, 橋本雅之, 片岡瑛子, 林 一喜, 白鳥琢也, 堀本かなな, 寺本晃治, 手塚則明
モストグラフを用いた肺切除周術期の呼吸機能評価
第32回日本呼吸器外科学会, 2015年5月14日, 高松

林 一喜, 堀本かなな, 白鳥琢也, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之, 大塩恭彦, 花岡 淳
幼少期CCAMに対する呼吸器外科手術についての検討
第58回関西胸部外科学会学術集会, 2015年6月13日, 岡山

川口 庸, 藤田琢也, 花岡 淳
胸壁に発生したDesmoplastic fibroblastomaの1切除例
第58回関西胸部外科学会学術集会, 2015年6月13日, 岡山

五十嵐知之, 花岡 淳, 寺本晃治, 醍醐弥太郎
Clinicopathological features of PD-L1-positive pulmonary adenocarcinomas PD-L1 陽性肺腺がんの臨床病理学的検討
第13回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2015年7月18日, 札幌

五十嵐知之, 寺本晃治, 花岡 淳, 醍醐弥太郎
PD-L1 陽性の非小細胞肺癌におけるMHC class Iの発現について
第74回日本癌学会学術総会, 2015年10月10日, 名古屋

〈全国学会 ポスター〉

橋本雅之, 堀本かんな, 白鳥琢也, 林一喜, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 大内政嗣, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡 淳

良性転移性平滑筋腫の胸膜播種再発に対し再々切除を行った一例

第32回日本呼吸器外科学会, 2015年5月14日, 高松

堀本かんな, 白鳥琢也, 林一喜, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡 淳

胸腔鏡下に切除した胸膜発生多発石灰化線維性腫瘍の1例

第32回日本呼吸器外科学会, 2015年5月14日, 高松

片岡瑛子, 大塩麻友美, 堀本かんな, 白鳥琢也, 林一喜, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡 淳, 澤井 聡

中葉低形成に発生したカルチノイドの1例

第32回日本呼吸器外科学会, 2015年5月14日, 高松

大塩恭彦, 堀本かんな, 白鳥琢也, 林一喜, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡 淳

N2非小細胞肺癌に対する治療戦略の検討

第32回日本呼吸器外科学会, 2015年5月14日, 高松

林一喜, 堀本かんな, 白鳥琢也, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳, 大内政嗣, 寺本晃治, 手塚則明

年の経過で徐々に増大傾向を示し右肺上葉切除を要した肺静脈瘤の1例

第32回日本呼吸器外科学会, 2015年5月15日, 高松

山下直己, 寺本晃治, 五十嵐知之, 片岡瑛子

左上葉合併切除を要した胸腺原発非定型カルチノイドの1例

第32回日本呼吸器外科学会, 2015年5月15日, 高松

橋本雅之, 花岡 淳, 大塩恭彦, 五十嵐知之, 片岡瑛子, 白鳥琢也, 林一喜, 堀本かんな, 大内政嗣, 寺本晃治, 手塚則明

医原性気胸に対し局所麻酔下胸腔鏡下フィブリングル—閉鎖法を施行した一例

第38回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2015年6月11日, 東京

寺本晃治, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 花岡 淳, 醍醐弥太郎

Supportive role of CAFs on the activity of tumor-infiltrating lymphocytes

がん間質線維芽細胞の腫瘍浸潤リンパ球に対する支持的役割について

第13回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2015年7月16日, 札幌

片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 寺本晃治, 花岡 淳

I期肺腺癌における galectin-3 発現の術後再発予測因子としての意義

第74回日本癌学会学術総会, 2015年10月9日, 名古屋

寺本晃治, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳, 醍醐弥太郎

PD-L1陽性がん間質線維芽細胞による抗腫瘍免疫応答の抑制

第74回日本癌学会学術総会, 2015年10月10日, 名古屋

片岡瑛子, 堀本かんな, 林一喜, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 寺本晃治, 澤井 聡, 花岡 淳

肺腺癌における Galectin-3 の発現の術後再発予測因子としての意義

第68回日本胸部外科学会定期学術集会, 2015年10月19日, 神戸

賀来良輔, 岡本圭伍, 元石 充, 澤井 聡, 花岡 淳, 寺本晃治

非小細胞肺癌に対して根治手術を施行した50歳未満の女性の臨床病理学的特徴について

第68回日本胸部外科学会定期学術集会, 2015年10月19日, 神戸

林 一喜, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 堀本かんな, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之, 大塩恭彦, 花岡 淳, 寺本晃治, 手塚則明

当科における慢性血液透析患者に対する肺癌手術症例

第 56 回日本肺癌学会学術集会, 2015 年 11 月 26 日, 横浜

赤澤 彰, 橋本雅之, 苗村佑樹, 堀本かんな, 林 一喜, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳

肺癌術後補助化学療法中に遅発性乳び胸をきたした 1 例

第 56 回日本肺癌学会学術集会, 2015 年 11 月 27 日, 横浜

川口 庸, 藤田琢也, 花岡 淳, 林 一喜

カルボプラチン+ペメトレキセド投与後に門脈ガス血症を来した 1 例

第 56 回日本肺癌学会学術集会, 2015 年 11 月 26 日, 横浜

〈全国学会 ビデオ〉

花岡 淳, 堀本かんな, 林 一喜, 白鳥琢也, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 寺本晃治

巨大胸壁腫瘍の 1 切除例

第 32 回日本呼吸器外科学会, 2015 年 5 月 14 日, 高松

白鳥琢也, 橋本雅之, 堀本かんな, 林 一喜, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡 淳

胸腺腫に対する単孔式剣状突起下アプローチによる CO₂ 送気併用胸腔鏡下手術

第 32 回日本呼吸器外科学会, 2015 年 5 月 14 日, 高松

花岡 淳, 堀本かんな, 林 一喜, 白鳥琢也, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 寺本晃治, 手塚則明

左主肺動脈発生肺血管肉腫の 1 切除例

第 32 回日本呼吸器外科学会, 2015 年 5 月 15 日, 高松

〈地方会・研究会〉

赤澤 彰, 橋本雅之, 堀本かんな, 白鳥琢也, 林 一喜, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩 彦, 寺本晃治, 手塚則明,

花岡 淳

除術を施行した肺腺癌の一例

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日, 京都

堀本かんな, 林 一喜, 白鳥琢也, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之, 大塩恭彦, 花岡 淳

深頸部膿瘍から進展した粘膜下剥離を伴った急性食道蜂窩織炎の 1 例

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日, 京都

林 一喜, 堀本かんな, 白鳥琢也, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳

腹部術後乳び胸に対する胸腔鏡手術時に小孔を同定した横隔膜交通症の 1 例

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日, 京都

白鳥琢也, 堀本かんな, 林 一喜, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之, 大塩恭彦, 花岡 淳

当科で経験した術後乳び胸とその治療方法についての考察

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日, 京都

白鳥琢也, 藤田琢也, 堀本かんな, 林 一喜, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之, 大塩恭彦, 花岡 淳

胸腺原発類基底細胞癌と診断した一例

第 102 回日本肺癌学会関西支部学術集会, 2015 年 7 月 4 日, 大阪

苗村佑樹, 大塩恭彦, 花岡 淳, 赤澤 彰, 堀本かんな, 林 一喜, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之

卵巣漿液性境界悪性腫瘍の縦隔リンパ節転移で気道狭窄を来した一例

第 97 回日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会, 2015 年 7 月 25 日, 神戸

赤澤 彰, 橋本雅之, 苗村佑樹, 堀本かんな, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳

肺癌術後補助化学療法中に遅発性乳び胸をきたした 1 例

第 51 回近江呼吸器疾患研究会, 2015 年 8 月 29 日, 京都

苗村佑樹, 花岡 淳, 赤澤 彰, 堀本かんな, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之
重症筋無力に対する胸腔鏡下拡大胸腺摘出術の経験
第 22 回滋賀内視鏡手術研究会, 2015 年 11 月 7 日, 滋賀

苗村佑樹, 大塩恭彦, 赤澤 彰, 堀本かんな, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之, 花岡 淳
間質性肺炎合併肺癌における周術期シベスタットの使用経験
第 198 回近畿外科学会, 2015 年 12 月 5 日, 大阪

橋本雅之, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 堀本かんな, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳
胸腔鏡下肺門部先行処理を行った胸壁浸潤を伴う右上葉肺癌の一切除例
第 34 回近畿胸腔鏡研究会, 2016 年 2 月 6 日, 京都

赤澤 彰, 大塩恭彦, 苗村佑樹, 堀本かんな, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之, 花岡 淳, 仲川宏昭, 福永健太郎,
中野恭幸
腫瘍内血腫に FDG の集積を認めた肺腺癌の 1 例
第 103 回日本肺癌学会関西支部学術集会, 2016 年 2 月 20 日, 大阪

堀本かんな, 橋本雅之, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳, 仲川宏昭, 福永健太郎,
中野恭幸
肺腫瘍術前 PET-CT 検査での FDG 異常集積から発見された原発性胸膜リンパ腫の 1 例
第 103 回日本肺癌学会関西支部学術集会, 2016 年 2 月 20 日, 大阪

苗村佑樹, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 赤澤 彰, 堀本かんな, 片岡瑛子, 橋本雅之, 花岡 淳
胸腔鏡下肺葉切除術後に特発性器質化肺炎を来した一例
第 52 回近江呼吸器疾患研究会, 2016 年 3 月 5 日, 京都

【対外活動】

〈講 演〉

花岡 淳

肺癌～最新の外科治療～

伊賀・名張地区 呼吸器疾患講演会, 2015 年 11 月 5 日, 三重

五十嵐知之

肺炎治療の実際

伊賀・名張地区 呼吸器疾患講演会, 2015 年 11 月 5 日, 三重

総合外科学講座

【論文】

〈和文学術論文〉

小倉知子, 田崎亜希子, 赤尾景子, 木村由梨, 須藤正朝, 阪中美紀, 藪田直希, 若杉吉宣, 森井博朗, 園田文乃, 河合由紀, 目片英治

赤外線観察カメラシステムを用いた抗がん剤曝露回避対策の検討

滋賀医科大学雑誌 28 (1) : 55-59, 2015

園田文乃, 園田寛道, 稲富 理, 目片英治, 清水智治, 塩見尚礼, 仲 成幸, 谷 眞至, 安藤 朗
複数回の抗 EGFR 抗体薬投与と転移巣切除術により長期生存が得られた S 状結腸癌同時性
多発肝転移の一例

滋賀医科大学雑誌 28 (1) : 40-44, 2015

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院における進行直腸癌に対する腹腔鏡手術の短期治療成績 開腹手術との比較

滋賀医科大学雑誌 28 (1) : 13-17, 2015

生内一夫, 清水智治, 園田寛道, 生田大二, 谷 眞至, 目片英治, 遠藤善裕
診断に苦慮した肛門管癌の 1 症例

日本大腸肛門病学会雑誌 (0047-1801) 68 (9) : 837, 2015

児玉泰一, 園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 目片英治, 谷 眞至
小腸癌を契機として診断された Lynch 症候群の 2 例

日本臨床外科学会雑誌 76 (9) : 2225-2230, 2015

前平博充, 塩見尚礼, 生田大二, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 久保田良浩, 村田 聡, 山本 寛,
梅田朋子, 目片英治, 仲 成幸, 谷 眞至

Alonso-Lej II 型先天性胆道拡張症と膵胆管合流異常を合併した良性胆管狭窄の 1 例

日本外科系連合学会誌 40 (3) : 590, 2015

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
一時的回腸人工肛門閉鎖術後の創感染に対する陰圧閉鎖療法の有用性について

日本外科感染症学会雑誌 12 (5) : 586, 2015

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕
感染性心内膜炎を合併した大腸癌の 2 例

日本臨床外科学会雑誌 76 増刊 : 952, 2015

植木智之, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当施設にて外科的切除を施行した直腸神経内分泌腫瘍 (NET G1) 13 症例の検討

日本臨床外科学会雑誌 76 増刊 : 754, 2015

瀬戸山 博, 大野辰治, 目片英治, 加藤理史

地域連携とクリニカルパス 優しい在宅医療体制をつくる ケアサイクルの理解 滋賀県におけるがん地域医療連携クリ
ニカルパス (会議録)

日本クリニカルパス学会誌 17 (4) : 509, 2015

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕, 三宅 亨, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 村上耕一郎,
山口 剛, 森 毅, 北村直美, 仲 成幸, 谷 眞至

80 歳以上の超高齢者大腸癌に対する術式選択 腹腔鏡下手術の有用性

日本臨床外科学会雑誌 76 増刊 : 611, 2015

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 三宅 亨, 目片英治, 河合由紀, 遠藤善裕, 森 毅, 村田 聡, 谷 眞至
大腸癌に対する術中温熱化学療法 of 検討
日本癌治療学会誌 50 (3) ; 2670, 2015

三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 目片英治, 河合由紀, 遠藤善裕, 塩見尚礼, 森 毅, 村田 聡, 谷 眞至
Colitic cancer の治療経過についての検討
日本癌治療学会誌 50 (3) ; 1672, 2015

村田 聡, 山本 寛, 山口 剛, 貝田佐知子, 石田光明, 竹林克士, 塩見尚礼, 仲 成幸, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之,
目片英治, 九嶋亮治, 谷 徹, 谷 眞至
胃がん手術療法の進歩 胃癌手術時の消化管再建における腹腔内癌細胞散布の危険性について
日本癌治療学会誌 50 (3) ; 1314, 2015

塩見尚礼, Tuy Dinh, 向所賢一, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 仲 成幸,
河合由紀, 北村直美, 遠藤善裕, 杉原洋行, 谷 眞至
大腸 大腸がん化学療法の進歩 ABCG2 の大腸癌における発現はイリノテカンに対する感受性を予測する
日本癌治療学会誌 50 (3) ; 1221, 2015

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 山口 剛, 森 毅, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
大腸 大腸がん化学療法の進歩 進行再発大腸癌化学療法終了の判断基準としての mGPS の有用性
日本癌治療学会誌 50 (3) ; 419, 2015

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 生内一夫, 三宅 亨, 生田大二, 遠藤善裕, 谷 眞至
潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下手術の現状
日本大腸肛門病学会雑誌 68 (9) ; 718, 2015

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
進行下部直腸癌に対する術前化学療法併用 ISR 安全, 確実な ISR を目指して
日本大腸肛門病学会雑誌 68 (9) ; 705, 2015

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 生田大二, 前平博充, 山口 剛, 森 毅, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
大腸癌化学療法終了時の mGPS が治療中止の判断基準となる
日本緩和医療学会学術大会プログラム抄録集 20 回 ; 353, 2015

加藤理史, 大野辰治, 瀬戸山 博, 目片英治, 山本秀和, 東出俊一
滋賀県における「がん地域連携バス」への取り組み (第 5 報)
日本医療マネジメント学会雑誌 (16) Suppl ; 214, 2015

太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院における進行直腸癌に対する腹腔鏡手術の短期成績についての検討 開腹手術との比較
日本大腸肛門病学会雑誌 68 (6) ; 445, 2015

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹
当院における大腸 SM 癌内視鏡治療後追加切除症例におけるリンパ節転移予測因子の検討
日本大腸肛門病学会雑誌 68 (5) ; 349, 2015

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 山本 寛,
村上耕一郎, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 仲 成幸, 一瀬真澄, 川崎誠康, 中村一郎, 藤野光廣, 土橋洋史, 宇治祥隆, 安 炳九,
池添清彦, 八木俊和, 龍田 健, 東田宏明, 井内武和, 神谷純広, 西村彰一, 籠 洋三, 長谷川 均, 熊野公東, 横田 徹,
藤田益嗣, 林 直樹, 山口智弘, 飯田洋也, 水野 文, 貝塚真知子, 柿原直樹, 佐藤浩一郎, 矢澤武史, 田中彰恵,
小林千恵, 生内一夫, 谷 眞至
胃癌および大腸癌術後に発症した Clostridium difficile 感染症の検討—関連病院におけるアンケート調査の結果から—
滋賀医大誌 29 (1) ; 27-31, 2016

【学会発表】

〈全国学会〉

瀬戸山 博, 大野辰治, 堀 泰祐, 目片英治, 花木宏治, 水野敏子, 加藤理史
滋賀県緩和ケア地域連携クリニカルパスの普及活動
第 20 回日本緩和医療学会学術集会, 2015 年 6 月, 横浜

Hiroshi Setoyama, Eiji Mekata, Kouji Hanaki
Shiga started regional cooperating palliative care system employing standardized
clinical pathway
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

岡内 博, 大竹玲子, 小島正継, 瀬戸山 博
術前に診断しえた鼠径部膀胱ヘルニアの 3 例
第 69 回国立病院総合医学会, 2015 年 10 月, 札幌

〈地方会〉

瀬戸山 博, 東出俊一, 林 栄一, 目片英治, 山本秀和, 矢澤武史, 加納正人, 水本明良, 増山 守, 土屋邦之,
松谷 匠
滋賀県のがん地域医療連携システム
第 197 回近畿外科学会定期学術集会, 2015 年 5 月, 京都

瀬戸山 博, 目片英治, 花木宏治
滋賀県がん緩和医療地域連携クリニカルパス
第 197 回近畿外科学会定期学術集会, 2015 年 5 月, 京都

新田信人, 小島正継, 岡内 博, 瀬戸山 博, 長谷川正人, 目片英治
3 重複した進行大腸癌により閉塞性イレウスを来した症例
第 108 回滋賀県外科医師会, 2015 年 12 月, 大津

瀬戸山 博, 目片英治, 新田信人, 小島正継, 岡内 博, 長谷川正人, 長谷川英利, 上中敏弘
高齢大腸がん患者に対する薬物療法についての考察
第 26 回滋賀癌化学療法研究会, 2016 年 2 月, 草津

岡本寛樹, 五月女隆男, 菊地克久, 一岡慶紀, 辻川知之
後頸部痛・片麻痺を急性発症したが, その後自然軽快した特発性頸髄硬膜外血腫の 1 例
第 113 回近畿救急医学研究会, 2016 年 3 月, 神戸

【講演会】

大竹玲子, 小島正継, 岡内 博, 瀬戸山 博, 長谷川正人, 目片英治
進行消化器癌の集学的治療について
第 32 回東近江総合医療センター臨床談話会, 2015 年 7 月, 東近江市

小島正継
おなかのコブ(ヘルニア)
平成 27 年度東近江総合医療センター市民公開講座, 2015 年 2 月, 東近江市

菊地克久
腰痛予防～運動していますか?
平成 27 年度東近江総合医療センター市民公開講座, 2015 年 2 月, 東近江市

目片英治
私の大腸癌診療と研究
第 24 回癌セミナー, 2016 年 3 月, 大阪

【対外活動】

目片英治

平成 27 年度 第 1 回東近江医療圏がん診療市民公開講座，2015 年 9 月，東近江市

目片英治

平成 27 年度 第 2 回東近江医療圏がん診療市民公開講座，2015 年 11 月，近江八幡市

目片英治

滋賀医科大学外科関連施設セミナー，2015 年 11 月，大津市

目片英治

平成 27 年度滋賀医科大学地域医療教育研究拠点市民公開講座，2016 年 3 月，大津市

看護学講座

【論文】

〈和文学術論文〉

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 遠藤善裕, 石田光明, 谷 眞至
S状結腸間膜由来悪性末梢神経鞘腫の1例
日本臨床外科学会 76 (8) : 145-150, 2015

田畑貴久, 遠藤善裕
高ビリルビン血症に対する Apheresis 吸着療法
肝胆膵 70 (5) : 707-7010, 2015

遠藤善裕
直接血液灌流法
内科 116 (1) : 35-38, 2015

【学会発表】

〈国際学会〉

Endo Y
Indications and current situation of apheresis in Japan
4th Dresden International Symposium on Therapeutic Apheresis
March 17-19, 2016, Dresden, Germany

〈全国学会〉

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 三宅 亨, 村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 山本 寛, 塩見尚礼,
赤堀浩也, 竹林克士, 森 毅, 仲 成幸, 谷 眞至
当院における癌合併炎症性腸疾患に対する外科治療の検討
第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年, 名古屋

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 塩見尚礼, 仲 成幸, 谷 眞至
Stage III b 大腸癌術後補助化学療法に L-OHP は必要か?
第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年, 名古屋

仲 成幸, 村上耕一郎, 前平博充, 赤堀浩也, 谷 総一郎, 東口貴之, 山田篤史, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治,
塩見尚礼, 目片英治, 遠藤善裕, 来見良誠, 森川茂廣, 谷 徹, 谷 眞至
大腸癌肝転移に対する MR 画像誘導下マイクロ波凝固療法の検討
第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年, 名古屋

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 生田大二, 前平博充, 山口 剛, 森 毅, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
大腸癌化学療法終了時の mGPS が治療中止の判断基準となる
第 20 回日本緩和医療学会学術大会, 2015 年, 横浜

児玉泰一, 園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 三宅 亨, 竹林克士, 山口 剛, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院での閉塞性大腸癌の治療成績
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年, 浜松

太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 生田大二, 山本 寛, 村田 聡, 仲 成幸, 谷 眞至
当院における進行直腸癌に対する腹腔鏡手術の短期成績についての検討 — 開腹手術との比較 —
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年, 浜松

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 長澤芳信, 生田大二, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
局所進行直腸癌に対する術前化学療法の有用性
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年, 浜松

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 三宅 亨, 植木智之, 赤堀浩也, 山口 剛, 貝田佐知子, 前平博充, 村上耕一郎, 谷 眞至
新しいエンドトキシン測定法の潰瘍性大腸炎重症度の指標としての可能性
JDDW2015, 2015年, 東京

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 山口 剛, 村田 聡, 山本 寛, 仲 成幸, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院における切除可能な転移巣をもつ Stage IV 大腸癌症例の検討
JDDW2015, 2015年, 東京

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 山口 剛, 森 毅, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
進行再発大腸癌化学療法終了の判断基準としての mGPS の有用性
第 53 回日本癌治療学会学術集会, 2015年, 京都

三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 目片英治, 河合由紀, 遠藤善裕, 塩見尚礼, 森 毅, 村田 聡, 谷 眞至
Colitic cancer の治療経過についての検討
第 53 回日本癌治療学会学術集会, 2015年, 京都

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 三宅 亨, 目片英治, 河合由紀, 遠藤善裕, 森 毅, 村田 聡, 谷 眞至
大腸癌に対する術中温熱化学療法 of 検討
第 53 回日本癌治療学会学術集会, 2015年, 京都

北村直美, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 生田大二, 三宅 亨, 植木智之, 遠藤善裕, 谷 眞至
一時的回腸人工肛門造設を伴う直腸癌手術と潰瘍性大腸炎手術における術後合併症の比較検討
第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015年, 名古屋

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
進行下部直腸癌に対する術前化学療法併用 ISR —安全, 確実な ISR を目指して
第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015年, 名古屋

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 生内一夫, 三宅 亨, 生田大二, 遠藤善裕, 谷 眞至
潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下手術の現状
第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015年, 名古屋

生内一夫, 清水智治, 園田寛道, 生田大二, 谷 眞至, 目片英治, 遠藤善裕
診断に苦慮した肛門管癌の 1 症例
第 70 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015年, 名古屋

植木智之, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当施設にて外科的切除を施行した直腸神経内分泌腫瘍 (NET G1) 13 症例の検討
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015年, 福岡

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕, 三宅 亨, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 山口 剛, 森 毅, 北村直美, 仲 成幸, 谷 眞至
80 歳以上の超高齢者大腸癌に対する術式選択—腹腔鏡下手術の有用性
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015年, 福岡

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕
感染性心内膜炎を合併した大腸癌の 2 例
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015年, 福岡

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
一時的回腸人工肛門閉鎖術後の創感染に対する陰圧閉鎖療法の有用性について
第 28 回日本外科感染症学会総会学術集会, 2015年, 名古屋

寺本和雄, 遠藤善裕, 上田祐二, 小笠原一靖
 TGF- β および LAP 陽性 T 細胞に対する選択吸着カラムの癌治療への応用
 第 60 回日本透析医学会学術集会・総会, 横浜

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 三宅 亨, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 山口 剛, 目片英治,
 遠藤善裕, 村田 聡, 山本 寛, 仲 成幸, 谷 眞至
 当院における潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘, 回腸肛門吻合術の術式の変遷—更なる質の改善を目指して
 第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年, 大阪

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 山口 剛, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 井内武和, 貝田佐知子,
 野口耕右, 油木純一, 新田信人, 谷 眞至
 当院における進行大腸癌に対する腹腔鏡下手術の長期成績の検討
 第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年, 大阪

仲 成幸, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 新田信人, 油木純一, 植木智之, 貝田佐知子, 太田裕之, 園田寛道, 山口 剛, 清水智治,
 村田 聡, 山本 寛, 谷 眞至, 谷 徹
 腹腔鏡下肝切除におけエネルギーデバイスによる止血法の工夫
 第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年, 大阪

植木智之, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 谷 眞至
 腹腔鏡下胃全摘術を施行後に腹腔鏡下大腸全摘術を施行した 1 例
 第 28 回日本内視鏡外科学会, 2015 年, 大阪

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕
 感染性心内膜炎を合併した大腸癌の 2 例
 第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

關連病院業績

赤穂市民病院 外科

【論文】

〈和文学術論文〉

波戸本理絵, 安 炳九, 高原秀典, 松川浩之, 田渕幹康, 松本卓也, 青山直樹, 菅原安章, 三井康裕, 勝谷 誠, 高尾雄二郎, 森永友紀子, 原 重雄, 中嶋安彬, 小野成樹, 横山 正
腸管囊腫様気腫症を呈した狭窄型虚血性大腸炎に対し腹腔鏡手術を施行した1例
日本腹部救急医学会雑誌 35 (6), 2015年9月

【学会発表】

〈全国学会〉

高原秀典, 松川浩之, 村上克宏, 松本卓也, 安 炳九, 末次弘実, 横山 正
当院における閉塞性大腸癌の検討
第77回日本臨床外科学会総会, 2015年11月26, 27, 28日, 福岡

村上克宏, 高原秀典, 安 炳九, 松本卓也, 松川浩之, 横山 正
上腕部に留置した皮下埋め込み型中心静脈ポートのカテーテルが断裂した2例
第77回日本臨床外科学会総会, 2015年11月26, 27, 28日, 福岡

松川浩之, 高原秀典, 村上克宏, 松本卓也, 安 炳九, 横山 正
FDG—PET陽性にて悪性腫瘍を疑われた褐色脂肪腫の1例
第77回日本臨床外科学会, 2015年11月26, 27, 28日, 福岡

松川浩之, 安 炳九, 村上克宏, 松本卓也, 高原秀典, 横山 正
当院の腹腔鏡下胆嚢摘出術の開腹移行症例についての検討
日本内視鏡外科学会, 2015年12月9, 10, 11日, 大阪

武田祐二, 坂本由規子, 一瀬直日, 室井延之, 川上辰三, 合田俊一, 村井良平, 田渕 亨, 米津宗徳, 林 有香, 横山 正
在宅でのリハビリテーション栄養の取り組み—急な体重減少をきたしたパーキンソン病患者—
日本静脈経腸栄養学会, 2016年2月25, 26日, 福岡

米津宗徳, 林 有香, 武田祐二, 土居祐二, 坂本由規子, 村井良平, 川上辰三, 合田俊一, 田渕 亨, 室井延之, 武居晃平, 一瀬直日, 横山 正
当院の腹腔鏡下胆嚢摘出術の開腹移行症例についての検討
日本静脈経腸栄養学会, 2016年2月25, 26日, 福岡

高原秀典, 松川浩之, 松本卓也, 村上克宏, 菅原安章, 久保川修, 三井康裕, 勝谷 誠, 高尾雄二郎, 小野成樹, 横山 正
大腸癌イレウスに対する治療戦略—当院での経験—
日本消化管学会総会学術集会, 2016年2月25, 26日, 東京

川副智宏, 松川浩之, 村上克宏, 松本卓也, 高原秀典, 横山 正
小腸の絞扼性イレウスを合併したS状結腸捻転の1例
第52回腹部救急医学会総会, 2016年3月3, 4日, 東京

水谷直也, 松川浩之, 村上克宏, 松本卓也, 高原秀典, 横山 正
少量のバリウムを用いた嚥下造影検査後に単純性イレウスをきたし開腹手術を要した1例
第52回腹部救急医学会総会, 2016年3月3, 4日, 東京

中島友也, 松川浩之, 村上克宏, 松本卓也, 高原秀典, 横山 正
左胃大網動脈瘤破裂の一例
第52回腹部救急医学会総会, 2016年3月3, 4日, 東京

〈地方会・研究会〉

廣瀬正和, 安 炳九, 松川浩之, 田淵幹康, 松本卓也, 高原秀典, 菅原安章, 三井康裕, 勝谷 誠, 高尾雄二郎, 原 重雄, 小野成樹, 横山 正

急性虫垂炎にて発症した虫垂杯細胞カルチノイドの1例

近畿外科, 2015年5月9日, 京都

上田康雅, 安 炳九, 松川浩之, 田淵幹康, 松本卓也, 高原秀典, 菅原安章, 三井康裕, 勝谷 誠, 高尾雄二郎, 原 重雄, 小野成樹, 横山 正

脾臓 sclerosing angiomatoid nodular transformation (SANT) の1例

近畿外科, 2015年5月9日, 京都

医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 外科

【学会発表】

〈全国学会〉

久保田良浩 (滋賀医科大学 外科学講座), 坂井幸子, 河合由紀, 森 毅, 梅田朋子, 大竹玲子, 生田大二, 前平博充, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 北村直美, 赤堀浩也, 太田裕之, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 仲 成幸, 谷 眞至

重症心身障害児で噴門形成術後に吞気による再発をきたした1例

第197回近畿外科学会, 2015年5月, 京都

長野心太, 久保田良浩, 仲原英人, 高岸智子, 日並淳介, 板野秀樹, 梶原正章, 金児 潔, 仲井 理
外傷性直腸穿孔の1例

第51回日本小児外科学会近畿地方会, 2015年8月, 京都

長野心太, 久保田良浩, 仲原英人, 高岸智子, 日並淳介, 板野秀樹, 梶原正章, 金児 潔, 仲井 理
当院で経験した異物誤飲7例の検討

第77回日本臨床外科学会総会, 2015年11月, 福岡

日本赤十字社 大津赤十字病院 呼吸器外科

【学会発表】

〈国際学会〉

Tamaki Takahashi, Daisuke Naito, Yusuke Wakatsuki, Yuko Yamamoto, Kazuki Shima, Yoko Hamakawa, Yuichi Chihara, Kenichi Takahashi, Hiromichi Katakura, Akira Yamanaka, Naoki Sakai: Validation of the LENT score in Japanese sample: The impact of EGFR-TKI. Eur Respir Soc 2015 Annual Congress. 2015. 9. 29, Amsterdam.

〈全国学会〉

濱川瑤子, 内藤大輔, 山本裕子, 嶋 一樹, 高橋珠紀, 荏原雄一, 高橋憲一, 若月悠佑, 片倉浩理, 山中 晃, 酒井直樹

当院で経験した Trousseau 症候群を発症した肺癌の3例

第55回日本呼吸器学会学術講演会, 2015年4月17日, 東京

高橋憲一, 瀬崎千津江, 若月悠佑, 内藤大輔, 山本裕子, 嶋 一樹, 濱川瑤子, 高橋珠紀, 荏原雄一, 片倉浩理, 山中 晃, 酒井直樹

同居する配偶者からみた COPD 患者の CAT 評価における妥当性の検討

第55回日本呼吸器学会学術講演会, 2015年4月18日, 東京

山本裕子, 内藤大輔, 若月悠佑, 濱川瑤子, 嶋 一樹, 高橋珠紀, 荏原雄一, 高橋憲一, 片倉浩理, 山中 晃, 酒井直樹
咳喘息とアトピー咳嗽の鑑別における呼気CTの有用性についての検討

第55回日本呼吸器学会学術講演会, 2015年4月19日, 東京

若月悠佑, 片倉浩理, 山中 晃
 アバスチン投与後に肺癌手術を施行した5例の検討
 第32回日本呼吸器外科学会総会, 2015年5月14日, 高松

片倉浩理, 若月悠佑, 高橋珠紀, 荏原雄一, 酒井直樹, 山中 晃
 cT1N0M0で病理学的にリンパ節転移を認めた非小細胞肺癌症例の検討
 第56回日本肺癌学会学術集会, 2015年11月26日, 横浜

若月悠佑, 山中 晃, 酒井直樹, 片倉浩理, 庄司 剛, 高橋珠紀
 肺癌術後乳び胸に対する治療法の検討
 第56回日本肺癌学会学術集会, 2015年11月26日, 横浜

〈地方会・研究会〉

内藤大輔, 高橋憲一, 亀井克彦, 若月悠佑, 山本裕子, 嶋 一樹, 伏屋芳紀, 高橋珠紀, 荏原雄一, 片倉浩理,
 酒井直樹, 山中 晃
 スエヒロタケによるアレルギー性気管支肺真菌症の1例
 第85回日本呼吸器学会近畿地方会, 2015年7月11日, 奈良

若月悠佑, 内藤大輔, 山本裕子, 嶋 一樹, 高橋珠紀, 伏屋芳紀, 高橋憲一, 庄司 剛, 片倉浩理, 酒井直樹, 山中 晃
 Salvage手術を施行した小細胞癌の一例 —胸腔鏡下手術の役割についての考察—
 第98回日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会, 2015年11月21日, 大阪

岩村直樹, 嶋 一樹, 内藤大輔, 若月悠佑, 山本裕子, 伏屋芳紀, 高橋珠紀, 庄司 剛, 高橋憲一, 片倉浩理, 山中 晃,
 酒井直樹
 超高齢者難治性気胸の1例
 第86回日本呼吸器学会近畿地方会, 2015年12月19日, 京都

伊達直樹, 若月悠佑, 庄司 剛, 片倉浩理, 山中 晃, 奥野知子, 白瀬智之
 肺内に発生した悪性solitary fibrous tumorの一例
 第103回日本肺癌学会関西支部会, 2016年2月20日, 大阪

【対外活動】

〈講演〉
 山中 晃
 特別講演「降下性壊死性縦隔炎について」
 滋賀県耳鼻咽喉科研究会, 2015年6月25日, 京都

山中 晃
 「肺癌と縦隔腫瘍」
 平成27年大津赤十字県民大学, 2015年11月14日, 大津

医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院 心臓血管外科

【学会発表】

〈全国学会〉
 白石昭一郎, 小池雅人, 青嶋 實, 浅井 徹
 僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁形成術の成績
 第115回日本外科学会総会, 平成27年4月17日, 名古屋

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 鈴木友彰, 浅井 徹
 75歳以上の後期高齢者に対する待機的腹部大動脈瘤開腹術の治療成績
 第43回日本血管外科学会, 平成27年6月5日, 横浜

清原由希, 木脇恵子, 小池雅人, 浅井 徹

自宅退院が困難と予想された超高齢者の AS 患者に対して看護師中心で取り組むチーム医療が有効であった一例
日本集中治療医学会, 平成 28 年 2 月 12 日, 神戸

吉川千香子, 小林綾香, 清原由希, 荒木有紀, 関 千雅, 小池雅人, 鈴木友彰, 浅井 徹

腹部大動脈瘤切除術後合併症による絶食のストレスに対してチーム医療が有効であった一例—難治性乳び腹水患者の看護を経験して—

第 80 回日本循環器学会, 平成 28 年 3 月 20 日, 仙台

〈地方会・研究会〉

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 鈴木友彰, 浅井 徹

近江草津徳洲会病院心臓血管外科, 滋賀医科大学心臓血管外科

80 歳以上の高齢者大動脈狭窄症に対して大動脈弁置換術を行い fast-track recovery を成し得た二症例
第 58 回関西胸部外科学会, 平成 27 年 6 月 13 日, 岡山

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 浅井 徹

超高齢者の弓部大動脈瘤に対して弓部大動脈弁置換術を行い fast-track recovery を成し得た一症例
第 197 回近畿外科学会, 平成 27 年 5 月 9 日, 京都

近江八幡市立総合医療センター 心臓血管外科

【学会発表】

〈全国学会〉

早川真人, 松林景二, 平松範彦

左浅大腿動脈病変への PTA 施行 1 年後に生じた *Serratia marcescens* による感染性大腿動却耐留 の 1 例
第 43 回日本血管外科学会学術総会, 2015 年 6 月 3-5 日, 横浜市

早川真人, 松林景二, 平松範彦

当院における一次性静脈瘤に対する 1470nm レーザーを用いた血管内レーザー焼灼術の早期成績
第 35 回日本静脈学会総会, 2015 年 7 月 11 日, 奈良市

早川真人, 平松範彦, 松林景二

心筋梗塞後の乳頭筋断裂による僧帽弁閉鎖不全症に対する 2 手術例
第 29 回日本冠疾患学会学術集会, 2015 年 11 月 20-21 日, 札幌市

松林景二, 平松範彦, 早川真人

冠動脈疾患を合併した腹部大動脈瘤に対する当院の治療戦略
第 29 回日本冠疾患学会学術集会, 2015 年 11 月 20-21 日, 札幌市

〈地方会〉

平松範彦, 早川真人, 松林景二

2 期的胸部大動脈ステントグラフト内挿術 (TEVER) 術後に遅発性不全対麻痺を発症した多発動脈瘤の 1 例
第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日, 京都市

早川真人, 松林景二, 平松範彦

第 4 病期の下大静脈内腫瘍塞栓を伴う腎細胞癌の 1 手術例
第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日, 京都市

心膜原発悪性中皮腫による収縮性心膜炎の 1 例

早川真人, 松林景二, 平松範彦

第 58 回関西胸部外科学会学術集会, 2015 年 6 月 12-13 日, 岡山市

【対外活動】

〈講演〉

早川真人

知っておきたい心臓と血管の病気

第3回心臓血管外科市民公開講座，2015年7月4日，近江八幡

松林景二

心臓血管外科手術の実際

第3回心臓血管外科市民公開講座，2015年7月4日，近江八幡

平松範彦

心臓手術で使う人工心肺装置とは？

第3回心臓血管外科市民公開講座，2015年7月4日，近江八幡

洛和会 音羽病院 呼吸器外科

【論文】

〈和文学術論文〉

鈴木雄治，橋本雅之，一瀬増太郎

二期的に左主気管支切除術を施行した粘表皮癌の1例

日本臨床外科学会雑誌 76 (6) : 1326-1331, 2015

【学会発表】

〈全国学会〉

一瀬増太郎，堀 哲雄，坂口 才，西山聖也，荒 隆紀，中西陽祐，小南亮太，南 卓馬，土谷美知子，長坂行雄
ゲフィチニブ投与中に発症した有癭性膿胸に対し，胸郭形成，有茎大網弁広背筋弁充填術を施行した1例
第32回日本呼吸器外科学会総会，2015年5月15日，高松市

堀 哲雄，一瀬増太郎，西山聖也，荒 隆紀，中西陽祐，小南亮太，南 卓馬，坂口 才，土谷美知子，長坂行雄
気胸発症を契機に診断できた超硬合金肺の一例
第32回日本呼吸器外科学会総会，2015年5月14日，高松市

岡本圭伍，賀来良輔，元石 充，澤井 聡

Porphyromonas gingivalis-fos 肺膿瘍の1切除例

第32回日本呼吸器外科学会総会，2015年5月14日，高松市

堀 哲雄，一瀬増太郎，山下直己

巨大肺嚢胞術後難治性肺癭に対し EWS で改善を得た一例

第19回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会，2015年9月5日，東京都

岡本圭伍，賀来良輔，元石 充，澤井 聡，金井 修

呼吸困難を契機に発見され内視鏡下に切除し得た気管支平滑筋腫の1例

第38回日本呼吸器内視鏡学会学術集会，2015年6月11日，東京都

堀 哲雄，一瀬増太郎

再生不良性貧血合併胸腺腫に対して甲状腺癌と同時手術を行った1例

第56回日本肺癌学会総会，2015年11月26日，横浜市

〈研究会〉

森川彰貴，一瀬増太郎，堀 哲雄，小南亮太，西山聖也，中西陽祐，坂口 才，土谷美知子，長坂行雄
気管支鏡検査後に腫瘍が縮小し薄壁空洞化した肺多形癌の1切除例

第197回近畿外科学会，2015年5月9日，京都市

【対外活動】

〈講演〉

一瀬増太郎

緩和ケア勉強会—第2回—

平成27年度緩和ケア勉強会, 2015年7月2日, 京都市

関西医科大学 外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Iida H, Aihara T, Ikuta S, Yamanaka N.

Clinicopathological characteristics of hepatitis B surface antigen-negative and hepatitis C antibody-negative hepatocellular carcinoma.

Oncol Lett. 2015 Oct; 10(4): 2233-2238. Epub 2015 Aug 4.

〈和文学術論文〉

飯田洋也, 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 坂口達馬, 井上健太郎, 権 雅憲

【創閉鎖法の進歩】肝切除術における真皮縫合の有用性

日本外科感染症学会雑誌 12 (3) : 217-221, 2015

【学会発表】

〈全国学会〉

飯田洋也, 海堀昌樹, 廣川文鋭, 和田浩志, 木下正彦, 石崎守彦, 永野浩昭, 林 道廣, 久保正二, 中居卓也
切除不能大腸がん両葉多発肝転移症例に対する Conversion therapy の有用性—大阪5大学による多施設共同研究—
第115回日本外科学会定期学術集会, 2015年4月, 名古屋

飯田洋也, 海堀昌樹, 田中省吾, 和田浩志, 廣川文鋭, 権 雅憲, 中居卓也, 林 道廣, 永野浩昭, 久保正二
肝炎ウイルス関連肝内胆管癌に対する術後再発形態の検討—リンパ節廓清の意義—
第27回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2015年6月, 東京

飯田洋也, 海堀昌樹, 廣川文鋭, 和田浩志, 木下正彦, 権 雅憲, 久保正二, 永野浩昭, 林 道廣, 中居卓也
切除不能大腸がん肝転移症例に対する Conversion therapy の検討
第27回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2015年6月, 東京

飯田洋也, 海堀昌樹, 田中省吾, 和田浩志, 廣川文鋭, 中居卓也, 林 道廣, 江口英利, 久保正二
腫瘍形成型肝内胆管がんの術後再発形態と肝炎ウイルスに関する多施設共同研究
第51回日本肝癌研究会, 2015年7月, 神戸

飯田洋也, 海堀昌樹, 田中省吾, 和田浩志, 廣川文鋭, 中居卓也, 林 道廣, 権 雅憲, 永野浩昭, 久保正二
ウイルス関連肝内胆管癌の術後再発形態についての検討 (リンパ節廓清は必要か?)
第70回日本消化器外科学会総会, 2015年7月, 浜松

飯田洋也, 海堀昌樹, 和田浩志, 廣川文鋭, 木下正彦, 久保正二, 林 道廣, 江口英利, 中居卓也
切除不能大腸がん肝転移症例に対する Conversion therapy の検討
第51回日本肝癌研究会, 2015年7月, 神戸

飯田洋也, 海堀昌樹, 石崎守彦, 松井康輔, 坂口達馬, 井上健太郎, 権 雅憲
超高齢者の肝細胞がんに対する肝切除の有用性とその問題点 (非高齢者と同じ周術期管理でよいのか)
日本外科代謝栄養学会, 第52回学術集会, 2015年7月, 東京

飯田洋也, 海堀昌樹, 松井康輔, 石崎守彦, 権 雅憲
80歳以上の超高齢者肝細胞がんに対する肝切除の是非 (高齢者の肝切除は若年者と本当に同等か)
第77回日本臨床外科学会総会, 2015年11月, 福岡

飯田洋也, 海堀昌樹, 石崎守彦, 松井康輔, 権 雅憲
ICG 蛍光ナビゲーションを用いた腹腔鏡下肝切除の工夫
第 28 回日本内視鏡外科学会総会, 2015 年 12 月, 大阪

飯田洋也, 海堀昌樹, 石崎守彦, 松井康輔, 権 雅憲
S7-8 領域の肝腫瘍に対する腹腔鏡下肝切除術の工夫
第 28 回日本内視鏡外科学会総会, 2015 年 12 月, 大阪

飯田洋也, 海堀昌樹, 石崎守彦, 松井康輔, 権 雅憲
当科における ERAS プロトコールの肝切除後 SSI に対する有用性
第 28 回日本外科感染症学会総会, 2015 年 12 月, 名古屋

医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 心臓血管外科

【学会発表】

〈全国学会〉

榎本匡秀, 乃田浩光, 宮下史寛, 森本政憲, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹
超高齢者に対する弓部大動脈人工血管置換術の検討
第 43 回日本血管外科学会学術総会, 2015 年 6 月 3 日, 横浜

降矢温一, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 榎本匡秀, 小島三郎, 若林尚宏 (岸和田徳洲会病院心臓血管外科)
当院における PAS-Port の使用成績
第 29 回日本冠疾患学会学術集会, 2015 年 11 月 20 日, ロイトン札幌, 札幌

畔柳智司, 東上震一, 薦岡成年, 降矢温一, 榎本匡秀, 小島三郎, 若林尚宏 (岸和田徳洲会病院)
心室中隔穿孔の外科治療—当院の術式と成績
第 29 回日本冠疾患学会学術集会, 2015 年 11 月 20 日, ロイトン札幌, 札幌

〈地方会・研究会〉

榎本匡秀, 宮下史寛, 森本政憲, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 木下 武, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹
巨大上行大動脈仮性瘤により肺動脈穿破と高度狭窄を呈した 1 例
第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日, 京都

榎本匡秀, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 降矢温一, 小島三郎, 若林尚宏
急性肺塞栓症の治療戦略
第 67 回近畿心臓外科研究会, 2015 年 6 月 20 日, 大阪

榎本匡秀, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 降矢温一, 小島三郎, 若林尚宏
感染性大動脈瘤術後の周術期管理においてエンドトキシン吸着療法が有効であった 2 例
第 26 回日本急性血液浄化学会学術集会, 2015 年 10 月 9 日, 東京

【対外活動】

〈講演〉

榎本匡秀
心臓血管外科の周術期管理におけるトルバプタンの役割
南大阪バンプレシン講演会, 2016 年 3 月 24 日, 堺

きづきクリニック

【学会発表】

〈セッション（シンポジスト）〉

木築野百合

「外科女の会」発足の背景：女性外科医の活躍の場について、開業医の立場から

テーマ：女性医師が外科で活躍するためにロールモデルを見つける

第77回日本臨床外科学会総会，2015年11月，福岡

日本赤十字社 岐阜赤十字病院 麻酔科

【学会発表】

〈全国学会〉

山田忠則

植物状態患者に対する全身麻酔の経験

日本臨床麻酔学会第35回大会，横浜

山田忠則

当院における腹腔鏡下子宮仙骨固定術の周術期管理

第51回日本赤十字社医学会総会，北見

小松加奈子，山田忠則

真性多血症患者の大腿骨頸部骨折に対して，全身麻酔を施行した一症例

第51回日本赤十字社医学会総会，北見

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 呼吸器外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Keigo Okamoto, Makoto Motoishi, Ryosuke Kaku, Satoru Sawai, Jun Hanaoka

A surgical case of eosinophilic angiocentric fibrosis of the lung

SpringerOpen Journal 1 (52); 1-4, 2015

〈和文学術論文〉

片岡瑛子，岡本圭伍，大塩麻友美，元石 充，花岡 淳，澤井 聡

広範な壊死を認めた胸腺腫の1例

日本呼吸器外科学会 29 (5) ; 627-631, 2015

岡本圭吾，賀来良輔，元石 充，澤井 聡，花岡 淳

肺淡明細胞腺癌の1切除例

日本呼吸器外科学会 29 (6) ; 756-760, 2015

【学会発表】

〈全国学会〉

岡本圭伍，賀来良輔，元石 充，澤井 聡

Porphyromonas gingivalis-fos 肺膿瘍の1切除例

第32回日本呼吸器外科学会総会，2015年5月14日，高松

片岡瑛子, 大塩麻友美, 堀本かんな, 白鳥琢也, 林 一喜, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡 淳, 澤井 聡

中葉低形成に発生したカルチノイドの1例

第32回日本呼吸器外科学会総会, 2015年5月14日, 高松

賀来良輔, 岡本圭伍, 元石 充, 澤井 聡

腹膜透析中のダウン症患者に発症した横隔膜交通症の一手術例

第32回日本呼吸器外科学会総会, 2015年5月15日, 高松

元石 充, 岡本圭伍, 賀来良輔, 澤井 聡, 大塩麻友美

肺および胸腺カルチノイドを合併した多発性内分泌腫瘍症1型の1例

第32回日本呼吸器外科学会総会, 2015年5月15日, 高松

賀来良輔, 岡本圭伍, 元石 充, 澤井 聡, 金井 修

気管支食道瘻に対して食道ステント留置により経口摂取および自宅退院可能であった一例

第38回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2015年6月11日, 東京

賀来良輔, 岡本圭伍, 元石 充, 澤井 聡, 花岡 淳, 寺本晃治

非小細胞肺癌に対して根治手術を施行した50歳未満の女性の臨床病理学的特徴について

第68回日本胸部外科学会定期学術集会, 2015年10月19日, 神戸

〈地方会・研究会〉

岡本圭吾, 賀来良輔, 元石 充, 澤井 聡

感染性肺嚢胞に合併した粘液性腺癌の1例

第197回近畿外科学会, 2015年5月9日, 京都

澤井 聡, 林 喜一, 賀来良輔, 元石 充

iDrive TM ウルトラの使用経験

第33回近畿胸腔鏡研究会, 2015年8月22日, 大阪

林 一喜, 賀来良輔, 元石 充, 澤井 聡

永久気管孔よりDumon Y-stentを留置した一例

第52回近畿呼吸器疾患研究会, 2016年3月5日, 京都

【対外活動】

〈講演会・公開講座〉

澤井 聡

切らなくてもよい肺癌はある？

第20回内科-泌尿器科病診連携の会 藤森カンファレンス, 2015年9月12日, 京都

澤井 聡

呼吸器外科における薬物治療の最前線

第3回摂南大学薬学部公開講座, 2015年11月15日, 大阪

日本赤十字社 京都第一赤十字病院

【学会発表】

〈全国学会〉

植木智之, 亀井武志, 松原大樹, 名西健二, 下村克己, 窪田 健, 池田 純, 谷口史洋, 塩飽保博

当院における切除不能再発大腸癌症例に対するレゴラフェニブの使用経験

第115回日本外科学会定期学術集会, 2015年4月, 名古屋

植木智之, 亀井武志, 松原大樹, 名西健二, 下村克己, 窪田 健, 池田 純, 谷口史洋, 塩飽保博

A Case of Multiple Hepatic Metastases Treated with Trans-arterial Embolization with New Vascular Embolic Materials “Embosphere” and Biotherapy with Octreotide

第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

社会医療法人誠光会 草津総合病院 一般外科・消化器外科

【学会発表】

〈全国学会〉

水本明良, 平野正満, 高尾信行, 一瀬真澄, 野口耕右

腹膜偽粘液腫に対する腹膜切除術の術後成績

第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月 16 日～4 月 18 日, 名古屋

一瀬真澄, 平野正満, 水本明良, 高尾信行, 野口耕右

進行再発胃痛に対する集学的治療術前化学療法としての腹腔鏡下温熱化学療法と腹膜切除の適応について

第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月 16 日～4 月 18 日, 名古屋

一瀬真澄, 平野正満, 水本明良, 高尾信行, 野口耕右

若手医師に伝授する腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術—TEP 法のピットホール

第 13 回日本ヘルニア学会学術集会, 2015 年 5 月 22 日, 愛知

水本明良, 平野正満, 高尾信行, 一瀬真澄, 野口耕右

当院での卵巣癌腹膜播種に対する腹膜切除術と温熱化学療法の治療実績

第 40 回日本外科系連合学会学術集会, 2015 年 6 月 19 日, 東京

一瀬真澄, 平野正満, 水本明良, 高尾信行, 野口耕右

虫垂癌腹膜播種に腹膜切除を施行した 2 例

第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月 17 日, 浜松

平野正満, 水本明良, 高尾信行, 一瀬真澄, 野口耕右

腹腔鏡下 HIPEC の適応疾患

第 32 回日本ハイパーサーミア学会学術大会, 2015 年 9 月 5 日, 大阪

水本明良, 平野正満, 高尾信行, 一瀬真澄, 野口耕右

HIPEC + CRS 後の合併症と対策

第 32 回日本ハイパーサーミア学会学術大会, 2015 年 9 月 5 日, 大阪

一瀬真澄, 平野正満, 水本明良, 高尾信行, 野口耕右

腹腔鏡下 HIPEC の方法・合併症

第 32 回日本ハイパーサーミア学会学術大会, 2015 年 9 月 5 日, 大阪

水本明良, 平野正満, 高尾信行, 一瀬真澄, 野口耕右

Peritoneal cancer index から見た大腸癌腹膜播種に対する腹膜切除の手術成績の検討

第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月 26 日, 福岡

西村直子, 一瀬真澄, 平野正満, 水本明良, 高尾信行, 野口耕右

腹膜切除後の栄養管理～在宅での栄養管理を見据えて

第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 2016 年 2 月 25 日, 福岡

〈地方会・研究会〉

高尾信行, 平野正満, 水本明良, 一瀬真澄, 野口耕右

Spigel ヘルニアに対して腹腔鏡下修復術を施行した 1 例

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日, 京都

一瀬真澄, 平野正満, 水本明良, 高尾信行, 野口耕右
 盲腸癌腹膜播種に腹膜切除を施行し2度の再発手術を行った1例
 第197回近畿外科学会, 2015年5月9日, 京都

社会医療法人誠光会 草津総合病院 呼吸器外科

〈学術論文〉

Yo Kawaguchi, Takuya Fujita, Jun Hanaoka
 Invasive desmoplastic fibroblastoma in the chest wall: a case report
 Ann Thorac Surg. 99(4); e85-6, 2015 Apr

Yo Kawaguchi, Takuya Fujita, Jun Hanaoka
 Spontaneous regression of pulmonary lymphoepithelioma-like carcinoma
 Ann Thorac Surg. 99(6); 2197-9, 2015 Jun

〈全国学会〉

川口 庸, 藤田琢也
 有癭性膿胸開窓術部に対しVAC療法を行い閉創した後, 咯血した1例
 第32回日本呼吸器外科学会総会, 2015年5月, 高松

川口 庸

当院における自然気胸に対する単孔式胸腔鏡手術
 第19回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2015年9月, 東京

川口 庸, 藤田琢也, 花岡 淳, 林 一喜
 カルボプラチン+ペメトレキセド投与後に門脈ガス血症を来した1例
 第56回日本肺癌学会学術集会, 2015年11月

〈地方会・研究会〉

川口 庸
 有癭性膿胸開窓術部に対しVAC療法を行った1例
 第197回近畿外科学会, 2015年5月, 京都

川口 庸, 藤田琢也, 花岡 淳

胸壁に発生したDesmoplastic fibroblastomaの1切除例
 第25回関西胸部外科学会学術集会, 2015年6月, 岡山

公立甲賀病院 呼吸器外科

【論文】

〈英文学術論文〉
 Invasive desmoplastic fibroblastoma in the chest wall: a case report
 Yo Kawaguchi, Takuya Fujita, Jun Hanaoka:
 Ann Thorac Surg 99(4); e85-6, 2015 Apr

【学会発表】

〈全国学会〉
 藤田琢也, 川口 庸, 尾崎良智, 井上修平
 開胸術後に発症した肋骨骨髓炎・肋軟骨炎の一例
 第32回日本呼吸器外科学会総会, 2015年5月, 高松

川口 庸, 藤田琢也

有癭性膿胸開窓術部に対し VAC 療法を行い閉創した後, 喀血した 1 例
第 32 回日本呼吸器外科学会総会, 2015 年 5 月, 高松

川口 庸, 藤田琢也, 花岡 淳

胸壁に発生した Desmoplastic fibroblastoma の 1 切除例
第 58 回関西胸部外科学会学術集会, 2015 年 6 月, 岡山

〈地方会〉

白鳥琢也

胸腺原発類基底細胞癌と診断した一例

第 102 回日本肺癌学会 関西支部学術集会, 2015 年 6 月 26 日

藤田琢也, 白鳥琢也, 川口 庸

有癭性部分膿胸の一例

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日

川口 庸

有癭性膿胸開窓術部に対し VAC 療法を行った 1 例

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日

【対外活動】

〈講 演〉

藤田琢也

肺結核について

院内感染対策研修会, 2015 年 8 月 13 日, 公立甲賀病院

藤田琢也

肺癌について

甲賀市公開講座, 2016 年 1 月 23 日, 公立甲賀病院

社会医療法人天神会 古賀病院 21

【論 文】

〈和文学術論文〉

池添清彦

後腹膜原発傍神経節腫の 1 例

臨床と研究, 4 月

池添清彦

腓原発ソマトスタチン産生神経内分泌癌の 1 例

臨床と研究, 5 月

奥村憲二 (退職)

新しい腹壁癒痕ヘルニア用 Mesh を用いて腹腔鏡下に修復を行った巨大食道裂孔ヘルニアの 1 例

臨床と研究, 12 月

【学会発表】

〈地方会〉

池添清彦

閉鎖孔ヘルニア 25 例の検討

第 40 回日本大腸肛門病学会, 2015 年 9 月, 九州

小松市民病院

国民健康保険 小松市民病院

【学会発表】

〈対外活動〉

土橋洋史

大腸がん

第 15 回石川県がん診療連携協議会 県民公開講座, 2015 年 10 月, 小松市

土橋洋史

腹腔鏡を用いた大腸がん切除術

第 9 回小松市市民公開講座, 2015 年 11 月, 小松市

社会医療法人美杉会 佐藤病院

【論文】

〈英文学術論文〉

Takebayashi K, Matsumura M, Kawai Y, Hoashi T, Katsura N, Fukuda S, Shimizu K, Inada T, Sato M.

Efficacy of transversus abdominis plane block and rectus sheath block in laparoscopic inguinal hernia surgery.

Int Surg. 100 (4); 666-671, 2015-4

滋賀県立成人病センター 呼吸器内科

【学会発表】

〈地方会・研究会〉

杉山陽介, 寺下 聡, 塩田哲広

気管狭窄に対するステント留置前後のモストグラフの変化

NPO 法人西日本呼吸器内科医療推進機構 平成 27 年第 10 期総会, 2015 年 2 月 28 日, 京都

塩田哲広

ザーコリが著効した ALK 陽性肺癌の 1 例

但馬内科 Joint Conference, 2015 年 3 月 4 日, 豊岡

合田菜穂, 伊藤誠二, 杉山陽介, 寺下 聡, 塩田哲広, 大林千穂

健診にて発見された肺リンパ腫様肉芽腫症の 1 例

第 207 回日本内科学会近畿地方会, 2015 年 3 月 7 日, 大阪

塩田哲広

クリゾチニブが著効した肺癌多発脳転移の一例

第 120 回兵庫県肺癌懇話会, 2015 年 3 月 11 日, 神戸

石床 学, 塩田哲広, 野原 淳, 渡邊壽規, 西岡慶善, 徳野純子, 横山雄平, 菊池柳太郎, 川上賢三

クリゾチニブが著効した肺癌多発脳転移の一例

第 102 回日本肺癌学会関西支部学術集会, 2015 年 7 月 4 日, 大阪

中田侑吾, 中山真之介, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 西岡慶善, 塩田哲広, 徳野純子, 横山雄平, 菊池柳太郎,

川上賢三

腫瘍により右主気管支完全閉塞後に右気胸を併発した 1 例

第 85 回日本呼吸器学会近畿地方会, 2015 年 7 月 11 日, 奈良

野原 淳, 森菜都美, 工藤慶子, 野原 淳, 渡邊壽規, 西岡慶善, 塩田哲広, 徳野純子, 横山雄平, 菊池柳太郎, 川上賢三

診断に難渋した抗酸菌感染症の1例

第86回日本呼吸器学会近畿地方会, 2015年12月19日, 京都

杉山陽介, 中治仁志, 阪森優一, 三好琴子, 李 祐香, 合田菜穂, 藤原えり, 南 建輔, 塩田哲広, 曲渕達雄

Crizotinib 耐性脳転移増悪に対し Alectinib が著効した超高齢者の EML4-ALK 陽性肺腺癌1例

第86回日本呼吸器学会近畿地方会, 2015年12月19日, 京都

森菜都美, 工藤慶子, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 西岡慶善, 塩田哲広, 徳野純子, 横山雄平, 菊池柳太郎, 川上賢三

両側多発肺転移, 多発骨転移で診断された甲状腺濾胞癌の一例

第86回日本呼吸器学会近畿地方会, 2015年12月19日, 京都

石床 学, 塩田哲広, 森菜都美, 工藤慶子, 野原 淳, 渡邊壽規, 西岡慶善, 徳野純子, 横山雄平, 菊池柳太郎, 川上賢三

FDB-PET 検査で胸膜播種が疑われたため局所麻酔下胸腔鏡検査を施行した一例

第86回日本呼吸器学会近畿地方会, 2015年12月19日, 京都

西岡慶善, 森菜都美, 工藤慶子, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広, 徳野純子, 横山雄平, 菊池柳太郎, 川上賢三

CT ガイド下生検後の医原性気胸にソラシックエッグ™ を留置した2例

第86回日本呼吸器学会近畿地方会, 2015年12月19日, 京都

工藤慶子, 森菜都美, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 西岡慶善, 塩田哲広, 徳野純子, 横山雄平, 菊池柳太郎, 川上賢三

Lung Point VBN システム, ガイドワイヤーを用いて EWS を留置した1例

第86回日本呼吸器学会近畿地方会, 2015年12月19日, 京都

【対外活動】

〈講演会〉

塩田哲広

気管支喘息：医師が目指す治療と患者が望む治療

守山野洲医師会 8月度学術講演会, 2015年8月22日, 守山

塩田哲広：禁煙—そして肺癌抑制への一里塚

兵庫県健康財団住民健診担当者会議特別講演, 2015年2月27日, 兵庫

塩田哲広

睡眠と病気予防

滋賀県立成人病センター平成27年度健康教室, 2015年10月16日, 守山

塩田哲広

肺がんでこんな風にして診断するんや

滋賀県立成人病センター 第72回がん診療セミナー, 2015年11月28日, 守山

塩田哲広

COPDはこう診断して, こう治療する!!

SHIGA COPD Management Meeting, 2015年11月28日, 守山

静岡県立静岡がんセンター 食道外科

【学会発表】

〈全国学会〉

竹林克士, 新原正大, 松田 諭, 川守田啓介, 坪佐恭宏

食道腺癌の一例

第 53 回静岡食道疾患懇話会, 2015 年 4 月, 静岡

竹林克士, 坪佐恭宏, 新原正大, 川守田啓介, 松田 諭, 大木克久, 對馬隆浩, 横田知哉, 安井博史, 上條朋之, 飯田善幸, 須田稔士, 鬼塚哲郎, 佐藤 弘

頸部食道癌における所属リンパ節と病期分類の検証

第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月, 名古屋

竹林克士, 坪佐恭宏, 松田 諭, 川守田啓介, 新原正大

食道粘膜下腫瘍の 4 切除例

第 40 回日本外科学系連合学会学術集会, 2015 年 6 月, 東京

竹林克士, 坪佐恭宏, 松田 諭, 高木 航, 川守田啓介, 新原正大, 對馬隆浩, 横田知哉, 小野澤祐輔, 安井博史
サルベージ手術の臨床的意義から考えた頸部食道癌に対する初回治療選択

第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

竹林克士, 坪佐恭宏, 松田 諭, 川守田啓介, 新原正大, 對馬隆浩, 横田知哉, 安井博史

初回治療選択からみた切除可能頸部食道癌における治療成績

第 69 回日本食道学会学術集会, 2015 年 7 月, 横浜

竹林克士, 坪佐恭宏, 松田 諭, 川守田啓介, 新原正大, 尾上剛士, 小川洋史, 對馬隆浩, 横田知哉, 安井博史
縦隔転移を有する頸部食道癌に対する化学放射線療法の治療成績

第 13 回日本消化器外科学会大会, 2015 年 10 月, 東京

竹林克士, 坪佐恭宏, 新原正大, 對馬隆浩, 横田知哉, 小野澤祐輔, 今井篤志, 上條朋之, 飯田善幸, 島田理子, 坊岡英祐, 小川洋史, 佐藤 弘, 鬼塚哲郎, 安井博史

頸部食道癌における所属リンパ節と病期分類の検証

第 53 回日本癌治療学会学術集会, 2015 年 10 月, 京都

竹林克士, 坪佐恭宏, 島田理子, 坊岡英祐, 新原正大

高度肥満の Barrett 食道腺癌に対して胸腔鏡下食道切除を施行した 1 例

第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

竹林克士, 坪佐恭宏, 島田理子, 坊岡英祐, 新原正大

当科における胸部食道癌切除後の胸腔ドレーン排液量の検討 胸腔鏡下手術と開胸手術の比較

第 28 回日本内視鏡外科学会総会, 2015 年 12 月, 大阪

竹林克士, 坪佐恭宏, 島田理子, 坊岡英祐, 新原正大, 對馬隆浩, 町田 望, 小野澤祐輔, 安井博史

Barrett 食道腺癌手術症例の治療成績に関する検討

第 13 回日本消化管学会総会学術集会, 2016 年 2 月, 東京

静岡県立静岡がんセンター 大腸外科

【著 書】

山岡雄祐, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 賀川弘康

第 4 章 治療 直腸癌に対する側方郭清

大腸腺腫・大腸がん 最新医学別冊 診断と治療の ABC 最新医学者 大阪市: 140-146

【論文】

〈英文学術論文〉

Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Sato S, Yamakawa Y, Kagawa H, Tomioka H, Mori K.
Learning curve for robotic-assisted surgery for rectal cancer : use of the cumulative sum method.
Surgical Endoscopy 29 (7); 1679-1685, 2015 July

Yamaguchi T, Kinugasa, Shiomi A, Tomioka H, Kagawa H.
Robotic-assisted laparoscopic versus open lateral lymph node dissection for advanced lower rectal cancer.
Surgical Endoscopy 30 (2); 721-728, 2016 Janu

Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Tomioka H, Kagawa H.
Erratum to: Robotic-assisted laparoscopic versus open lateral lymph node dissection for advanced lower rectal cancer.
Surgical Endoscopy. 2015 Oct 20. Epub.

Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Tomioka H, Kagawa H, Yamakawa Y.
Robotic-assisted vs. conventional laparoscopic surgery for rectal cancer: short-term outcomes at a single center.
Surgery Today. 2015 Oct 19. Epub.

Kagawa H, Kinugasa Y, Shiomi A, Yamaguchi T, Tsukamoto S, Tomioka H, Yamakawa Y, Sato S.
Robotic-assisted lateral lymph node dissection for lower rectal cancer: short-term outcomes in 50 consecutive patients.
Surgical Endoscopy 29 (4); 995-1000, 2015 Apr

Yamaoka Y, Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Kagawa H, Yamakawa Y, Numata M, Sugimoto S, Imai K, Hotta K, Sasaki K.
Adenocarcinoma arising from jejunal ectopic pancreas mimicking peritoneal metastasis from colon cancer: a case report and literature review.
Surgical Case Reports 1 (1); 114, 2015 Nov

〈和文学術論文〉

賀川弘康, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 山川雄士, 村田飛鳥
特集 泌尿器科・婦人科・整形外科・大腸外科からみた直腸癌手術に必要な究極の骨盤解剖学 側方郭清に必要とされる解剖と鏡視下側方郭清術
手術 69 (8) : 1211-1215, 2015年7月

山岡雄祐, 絹笠祐介, 賀川弘康, 塩見明生, 山口智弘, 山川雄士, 沼田正勝, 村田飛鳥
6直腸 腹腔鏡下直腸切断術
臨床外科 70 (11) : 134-138, 2015年10月

【学会発表】

〈国際学会〉

Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Tomioka H, Kagawa H.
Robotic-Assisted Laparoscopic versus Open Lateral Lymph Node Dissection for Advanced Rectal Cancer.
The American Society of Colon and Rectal Surgeons Annual Scientific Meeting, 2015/5/30-6/7, Boston

Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Kagawa H, Yamakawa Y, Numata M, Nakai N, Furutani A, Yamaoka Y, Murata A, Manabe S, Kirikami Y.
Short-term outcomes of robotic-assisted versus conventional laparoscopic surgery for rectal cancer.
15th Asia Pacific Federation of Coloproctology Congress, 2015/10/5-7, Melbourne

Nakai N, Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Kagawa H, Yamakawa Y, Numata M, Furutani A, Yamaoka Y, Murata A, Manabe S, Kirikami Y.

Long term outcome after curative resection of paraaortic lymph node metastasis from left-sided colon and rectal cancer.

15th Asia Pacific Federation of Coloproctology Congress, 2015/10/5-7, Melbourne

Manabe S, Shiomi A, Kinugasa Y, Yamaguchi T, Kagawa H, Yamakawa Y, Numata M, Nakai N, Furutani A, Murata A, Yamaoka Y, Kirikami Y.

Feasibility of laparoscopic surgery for the visceral obese patients with transverse colon cancer.

15th Asia Pacific Federation of Coloproctology Congress, 2015/10/5-7, Melbourne

〈全国学会〉

山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 富岡寛行, 賀川弘康, 佐藤純人, 山川雄士, 岡 ゆりか, 古谷晃伸, 仲井 希
直腸癌に対する側方郭清一口ロボット支援下手術 vs. 開腹手術—

第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月, 名古屋

賀川弘康, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 富岡寛行, 山川雄士, 佐藤純人, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦
局所進行大腸癌における骨盤内臓全摘術

第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月, 名古屋

村田飛鳥, 山口智弘, 山岡雄祐, 眞部祥一, 桐上由利子, 仲井 希, 佐藤力弥, 岡 ゆりか, 佐藤純人, 山川雄士,
賀川弘康, 富岡寛行, 塩見明生, 絹笠祐介

肥満症例における腹腔鏡下直腸癌手術の治療成績

第 115 回日本外科学会定期学術集会, 2015 年 4 月, 名古屋

塩見明生, 絹笠祐介, 山口智弘, 富岡寛行, 賀川弘康, 山川雄士, 佐藤純人, 寺島雅典, 上坂克彦

横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術 腫瘍位置に応じた術式選択と工夫

第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

桐上由利子, 山口智弘, 佐藤純人, 山川雄士, 賀川弘康, 富岡寛行, 塩見明生, 寺島雅典, 上坂克彦, 絹笠祐介

閉塞性大腸癌に対する経肛門のイレウス管を用いた術前減圧の安全性と有効性

第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 賀川弘康, 山川雄士, 仲井 希, 古谷晃伸, 村田飛鳥, 眞部祥一, 桐上由利子

Robot Assisted Laparoscopic Surgery for Corerectal Cancer

第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

山岡雄祐, 山口智弘, 佐藤純人, 山川雄士, 賀川弘康, 富岡寛行, 塩見明生, 絹笠祐介

大腸癌術後の腹膜転移との鑑別を要した空腸異所性腺癌男 1 例

第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

山川雄士, 山口智弘, 賀川弘康, 富岡寛行, 塩見明生, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦, 絹笠祐介

左側横行結腸癌領域に対する腹腔鏡下手術手技の工夫

第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

内田恒之, 賀川弘康, 富岡寛行, 山口智弘, 塩見明生, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦, 絹笠祐介

cT1 大腸癌に対する内視鏡治療後の外科的追加切除症例の臨床病理学的検討

第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

眞部祥一, 塩見明生, 佐藤純人, 山川雄士, 賀川弘康, 富岡寛行, 山口智弘, 寺島雅典, 上坂克彦, 絹笠祐介

内臓脂肪型肥満を有する横行結腸癌症例に対する腹腔鏡下手術の妥当性

第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 山川雄士, 佐藤純人, 賀川弘康, 富岡寛行, 坂東悦郎, 寺島雅典
ロボット支援下腹腔鏡下側方郭清の手法の工夫
第70回日本消化器外科学会総会, 2015年7月, 浜松

山口智弘, 仲井 希, 大木悠輔, 長澤芳信, 日野仁嗣, 沼田正勝, 桐上由利子, 眞部祥一, 村田飛鳥, 山岡雄祐,
古谷晃伸, 山川雄士, 賀川弘康, 塩見明生, 絹笠祐介
切除可能な大動脈周囲リンパ節転移症例の治療戦略
第83回大腸癌研究会, 2015年7月, 久留米

塩見明生, 絹笠祐介, 山口智弘, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 寺島雅典, 坂東悦郎, 上坂克彦
直腸癌に対するロボット支援下手術の治療成績 ロボット手術 vs 通常型腹腔鏡下手術
第53回日本癌治療学会学術集会, 2015年10月, 京都

岡村亮輔, 肥田侯矢, 坂井義治, 赤木智徳, 秋吉 志, 小西 毅, 福田明輝, 山口智弘, 山本聖一郎, 渡邊昌彦
下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下手術の意義を検証する多施設共同観察研究
第53回日本癌治療学会学術集会, 2015年10月, 京都

賀川弘康, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 山川雄士, 大島啓一, 浦上研一, 楠原正俊, 北川雄光
大腸がんの遺伝子プロファイリング
第53回日本癌治療学会学術集会, 2015年10月, 京都

塩見明生, 絹笠祐介, 山口智弘, 賀川弘康, 山川雄士, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦
下部直腸癌手術の短期成績比較 通常型腹腔鏡下手術 VS ロボット支援下手術
第13回日本消化器外科学会大会, 2015年11月, 東京

山口智弘, 大木悠輔, 長澤芳信, 日野仁嗣, 沼田正勝, 桐上由利子, 眞部祥一, 村田飛鳥, 山岡雄祐, 仲井 希,
古谷晃伸, 山川雄士, 賀川弘康, 塩見明生, 絹笠祐介
cT3N1 下部直腸癌に対する治療戦略~術前補助療法を行わない立場から~
第70回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015年11月, 名古屋

塩見明生, 絹笠祐介, 山口智弘, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 仲井 希, 古谷晃伸, 村田飛鳥, 山岡雄祐,
桐上由利子, 眞部祥一, 日野仁嗣, 大木悠輔, 長澤芳信
下部直腸癌に対するロボット支援下手術
第70回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015年11月, 名古屋

賀川弘康, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸, 仲井 希, 山岡雄祐, 村田飛鳥,
眞部祥一, 桐上由利子, 日野仁嗣, 大木悠輔, 長澤芳信
進行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の長期成績とチーム習熟度による短期成績の変化
第70回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015年11月, 名古屋

山岡雄祐, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸, 仲井 希, 村田飛鳥,
眞部祥一, 桐上由利子, 日野仁嗣, 長澤芳信, 大木悠輔
大腸癌のリンパ節転移に対する Surgical diagnosis について
第70回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015年11月, 名古屋

山川雄士, 山口智弘, 大木悠輔, 山岡雄祐, 村田飛鳥, 眞部祥一, 桐上由利子, 古谷晃伸, 仲井 希, 沼田正勝,
賀川弘康, 塩見明生, 絹笠祐介
直腸癌局所再発の治療戦略
第70回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015年11月, 名古屋

沼田正勝, 山口智弘, 大木悠輔, 村田飛鳥, 山岡雄祐, 眞部祥一, 桐上由利子, 古谷晃伸, 仲井 希, 山川雄士,
賀川弘康, 塩見明生, 絹笠祐介
cT4b 結腸癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績
第70回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015年11月, 名古屋

長澤芳信, 賀川弘康, 大木悠輔, 日野仁嗣, 沼田正勝, 桐上由利子, 眞部祥一, 村田飛鳥, 山岡雄祐, 仲井 希, 古谷晃伸, 山川雄士, 山口智弘, 塩見明生, 絹笠祐介
直腸癌術後局所再発・腹膜播種再発・鼠径リンパ節再発に対して外科的切除により長期生存が得られた一例
第70回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015年11月, 名古屋

日野仁嗣, 賀川弘康, 大木悠輔, 長澤芳信, 山岡雄祐, 村田飛鳥, 眞部祥一, 桐上由利子, 仲井 希, 古谷晃伸, 沼田正勝, 山川雄士, 山口智弘, 塩見明生, 絹笠祐介
直腸癌異時性膝転移・大動脈分岐部リンパ節転移を同時切除し長期生存が得られた1例
第70回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015年11月, 名古屋

眞部祥一, 山口智弘, 大木悠輔, 長澤芳信, 日野仁嗣, 桐上由利子, 村田飛鳥, 山岡雄祐, 仲井 希, 古谷晃伸, 沼田正勝, 山川雄士, 賀川弘康, 塩見明生, 絹笠祐介
大腸低分化腺癌の臨床病理学的特徴と予後について
第70回日本大腸肛門病学会学術集会, 2015年11月, 名古屋

山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸, 仲井 希, 山岡雄祐, 村田飛鳥, 眞部祥一, 桐上由利子, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦
腹腔鏡下直腸低位前方切除術における縫合不全の予防
第77回日本臨床外科学会総会, 2015年11月, 福岡

桐上由利子, 山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 仲井 希, 古谷晃伸, 村田飛鳥, 眞部祥一, 山岡雄祐, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦
直腸切除術後の予防的抗生剤と骨盤死腔炎について
第77回日本臨床外科学会総会, 2015年11月, 福岡

古谷晃伸, 山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 仲井 希, 沼田正勝, 山岡雄祐, 村田飛鳥, 眞部祥一, 桐上由利子, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦
早期大腸癌同時性肝転移の2例
第77回日本臨床外科学会総会, 2015年11月, 福岡

山川雄士, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 賀川弘康, 古谷晃伸, 仲井 希, 沼田正勝, 山岡雄祐, 眞部祥一, 桐上由利子, 村田飛鳥, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦
肥満症例に対する腹腔鏡下S状結腸切除術, 腹腔鏡下高位前方切除術の検討
第77回日本臨床外科学会総会, 2015年11月, 福岡

大木悠輔, 山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 古谷晃伸, 仲井 希, 村田飛鳥, 眞部祥一, 山岡雄祐, 桐上由利子, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦
小腸に発生した類内膜腺癌の1例
第77回日本臨床外科学会総会, 2015年11月, 福岡

山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸, 仲井 希, 山岡雄祐, 村田飛鳥, 眞部祥一, 桐上由利子, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦
ロボット支援下腹腔鏡下直腸癌手術と排尿機能障害
第77回日本臨床外科学会総会, 2015年11月, 福岡

山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸, 仲井 希, 山岡雄祐, 村田飛鳥, 眞部祥一, 桐上由利子, 坂東悦郎, 寺島雅典
ロボット支援下側方郭清のピットフォールとその対策
第28回日本内視鏡外科学会総会, 2015年12月, 大阪

塩見明生, 絹笠祐介, 山口智弘, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸, 仲井 希, 村田飛鳥, 眞部祥一, 山岡雄祐, 桐上由利子, 坂東悦郎, 寺島雅典
定型化した腹腔鏡下横行結腸癌手術の手技と短期成績
第28回日本内視鏡外科学会総会, 2015年12月, 大阪

賀川弘康, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸, 仲井 希, 山岡雄祐, 眞部祥一, 村田飛鳥, 桐上由利子, 坂東悦郎, 寺島雅典

下部進行直腸癌に対するロボット支援下側方郭清と短期成績

第28回日本内視鏡外科学会総会, 2015年12月, 大阪

古谷晃伸, 塩見明生, 絹笠祐介, 山口智弘, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 仲井 希, 桐上由利子, 山岡雄祐, 村田飛鳥, 眞部祥一, 坂東悦郎, 寺島雅典

直腸癌に対するロボット支援下括約筋間直腸切除術の短期成績

第28回日本内視鏡外科学会総会, 2015年12月, 大阪

山川雄士, 山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 沼田正勝, 古谷晃伸, 仲井 希, 村田飛鳥, 眞部祥一, 山岡雄祐, 桐上由利子, 坂東悦郎, 寺島雅典

進行大腸癌に対する開腹手術と腹腔鏡手術の比較～Propensity score matchingを用いた検討～

第28回日本内視鏡外科学会総会, 2015年12月, 大阪

沼田正勝, 山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 古谷晃伸, 仲井 希, 村田飛鳥, 眞部祥一, 山岡雄祐, 桐上由利子, 坂東悦郎, 寺島雅典

腹腔鏡下結腸切除術における開腹移行が短期成績に及ぼす影響

第28回日本内視鏡外科学会総会, 2015年12月, 大阪

村田飛鳥, 賀川弘康, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸, 仲井 希, 眞部祥一, 山岡雄祐, 桐上由利子, 坂東悦郎, 寺島雅典

定型化された腹腔鏡下大腸癌手術の教育効果

第28回日本内視鏡外科学会総会, 2015年12月, 大阪

長澤芳信, 塩見明生, 絹笠祐介, 山口智弘, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸, 仲井 希, 村田飛鳥, 眞部祥一, 山岡雄祐, 桐上由利子, 坂東悦郎, 寺島雅典

腹腔鏡下括約筋間直腸切除術の長期成績および排便機能の検討

第28回日本内視鏡外科学会総会, 2015年12月, 大阪

日野仁嗣, 山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 古谷晃伸, 仲井 希, 沼田正勝, 山岡雄祐, 村田飛鳥, 眞部祥一, 桐上由利子, 坂東悦郎, 寺島雅典

高齢者に対する腹腔鏡下大腸切除術における至摘リンパ節郭清範囲についての検討

第28回日本内視鏡外科学会総会, 2015年12月, 大阪

日野仁嗣, 山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸, 仲井 希, 山岡雄祐, 村田飛鳥, 桐上由利子, 眞部祥一, 長澤芳信, 大木悠輔

下部直腸・肛門管癌に対する括約筋間直腸切除術の長期成績

第84回大腸癌研究会, 2016年1月, 熊本

〈地方会〉

山口智弘

直腸悪性腫瘍の外科治療 開腹からロボット手術まで

滋賀医科大学医学科4年生消化器系講義, 2015年6月, 大津

山口智弘

増えている大腸がん～予防のために何が必要か～

静岡県対がん協会「がん予防講演会」, 2015年8月, 清水町

山口智弘

ビデオクリニック

駿府大腸会議, 2015年9月, 静岡

山口智弘

排便機能に破綻をきたす病態の理解と評価 炎症性腸疾患の病態・治療・手術適応
静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程, 2015年9月, 三島

山口智弘

静岡がんセンターでの腹腔鏡下大腸切除術の手技「直腸切除」
静岡腹腔鏡下大腸切除手術手技勉強会, 2015年10月, 静岡

山口智弘

静岡がんセンターにおける腹腔鏡下大腸癌手術の手技と治療成績
CRC Expert Meeting 手術手技 Session, 2016年2月, 北九州

山口智弘

ビデオクリニック
駿府大腸会議, 2016年2月, 静岡

山口智弘

「大腸癌の診断・治療・合併症について」
東レ・メディカル株式会社 社内教育講演会, 東京

医療法人天神会 新古賀病院 消化器外科 総合診療・救急部

【論文】

〈英文学術論文〉

Yamamoto H, Nakae H, Uji Y, Maeda K, Tani T, Eguchi Y.

Plasma Adiponectin levels in acute liver failure patients treated with Plasma Filtration with Dialysis and Plasma Exchange.

Ther Apher Dial 19 (4): 349-354, 2015

〈和文学術論文〉

丹後泰久, 宇治祥隆, 池添清彦, 高尾貴史, 本間憲一, 磯本浩晴, 入江康司

予後不良であった同時性肝転移を伴うS状結腸内分泌細胞癌の1例

臨床と研究 92 (9): 1195-1200, 2015

【学会発表】

〈全国学会〉

石見拓人, 宇治祥隆, 徳永美喜, 新上浩司, 山口方規, 高尾貴史

術後再発に対して再切除を施行した腹腔内デスマイドの1例

第52回九州外科学会, 2015年5月, 大分

山口方規, 馬場活嘉, 宇治祥隆, 高尾貴史

拡大左肝切除術後の胃十二指腸動脈仮性動脈瘤に対してステント併用コイル塞栓術が安全かつ有効であった一例

第27回日本肝胆膵外科学会学術集会, 2015年6月, 東京

宇治祥隆, 石見拓人, 徳永美喜, 新上浩司, 山口方規, 高尾貴史

当院における胃癌に対する腹腔鏡補助下幽門側胃切除術の検討—血中プロカルシトニンの評価を含めて—

第70回日本消化器外科学会総会, 2015年7月, 浜松

石見拓人, 宇治祥隆, 徳永美喜, 新上浩司, 馬場活嘉, 高尾貴史

後腹膜血腫による腎動脈急性閉塞を血腫ドレナージ術で閉塞解除した1例

第77回日本臨床外科学会総会, 2015年11月, 福岡

宇治祥隆, 石見拓人, 徳永美喜, 新上浩司, 馬場活嘉, 高尾貴史
当院における胃癌での腹腔鏡補助下胃切除術の検討：開腹手術との比較
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

新上浩司, 石見拓人, 徳永美喜, 新上浩司, 馬場活嘉, 宇治祥隆, 高尾貴史
腸閉塞をきたした回腸子宮内膜症の 1 例
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

宇治祥隆, 石見拓人, 徳永美喜, 新上浩司, 馬場活嘉, 高尾貴史,
当院における胃癌での腹腔鏡補助下胃切除術の検討：開腹手術との比較
第 28 回日本内視鏡外科学会総会, 2015 年 12 月, 大阪

宇治祥隆
肝門部胆管癌術後肝不全に対して施行した PDF の比較
第 4 回急性血液浄化・集中治療フォーラム, 2016 年 1 月, 京都

〈対外活動〉

宇治祥隆
当院での重症敗血症性 DIC に対する治療について
久留米敗血症治療セミナー, 2015 年 7 月, 新古賀病院

宇治祥隆, 石見拓人, 徳永美喜, 新上浩司, 馬場活嘉, 高尾貴史
私たちに何ができるか？当院消化器外科における取り組みとその成果
第 2 回久留米臨床外科医会連携の会, 2015 年 11 月, 翠香園

社会医療法人高井会 高井病院 乳腺外科

【学会発表】

〈全国学会〉

松本みゆき, 徳川奉樹
がんリハビリテーションの立ち上げに伴った当院でのがん勉強会の取り組み
日本緩和医療学会, 2015 年 6 月, 横浜

徳川奉樹, 金井奈緒子
胸骨転移に三度 Lapatinib/Capecitabine 療法が奏功した多発脳転移を伴った 1 症例
日本乳がん学会, 2015 年 7 月, 東京

金井奈緒子, 徳川奉樹
乳癌術後の上肢可動域・リンパ浮腫状況の外来チェックによる患者への関わり
日本乳がん学会, 2015 年 7 月, 東京

徳川奉樹, 米田勝晃, 生川賀代, 徳永奈都子, 田辺 涼, 松下節子, 北村正美, 田本博美
当院での再発乳がん症例へのエベロリムスの使用経験 6 例の検討
日本癌治療学会, 2015 年 10 月, 京都

医療法人医仁会 武田総合病院 呼吸器外科

【論文】

〈和文学術論文〉

鈴木雄治, 橋本雅之, 一瀬増太郎

二期的に左主気管支切除術を施行した粘表皮癌の1例

日本臨床外科学会雑誌 76 (6) ; 1326-31, 2015

【学会発表】

〈全国学会〉

鈴木雄治, 石田恵子, 埴 健

急速に増大した肝細胞癌肋骨転移に対し胸壁合併切除術を施行した1例

第32回日本気呼吸器外科学会総会, 2015年5月, 高松

石田恵子, 鈴木雄治, 埴 健

他疾患精査中に発見された肺動静脈瘻に対して胸腔鏡下肺部分切除術を施行した1例

第32回日本気呼吸器外科学会総会, 2015年5月, 高松

石田恵子, 北村将司, 鈴木雄治

葉間胸膜より発生し肺内腫瘍との鑑別が困難であった孤立性線維性腫瘍の1手術例

第56回日本肺癌学会総会, 2015年11月, 横浜

鈴木雄治, 石田恵子, 北村将司

複数回手術により長期生存を得ている子宮頸癌肺転移の2例

第56回日本肺癌学会総会, 2015年11月, 横浜

帝京大学医学部附属溝口病院 外科

【論文】

〈和文学術論文〉

藤野昇三, 渡部真人, 手塚則明

胸腔鏡手術を行った肺癌における遠隔成績 長期予後と再発形式

日本胸部臨床 74 (1) ; 40-47, 2015

藤野昇三

肺分画症および先天性呼吸器疾患

第60回臨床呼吸器カンファレンス報告集「肺分画症」; 20-27, 2015

藤野昇三

触診の重要性を再認識しよう

日本外科系連合学会誌 40 (5) ; 1052-1055, 2015

藤野昇三

1枚のシェーマ非定型分葉肺に対して左肺舌区・下葉スリーブ切除術を施行した肺癌の1例

胸部外科 68 (10) ; 840-, 2015

藤野昇三

胸部外科医の散歩道

胸部外科 68 (12) ; 1030-, 2015

【学会発表】

〈国際学会〉

M. Watanabe, S. Fujino, T. Okumura

A case of completion pneumonectomy performed through midsternal incision and posterolateral incision

16th wawaord conference on lung cancer Denber, Colorado, USA, 9/6-9, 2015

M. Watanabe, S. Fujino, T. Okumura

Case of patient who underwent right middle lobectomy of lung adenocarcinoma with histological characteristics similar to papillary adenoma

16th wawaord conference on lung cancer Denber, Colorado, USA, 9/6-9, 2015

〈全国学会〉

渡部真人, 奥村武弘 他

Papillary adenoma に類似した組織学的特徴を持った肺腺癌の一切除例

第 32 回日本呼吸器外科学会, 2015 年 5 月 14-15 日, 高松

内藤善久, 兼松恭平, 春日井尚, 渡部真人, 谷口桂三

当科における腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術 (TAPP) 導入

第 13 回日本ヘルニア学会, 2015 年 5 月 22-23 日, 名古屋

丸野 要, 渡部真人, 内藤善久, 奥村武弘, 春日井尚, 谷口桂三, 藤野昇三, 水口國雄

男性に発生した嚢胞内非浸潤性乳管癌の 1 例

第 23 回日本乳癌学会, 2015 年 7 月 2-4 日, 東京

渡部真人, 藤野昇三, 奥村武弘, 金 俊行, 小山ひかり, 幸山 正, 小林紀子, 佐藤祥恵, 齋藤歩美, 南部敦史, 高橋美紀子, 川村雅司

若年者の自然気胸手術症例における画像所見と患者因子についての検討

第 19 回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会, 2015 年 9 月 4-5 日, 東京

小林紀子, 南部敦史, 齋藤歩美, 佐藤祥恵, 多湖正夫, 渡部真人, 奥村武弘, 藤野昇三, 金 俊行, 小山ひかり, 幸山 正, 高橋美紀子, 川本雅司

若年者に発症する自然気胸の病態の検討: CT 用いた解析

第 19 回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会, 2015 年 9 月 4-5 日, 東京

藤野昇三

呼吸器疾患の最新の知見の提供

第 60 回臨床呼吸器カンファアレンス, 2015 年 9 月 17 日, 東京

藤野昇三, 渡部真人, 奥村武弘, 高橋美紀子, 川本雅司

Papillary adenoma との鑑別の難渋した肺腺癌の 1 例

第 47 回日本臨床分子形態学会, 2015 年 9 月 18-19 日, 長崎

藤野昇三, 渡部真人, 奥村武弘

難治性気胸へのアプローチと工夫 難治性気胸にどのように対処するか

第 77 回日本臨床外科学会, 2015 年 11 月 26-28 日, 福岡

谷口桂三, 内藤善久, 春日井尚, 水野真広, 伊藤 希, 丸野 要, 渡部真人, 奥村武弘, 藤野昇三

腹腔鏡下胃全摘後の食道空腸吻合 狭窄への対策 ~Circular staplar 吻合に管腔内からのLinaer stapler を付加して~

第 77 回日本臨床外科学会, 2015 年 11 月 26-28 日, 福岡

春日井尚, 緑川 泰, 渡部真人, 水野真広, 伊藤 希, 内藤善久, 奥村武弘, 丸野 要, 谷口桂三, 藤野昇三

症例の少ない施設でも安全に行える腭断端陥入前後列一層での腭胃吻合

第 77 回日本臨床外科学会, 2015 年 11 月 26-28 日, 福岡

丸野 要, 水野真広, 伊藤 希, 渡部真人, 内藤善久, 奥村武弘, 春日井尚, 谷口桂三, 藤野昇三, 水口國雄
 乳腺原発の非典型カルチノイドの2例
 第77回日本臨床外科学会, 2015年11月26-28日, 福岡

渡部真人, 藤野昇三, 奥村武弘, 伊藤 希, 水野真広, 内藤善久, 春日井尚, 丸野 要, 谷口桂三, 高橋美紀子, 川本雅司
 外科的切除により診断し得た放線菌感染症の1例
 第77回日本臨床外科学会, 2015年11月26-28日, 福岡

伊藤 希, 谷口桂三, 内藤善久, 水野真広, 丸野 要, 春日井尚, 奥村武弘, 渡部真人, 藤野昇三
 術後12年目に再発を来し腹腔鏡下で摘出した, 炎症性偽腫瘍様変化を伴う後腹膜炎脂肪腫の1例
 第77回日本臨床外科学会, 2015年11月26-28日, 福岡

内藤善久 他
 閉塞性大腸癌における bridge to surgery としての大腸ステント留置の経験
 第70回日本大腸肛門病学会, 2015年11月13-14日, 名古屋

藤野昇三
 ハイリスク難治性気胸—手術療法を中心に—
 第68回日本胸部外科学会, 2015年

渡部真人, 藤野昇三, 奥村武弘, 水野真広, 内藤善久, 春日井尚, 丸野 要, 谷口桂三
 Well differentiated fetal adenocarcinoma の手術例
 第56回日本肺癌学会, 2015年11月26-28日, 横浜

渡部真人, 藤野昇三, 水野真広, 伊藤 希, 内藤善久, 奥村武弘, 春日井尚, 丸野 要, 谷口桂三
 当院における膿胸手術症例の検討
 第28回日本内視鏡外科学会, 2015年12月10-12日, 大阪

谷口桂三, 内藤善久, 水野真広, 伊藤 希, 春日井尚, 渡部真人, 奥村武弘, 丸野 要, 藤野昇三
 腹腔鏡下胃切除における Nathanson Liver retractors を用いた視野展開の工夫
 第28回日本内視鏡外科学会, 2015年12月10-12日, 大阪

渡部真人, 藤野昇三, 奥村武弘
 治療法に難渋した胸骨正中切開術後の胸骨離開の一例
 第25回日本呼吸器外科医会冬季学術集会, 2016年2月26-28日, 北海道

水野真広, 谷口桂三, 伊藤 希, 春日井尚, 丸野 要, 渡部真人, 奥村武弘, 藤野昇三
 Ball valve synorome を呈した粘膜下腫瘍を腹腔鏡下にて整復した1例
 第88回日本胃癌学会, 2016年3月17-19日, 別府

山川貴菜, 中埜良康, 南部敦史, 多湖正夫, 加藤 聡, 藤野昇三, 水口國雄
 若年女性に認められた肺 Well Differented Fetal Adenocarcinoma で術前診断が困難であった1例
 第74回日本医学放射線学会総会, 2015年

〈全国学会・講演〉

藤野昇三
 いわゆる気胸体型はどの時期に啓されるのか?—気胸を発症する患者の身体的・社会的特性についての考察—
 第19回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会, 2015年9月4-5日, 東京

〈地方会・研究会〉

藤野昇三
 触診の重要性を再認識しよう
 第52回近江呼吸器疾患研究会, 2016年3月5日, 京都

【対外活動】

〈講演会・セミナー〉

藤野昇三

呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント
日総研セミナー，2015年6月6日，東京

藤野昇三

呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント
日総研セミナー，2015年6月20日，名古屋

社会医療法人信愛会 暇生会脳神経外科病院 外科

【学会発表】

〈全国学会〉

村山浩之

S状結腸憩室炎が腹壁に穿通し，腹壁膿瘍を形成した一例
第70回日本大腸肛門病学会学術集会，2015年11月，名古屋
医療法人東和会 第一東和会病院 内視鏡外科

医療法人東和会 第一東和会病院 内視鏡外科

【論文】

〈和文学術論文〉

千野佳秀，藤村昌樹，佐藤 功，山崎 元，水谷 真，田畑智丈，北菌 巖
当センターにおける内視鏡外科医を育てるための教育プログラム
大阪医学 46 (1)；通巻 (75)；5-9

【学会発表】

〈国際学会〉

Yoshihide Chino et.al.

The role of the bile drainage tube 'C-tube' during laparoscopic common bile duct exploration (LCBDE)
SAGES, 2015. 4. 14, Nashville USA.

Yoshihide Chino et.al.

Tumescent Anesthesia for totally extraperitoneal (TEP) laparoscopic inguinal hernia repair.
SAGES, 2016. 3. 15, Boston USA.

〈全国学会・研究会〉

千野佳秀，藤村昌樹，佐藤 功，山崎 元，水谷 真，田畑智丈，田儀知之，寫岡成佳
腹腔鏡下単径ヘルニア修復術のピットホール
第13回日本ヘルニア学会，2015年5月22日，名古屋

千野佳秀，藤村昌樹，佐藤 功，山崎 元，水谷 真，田畑智丈，田儀知之，寫岡成佳
Tumescent Anesthesia for Totally extraperitoneal (TEP) laparoscopic inguinal hernia repair
第70回日本消化器外科学会，2015年7月17日，浜松

千野佳秀

至適剥離層を開き繋げる TEP (1型)

第7回腹腔鏡下ヘルニア手術手技研究集会，2015年9月19日，東京

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 水谷 真, 田畑智丈, 田儀知之, 高山昇一, 寫岡成佳, 飯田 稔
 腹腔鏡下総胆管結石手術のピットホールとその対策
 第 27 回日本内視鏡外科学会, 2015 年 12 月 10-12 日, 大阪

千野佳秀, 藤村昌樹, 佐藤 功, 水谷 真, 田畑智丈, 田儀知之, 高山昇一, 寫岡成佳, 飯田 稔
 当院における総胆管切石症に対する治療の変遷とその成績
 第 5 回胆道手術手技研究会, 2016 年 2 月 27 日, 福井

【対外活動】

〈講演〉

千野佳秀

君はその手術で何を学ぶか！— Basic から advanced surgery へ—

第 5 回鹿児島肝胆膵と内視鏡手術研究会, 2015 年 6 月 6 日, 鹿児島

公益財団法人 豊郷病院 外科

【論文】

〈和文学術論文〉

井内武和 他

豊郷病院における腹腔鏡下大腸癌手術の現状と課題

滋賀医大誌 29 (1) : 46-50, 2016

児玉泰一, 井内武和, 竹林克士, 蔦本慶裕

横行結腸癌術後に髄膜癌腫症をきたした 1 例

外科 77 (8) : 963-966, 2015

【学会発表】

〈地方会〉

井内武和

手術を要した異食による腸閉塞の 1 例

第 18 回琵琶湖消化器外科懇話会, 2015 年 6 月, 草津

日本赤十字社 長浜赤十字病院

【論文】

〈和文学術論文〉

丹後泰久, 宇治祥隆, 池添清彦, 高尾貴史, 本間憲一, 磯本浩晴, 入江康司

予後不良であった同時性肝転移を伴う S 状結腸内分泌細胞癌の 1 例

臨床と研究 92 (9) : 1195-1200, 2015

【学会発表】

〈全国学会〉

中村一郎, 下松谷 匠, 東口貴之, 谷口正展, 丹後泰久, 中村誠昌, 川口 晃

胃癌術後孤立性臍転移切除に対して Component separation 法による腹壁再建を行った 1 例

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月, 京都

中村一郎, 谷口正展, 東口貴之, 丹後泰久, 中村誠昌, 川口 晃, 下松谷 匠

膿瘍形成を伴う急性虫垂炎の治療経験

第 107 回滋賀県外科医会, 2015 年 5 月, 京都

Nakamura I, Taniguchi M, Tango Y, Nakamura T, Kawaguchi A, Shimomatsuya T.
The Evaluation Of Laparoscopic Surgery For Gastric Gastrointestinal Stromal Tumors.
第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

丹後泰久, 東口貴之, 谷口正展, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
超高齢者急性汎発性腹膜炎症例の問題点～当院における大腸穿孔例の検討から～
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

中村一郎, 東口貴之, 谷口正展, 丹後泰久, 中村誠昌, 川口 晃, 下松谷 匠
高度感染を伴う急性虫垂炎の治療経験
第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

中村一郎, 東口貴之, 谷口正展, 丹後泰久, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
左副腎腫瘍との鑑別が困難であった MIBG 陽性胃 GIST の 1 例
第 108 回滋賀外科医会, 2015 年 12 月, 大津

〈地方会・研究会〉

丹後泰久, 東口貴之, 谷口正展, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
穿孔性汎発性腹膜炎を呈したクローン病の 1 例
滋賀消化器研究会第 75 回学術講演会, 2015 年 7 月, 滋賀

丹後泰久, 塩見尚礼, 東口貴之, 谷口正展, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠
当院における胆嚢癌に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術症例の検討
第 5 回腹腔鏡下胆道手術研究会, 2016 年 2 月, 福井

社会医療法人弘道会 萱島生野病院 外科

【学会発表】

〈全国学会〉

大恵匡俊, 小野山裕彦
小腸憩室による大腿ヘルニア嵌頓の 1 例
第 77 回日本臨床外科学会総会, 平成 27 年 11 月, 福岡市

医療法人社団医伸会 のじまバスキュラーアクセスクリニック

【論文】

〈和文学術論文〉

野島武久, 本宮康樹, 井出孝夫
術者単独で行う end-to-side, parachute technique での AVF
腎と透析 79 ; 7-9, 2015

野島武久, 本宮康樹, 井出孝夫
術者単独での AVG 作製で手術の質を確保するための工夫
腎と透析 79 ; 39-41, 2015

【学会発表】

〈全国学会〉

野島武久, 本宮康樹, 井出孝夫
過剰血流内シャントに対する血流制御手術 — Graft inclusion technique —
第 60 回日本透析医学会, 2015 年 6 月 26 日, 横浜

野島武久, 本宮康樹, 井出孝夫
直達の内膜摘除によるシャント再建手術
第 19 回日本アクセス研究会学術集会総会, 2015 年 9 月 13 日, 広島

野島武久, 本宮康樹, 井出孝夫
VAIVT における leakage と spasm への対応策
第 21 回バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会, 2016 年 3 月 5 日, 東京

〈地方会・研究会〉

野島武久, 本宮康樹, 井出孝夫
端側 parachute technique での AVF 作製手術
第 19 回日本アクセス研究会学術集会総会, 2015 年 9 月 12 日, 広島

野島武久
ご紹介いただいた症例から透析シャントを考える
第 4 回地域のシャントを考える会, 2015 年 10 月 3 日, 神戸

野島武久
透析シャント 日々の疑問
第 4 回地域のシャントを考える会, 2015 年 10 月 3 日, 神戸

野島武久
アクセス治療に難渋した難治性ネフローゼ症候群の一例
第 4 回兵庫 VAIVT カンファレンス, 2016 年 1 月 28 日, 神戸

野島武久, 本宮康樹, 井出孝夫
VAIVT における leakage と spasm への対応策
第 3 回大阪 VAIVT 研究会, 2016 年 3 月 26 日, 大阪

【対外活動】

〈講演〉
野島武久
バスキュラーアクセスを共に考え, 共に守る
神戸市難病医療相談会・兵庫県腎友会地域勉強会, 2015 年 7 月 5 日, 神戸

野島武久
血栓性閉塞に対する治療戦略
第 19 回日本アクセス研究会学術集会総会, 2015 年 9 月 13 日, 広島

野島武久
内シャントの作製・修復・合併症治療
第 20 回播磨血液浄化研究会, 2015 年 11 月 10 日, 姫路

野島武久
バスキュラーアクセスを共に考え, 共に守る
NPO 法人兵庫県腎友会西播ブロック勉強会, 2016 年 1 月 10 日, 姫路

はえうち診療所

【学会発表】

〈全国学会〉

生内一夫

共同研究者：清水智治，園田寛道，太田裕之，生田大二，谷 眞至，目片英治，遠藤善裕
診断に苦慮した肛門管癌の1症例

第70回日本大腸肛門病学会，平成27年11月，名古屋市

〈地方会〉

生内一夫

Z形成術を用いた肛門狭窄をともなった裂孔に対する手術

第197回近畿外科学会，平成27年5月，京都市

独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター 外科

【論文】

〈和文学術論文〉

小倉知子，田崎亜希子，赤尾景子，木村由梨，須藤正朝，阪中美紀，藪田直希，若杉吉宣，森井博朗，園田文乃，河合由紀，目片英治

赤外線観察カメラシステムを用いた抗がん剤曝露回避対策の検討

滋賀医科大学雑誌 28 (1) : 55-59, 2015

園田文乃，園田寛道，稲富 理，目片英治，清水智治，塩見尚礼，仲 成幸，谷 眞至，安藤 朗

複数回の抗 EGFR 抗体薬投与と転移巣切除術により長期生存が得られた S 状結腸癌同時性多発肝転移の一例

滋賀医科大学雑誌 28 (1) : 40-44, 2015

太田裕之，清水智治，園田寛道，目片英治，遠藤善裕，谷 眞至

当院における進行直腸癌に対する腹腔鏡手術の短期治療成績 開腹手術との比較

滋賀医科大学雑誌 28 (1) : 13-17, 2015

生内一夫，清水智治，園田寛道，生田大二，谷 眞至，目片英治，遠藤善裕

診断に苦慮した肛門管癌の1症例

日本大腸肛門病学会雑誌 (0047-1801) 68 (9) : 837, 2015

児玉泰一，園田寛道，清水智治，太田裕之，目片英治，谷 眞至

小腸癌を契機として診断された Lynch 症候群の2例

日本臨床外科学会雑誌 76 (9) : 2225-2230, 2015

前平博充，塩見尚礼，生田大二，村上耕一郎，赤堀浩也，森 毅，園田寛道，清水智治，久保田良浩，村田 聡，山本 寛，梅田朋子，目片英治，仲 成幸，谷 眞至

Alonso-LejII 型先天性胆道拡張症と臍尿管合流異常を合併した良性胆管狭窄の1例

日本外科系連合学会誌 40 (3) : 590, 2015

太田裕之，清水智治，園田寛道，植木智之，目片英治，遠藤善裕，谷 眞至

一時的回腸人工肛門閉鎖術後の創感染に対する陰圧閉鎖療法の有用性について

日本外科感染症学会雑誌 12 (5) : 586, 2015

太田裕之，清水智治，園田寛道，植木智之，目片英治，遠藤善裕

感染性心内膜炎を合併した大腸癌の2例

日本臨床外科学会雑誌 76 増刊 : 952, 2015

植木智之, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当施設にて外科的切除を施行した直腸神経内分泌腫瘍 (NET G1) 13 症例の検討
日本臨床外科学会雑誌 76 増刊 ; 754, 2015

瀬戸山 博, 大野辰治, 目片英治, 加藤理史
地域連携とクリニカルパス 優しい在宅医療体制をつくる ケアサイクルの理解 滋賀県におけるがん地域医療連携クリ
ニカルパス (会議録)
日本クリニカルパス学会誌 17 (4) ; 509, 2015

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕, 三宅 亨, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 村上耕一郎,
山口 剛, 森 毅, 北村直美, 仲 成幸, 谷 眞至
80 歳以上の超高齢者大腸癌に対する術式選択 腹腔鏡下手術の有用性
日本臨床外科学会雑誌 76 増刊 ; 611, 2015

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 三宅 亨, 目片英治, 河合由紀, 遠藤善裕, 森 毅, 村田 聡, 谷 眞至
大腸癌に対する術中温熱化学療法 of 検討
日本癌治療学会誌 50 (3) ; 2670, 2015

三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 目片英治, 河合由紀, 遠藤善裕, 塩見尚礼, 森 毅, 村田 聡, 谷 眞至
Colitic cancer の治療経過についての検討
日本癌治療学会誌 50 (3) ; 1672, 2015

村田 聡, 山本 寛, 山口 剛, 貝田佐知子, 石田光明, 竹林克士, 塩見尚礼, 仲 成幸, 清水智治, 園田寛道,
太田裕之, 目片英治, 九嶋亮治, 谷 徹, 谷 眞至
胃がん手術療法の進歩 胃癌手術時の消化管再建における腹腔内癌細胞散布の危険性について
日本癌治療学会誌 50 (3) ; 1314, 2015

塩見尚礼, Tuy Dinh, 向所賢一, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 仲 成幸,
河合由紀, 北村直美, 遠藤善裕, 杉原洋行, 谷 眞至
大腸 大腸がん化学療法の進歩 ABCG2 の大腸癌における発現はイリノテカンに対する感受性を予測する
日本癌治療学会誌 50 (3) ; 1221, 2015

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 山口 剛, 森 毅, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
大腸 大腸がん化学療法の進歩 進行再発大腸癌化学療法終了の判断基準としての mGPS の有用性
日本癌治療学会誌 50 (3) ; 419, 2015

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 生内一夫, 三宅 亨, 生田大二, 遠藤善裕, 谷 眞至
潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下手術の現状
日本大腸肛門病学会雑誌 68 (9) ; 718, 2015

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
進行下部直腸癌に対する術前化学療法併用 ISR 安全, 確実な ISR を目指して
日本大腸肛門病学会雑誌 68 (9) ; 705, 2015

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 生田大二, 前平博充, 山口 剛, 森 毅, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
大腸癌化学療法終了時の mGPS が治療中止の判断基準となる
日本緩和医療学会学術大会プログラム抄録集 (20) ; 353, 2015

加藤理史, 大野辰治, 瀬戸山 博, 目片英治, 山本秀和, 東出俊一
滋賀県における「がん地域連携パス」への取り組み (第 5 報)
日本医療マネジメント学会雑誌 (16) Suppl ; 214, 2015

太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院における進行直腸癌に対する腹腔鏡手術の短期成績についての検討 開腹手術との比較
日本大腸肛門病学会雑誌 68 (6) ; 445, 2015

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹

当院における大腸 SM 癌内視鏡治療後追加切除症例におけるリンパ節転移予測因子の検討

日本大腸肛門病学会雑誌 68 (5) ; 349, 2015

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 山本 寛, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 仲 成幸, 一瀬真澄, 川崎誠康, 中村一郎, 藤野光廣, 土橋洋史, 宇治祥隆, 安 炳九, 池添清彦, 八木俊和, 龍田 健, 東田宏明, 井内武和, 神谷純広, 西村彰一, 籠 洋三, 長谷川 均, 熊野公束, 横田 徹, 藤田益嗣, 林 直樹, 山口智弘, 飯田洋也, 水野 文, 貝塚真知子, 柿原直樹, 佐藤浩一郎, 矢澤武史, 田中彰恵, 小林千恵, 生内一夫, 谷 眞至

胃癌および大腸癌術後に発症した Clostridium difficile 感染症の検討—関連病院におけるアンケート調査の結果から—
滋賀医大誌 29 (1) ; 27-31, 2016

【学会発表】

〈全国学会〉

瀬戸山 博, 大野辰治, 堀 泰祐, 目片英治, 花木宏治, 水野敏子, 加藤理史

滋賀県緩和ケア地域連携クリニカルパスの普及活動

第 20 回日本緩和医療学会学術集会, 2015 年 6 月, 横浜

Hiroshi Setoyama, Eiji Mekata, Kouji Hanaki.

Shiga started regional cooperating palliative care system employing standardized clinical pathway.

第 70 回日本消化器外科学会総会, 2015 年 7 月, 浜松

岡内 博, 大竹玲子, 小島正継, 瀬戸山 博

術前に診断しえた鼠径部膀胱ヘルニアの 3 例

第 69 回国立病院総合医学会, 2015 年 10 月, 札幌

新田信人, 塩見尚礼, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 北村直美, 太田裕之, 園田寛道, 植木智之, 山口 剛, 村田 聡, 山本 寛, 森 毅, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至

上行結腸癌, 多発肝転移の経過中に肝外胆管転移を来した 1 例

第 77 回日本臨床外科学会総会, 2015 年 11 月, 福岡

新田信人

当院における外傷性小腸穿孔の検討

第 52 回日本腹部救急医学会総会, 2016 年 3 月, 東京

〈地方会〉

瀬戸山 博, 東出俊一, 林 栄一, 目片英治, 山本秀和, 矢澤武史, 加納正人, 水本明良, 増山 守, 土屋邦之, 松谷 匠

滋賀県のがん地域医療連携システム

第 197 回近畿外科学会定期学術集会, 2015 年 5 月, 京都

瀬戸山 博, 目片英治, 花木宏治

滋賀県がん緩和医療地域連携クリニカルパス

第 197 回近畿外科学会定期学術集会, 2015 年 5 月, 京都

新田信人, 小島正継, 岡内 博, 瀬戸山 博, 長谷川正人, 目片英治

3 重複した進行大腸癌により閉塞性イレウスを来した症例

第 108 回滋賀県外科医師会, 2015 年 12 月, 大津

瀬戸山 博, 目片英治, 新田信人, 小島正継, 岡内 博, 長谷川正人, 長谷川英利, 上中敏弘

高齢大腸がん患者に対する薬物療法についての考察

第 26 回滋賀癌化学療法研究会, 2016 年 2 月, 草津

西尾公佑, 瀬戸山 博, 居出健司, 大内政嗣, 五月女隆男
 右胃大網動脈の動脈瘤破裂による特発性大網血腫の1例
 第113回近畿救急医学研究会, 2016年3月, 神戸

新田信人 (滋賀医科大学 外科学講座), 清水智治, 太田裕之, 園田寛道, 山口 剛, 赤堀浩也, 三宅 亨, 谷 眞至
 当院における外傷性小腸穿孔の検討
 第52回日本腹部救急医学会総会, 2016年3月, 東京

【講演会】

大竹玲子, 小島正継, 岡内 博, 瀬戸山 博, 長谷川正人, 目片英治
 進行消化器癌の集学的治療について
 第32回東近江総合医療センター臨床談話会, 2015年7月, 東近江市

新田信人
 当院における稀少がんの報告
 第33回東近江総合医療センター臨床談話会, 2016年2月, 東近江市

小島正継
 おなかのコブ (ヘルニア)
 平成27年度東近江総合医療センター市民公開講座, 2015年2月, 東近江市

目片英治
 私の大腸癌診療と研究
 第24回癌セミナー, 2016年3月, 大阪

【対外活動】

目片英治
 平成27年度 第1回 東近江医療圏がん診療市民公開講座, 2015年9月, 東近江市

目片英治
 平成27年度 第2回東近江医療圏がん診療市民公開講座, 2015年11月, 近江八幡市

目片英治
 滋賀医科大学外科関連施設セミナー, 2015年11月, 大津市

目片英治
 平成27年度滋賀医科大学地域医療教育研究拠点市民公開講座, 2016年3月, 大津市

独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター 呼吸器外科

【論文】

〈著書〉

高橋雅士, 井上修平
 見る / 診る / 語る 呼吸器画像診断のコツ 5. 結核 VS. 一般細菌感染症の鑑別
 見る / 診る / 語る 呼吸器画像診断のコツ「克誠堂出版」(編集・酒井文和) 第1版, 第1刷: 39-45, 2015年4月10日

〈英文学術論文〉

Hiroaki Nakagawa, Masatsugu Ohuchi, Takuya Fujita, Yoshitomo Ozaki, Yasutaka Nakano, Shuhei Inoue.
 Thoracolithiasis diagnosed by thoracoscopy under local anesthesia.
 Respiriology Case Reports (Journal of the Asian Pacific Society of Respiriology) 3 (3); 102-104, 2015

〈和文学術論文〉

尾崎良智, 井上修平, 北村将司, 上田桂子, 藤田琢也, 大内政嗣
切除により病勢制御可能となった Mycobacterium abscessus の 1 例
日本呼吸器外科学会雑誌 (Jpn J Chest Surg) 29 (6) : 732-736, 2015 年 9 月 15 日

尾崎良智, 井上修平, 北村将司, 上田桂子, 藤田琢也, 大内政嗣, 花岡 淳
右残存肺全摘術後 12 年後に発生した晩発性気管支断端瘻の治療経験
気管支学 (日本呼吸器内視鏡学会雑誌) 37 (5) : 532-536, 2015 年 9 月 25 日

和田 広, 井上修平, 尾崎良智, 北村将司, 上田桂子, 永谷幸裕
小青竜湯による薬剤性肺炎と思われた 1 例
日本胸部臨床 75 (2) : 197-202, 2016 年 2 月

【学会発表】

〈全国学会〉

上田桂子, 北村将司, 尾崎良智, 井上修平
気胸症例に対する 50% ブドウ糖液を用いた胸膜癒着療法の検討
第 32 回日本呼吸器外科学会総会, 2015 年 5 月 14-15 日, 高松

藤田琢也, 川口 庸, 井上修平, 尾崎良智
開胸術後に発症した肋骨骨髓炎・肋軟骨炎の一例
第 32 回日本呼吸器外科学会総会, 2015 年 5 月 14-15 日, 高松

尾崎良智, 井上修平, 北村将司, 上田桂子
病理病期 IB ~ IIIA 期完全切除例に対する GEM, CBDCA bi-weekly 投与方法による術後補助化学療法
第 32 回日本呼吸器外科学会総会, 2015 年 5 月 14-15 日, 高松

尾崎良智, 井上修平, 北村将司, 上田桂子
急性膿胸に対する局所麻酔下胸腔鏡を用いた胸腔内ウロキナーゼ散布の経験
第 38 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2015 年 6 月 11-12 日, 東京

上田桂子, 北村将司, 尾崎良智, 井上修平
当院における末梢肺悪性腫瘍に対するガイドシース併用気管支腔内超音波断層法併用気管支鏡検査の検討
第 38 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2015 年 6 月 11-12 日, 東京

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 上田桂子
若年者自然気胸に対する胸腔鏡下手術後の急性ジストニア発症の検討
第 19 回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2015 年 9 月 4-5 日, 東京

長谷川英利, 上中敏弘, 松井駿亮, 川端一巧, 田中 巧, 上田桂子, 大内政嗣, 尾崎良智, 井上修平
肺癌 CBDCA (AUC4) +weekly nab-PTX (80mg/m² day1, 8, 15) 療法中高齢者における用量検討について
第 25 回日本医療薬学会年会, 2015 年 11 月 21-23 日, 横浜

松井駿亮, 上中敏弘, 長谷川英利, 川端一巧, 田中 巧, 北村将司, 上田桂子, 大内政嗣, 尾崎良智, 井上修平
高投与量のトラマドールカプセル 400mg/Day からオキシコドン徐放カプセルへのオピオイドローテーションを行った一例
第 25 回日本医療薬学会年会, 2015 年 11 月 21-23 日, 横浜

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 上田桂子
ALK 陽性肺癌に対し crizotinib 投与後に手術を施行した 1 例
第 56 回日本肺癌学会学術集会, 2015 年 11 月 26-28 日, 横浜

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 上田桂子, 北村将司
進行非小細胞肺癌に対する carboplatin と nab-paclitaxel による術前化学療法の経験
第 56 回日本肺癌学会学術集会, 2015 年 11 月 26-28 日, 横浜

上田桂子, 尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣
 当科における 80 歳以上高齢者肺癌の治療成績
 第 56 回日本肺癌学会学術集会, 2015 年 11 月 26-28 日, 横浜

〈地方会・研究会〉

上田桂子, 尾崎良智, 北村将司, 井上修平
 気胸で発見された肺アスペルギローマの一手術例
 第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月 9 日, 京都

上田桂子, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣
 当施設におけるアレクチニブの使用経験
 第 35 回京滋肺癌研究会, 2015 年 7 月 3 日, 京都

上田桂子, 尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣
 縦隔鏡検査後 4 日目に遅発性出血を来した一例
 第 97 回日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会, 2015 年 7 月 25 日, 神戸

上田桂子, 尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣
 肺葉内分画症に対する胸腔鏡手術—異常血管の処理について—
 第 33 回近畿胸腔鏡研究会, 2015 年 8 月 22 日, 大阪

尾崎良智, 上田桂子, 大内政嗣, 井上修平
 非結核性抗酸菌症に対する外科治療
 第 32 回東近江総合医療センター臨床談話会, 2015 年 8 月 27 日, 八日市

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 上田桂子
 若年者自然気胸に対する胸腔鏡下手術後の急性ジストニア発症の検討
 第 51 回近畿呼吸器疾患研究会, 2015 年 8 月 27 日, 京都

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 上田桂子
 術後 7 年目に縦隔内再発をきたした肋骨原発骨膜性軟骨腫の 1 例
 第 198 回近畿外科学会, 2015 年 12 月 5 日, 大阪

上田桂子, 尾崎良智, 北村将司, 井上修平
 胸肺分画症に合併した後縦隔嚢胞摘出術後に食道穿孔をきたした一例
 第 86 回日本呼吸器学会近畿地方会, 第 116 回日本結核病学会近畿地方会, 2015 年 12 月 19 日, 京都

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 上田桂子
 当院における Carboplatin+nab-paclitaxel 併用療法の使用経験
 第 103 回日本肺癌学会関西支部学術集会, 2016 年 2 月 20 日, 大阪

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 上田桂子
 結核性胸膜炎に合併した線維形成型胸膜中皮腫の 1 例
 第 33 回東近江総合医療センター臨床談話会, 2016 年 2 月 25 日, 東近江

上田桂子, 尾崎良智, 大内政嗣, 井上修平
 当院における ALK 陽性肺癌に対する Alectinib の使用経験
 第 26 回滋賀癌化学療法研究会, 2016 年 2 月 27 日, 草津

上田桂子, 尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣
 巨大胸腺嚢胞の 1 切除例
 第 52 回近江呼吸器疾患研究会, 2016 年 3 月 5 日, 京都

【対外活動】

〈講演〉

尾崎良智

肺がん治療について

平成 26 年度第 2 回東近江医療圏 がん診療市民公開講座「がん治療・もっと知ろうがんのこと」, 2015 年 3 月 22 日, 東近江

上田桂子, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣

肺癌の分子標的治療について

東近江医師会平成 27 年 10 月度定例会並びに学術講演会, 2015 年 10 月 22 日, 東近江

井上修平

「医科大学を巻き込んだ市立病院, 国立病院の大再編はなぜ成功したか」

病院再編・統合セミナー～地域医療構想と公立病院改革ガイドライン～, 2015 年 11 月 15 日, 東京

大内政嗣

心肺蘇生の実際

東近江総合医療センター市民公開講座～地域で支える健康～, 2016 年 2 月 27 日, 東近江

尾崎良智

「たばこと肺がん」

平成 27 年度滋賀医科大学地域医療教育研究拠点市民公開講座, 2016 年 3 月 19 日, 大津

【対外活動：挨拶文その他】

井上修平

「私のコーヒーブレイク」→「呼吸器外科医になってあつという間の 33 年目」

滋賀県医師会報 9 月号 67 (9) ; 29-30, 2015 年 9 月 20 日

井上修平

結核 日本は「中まん延国」

中日新聞(滋賀)朝刊「お元気ですか」欄 ; 13, 2015 年 9 月 23 日

井上修平

2016 年新年挨拶～次の目標も外来・管理棟の建て替えとソフト面の充実～

独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター院内報 大風 (129) ; 1-2, 2016 年 1 月 1 日

井上修平

発想の転換!

東近江医師会報 11 ; 18-19, 2016 年 1 月 23 日

井上修平

2016 年新年挨拶—東近江総合医療センターの状況

独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター広報誌 つながり 21 ; 1-2, 2016 年 1 月 31 日

医療法人社団 日野記念病院 外科

【学会発表】

〈全国学会〉

東田宏明

食道胃接合部に発生した胃内分泌癌の 1 例

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月, 大阪

特定医療法人生長会 ベルランド総合病院 外科

【論文】

〈和文学術論文〉

前平博充（滋賀医科大学 外科学講座），園田寛道，塩見尚礼，清水智治，仲成幸，九嶋亮治，谷真至
胆管狭窄をきたした後腹膜原発脱分化型脂肪肉腫の1例

日本臨床外科学会雑誌 76 (4)；868-872, 2015年4月

川崎誠康，奥村哲，革島洋志，豊田翔，山本堪介，伊藤文，水村直人，前平博充，今川敦夫，小川雅生，亀山雅男
高齢者大腸癌治療の社会的背景を含めた臨床的検討

日本臨床外科学会雑誌 77 (1)；8-16, 2016年1月

【学会発表】

〈全国学会〉

川崎誠康，豊田翔，今川敦夫，小川雅生

他科とのコラボレーション 婦人科，泌尿器科，耳鼻科，形成外科，消化器外科 当院における複数科 collaboration
手術体制構築の現状

第40回日本外科系連合学術集会，2015年6月，東京

前平博充（滋賀医科大学 外科学講座），塩見尚礼，生田大二，村上耕一郎，赤堀浩也，森毅，園田寛道，清水智治，
久保田良浩，村田聡，山本寛，梅田朋子，目片英治，仲成幸，谷真至

Alonso-Lej II型先天性胆道拡張症と膵胆管合流異常を合併した良性胆管狭窄の1例

第40回日本外科系連合学会学術集会，2015年6月，東京

前平博充（滋賀医科大学 外科学講座），塩見尚礼，村上耕一郎，赤堀浩也，仲成幸，谷真至

当科における膵癌の膵床部・腹膜再発危険因子の検討

第27回日本肝胆膵外科学会学術集会，2015年6月，東京

Maehira H (Shiga University of Medical Science, Department of surgery), Shiomi H, Murakami K, Akabori H,
Sonoda H, Shimizu T, Murata S, Yamamoto H, Naka S, Tani M

Experience of FOLFIRINOX for Unresectable and Recurrent Pancreatic Ductal

Adenocarcinoma in our department

第70回日本消化器外科学会総会，2015年7月，浜松

川崎誠康，奥村哲，今川敦夫，小川雅生

高齢者大腸癌治療の臨床的検討

JDDW2015, 2015年10月，東京

前平博充，川崎誠康，小川雅生，大場一輝，今川敦夫，伊藤文，水村直人，革島洋志，豊田翔，山本堪介，奥村哲，
亀山雅男

巨大骨盤内腫瘍の由来診断で血管構築3D-CTが有用であった1例

第77回日本臨床外科学会，2015年10月，福岡

川崎誠康，奥村哲，革島洋志，豊田翔，山本勘介，水村直人，前平博充，今川敦夫，小川雅生，大場一輝，
亀山雅男

ヘルニア門先行アプローチによる腹腔鏡下腹壁ヘルニア修復術

第77回日本臨床外科学会総会，2015年11月，福岡

川崎誠康，奥村哲，革島洋志，豊田翔，今川敦夫，小川雅生，亀山雅男

腸骨動脈周囲リンパ節転移を認めた結腸癌の2例

第70回日本大腸肛門病学会学術集会，2015年11月，名古屋

特定医療法人生長会 ベルランド総合病院 乳腺センター

【論文】

〈英文学術論文〉

Abe H, Yamazaki K, Mori T, Kawai Y, Kubota Y, Umeda T, Ishida M, Tani T.
Umbilical metastasis derived from breast cancer:report of a case
SURGERY TODAY 45 (7); 907-910, 2015

〈和文学術論文〉

阿部 元
タキサン系乳癌化学療法の末梢神経障害に対する牛車腎気丸の予防効果
Science of Kampo Medicine
漢方医学 39 (1) ; 8-11, 2015

阿部 元, 山崎圭一, 米田光里, 小川雅生, 川崎誠康, 米田玄一郎, 吉村道子, 亀山雅男
Pertuzumab を用いた術前化学療法によって pCR が得られた HER2 陽性乳癌の 1 例
癌と化学療法 42 : 485-488, 2015

渡邊裕之, 星 育子, 中井由佳, 山崎圭一, 阿部 元
乳癌の術前毎週パクリタキセル投与中に光線過敏症が疑われた 1 例
癌と化学療法 42 (8) ; 981-984

【学会発表】

〈国際学会〉

Abe H, Yamazaki K, Yoneda K, Teramoto A, Ogawa M, Kawasaki M, Kameyama M.
A comparison with indocyanine green fluorescence imaging method and computed tomography-lymphography in
sentinel lymph node identification for early breast cancer patients.
2015 ASCO Annual Meeting, 2015 年 5 月, 米国シカゴ

Abe H, Yamasaki K, Keramoto A, Yoneda K, Ogawa M, Kawasaki M, Kameyama M.
A comparison of significance with indocyanine green fluorescence imaging method and computed tomography-
lymphography in sentinel lymph node identification for early breast cancer patients.
サンアントニオ乳癌シンポジウム 2015, 2015 年 12 月, 米国サンアントニオ

〈全国学会〉

阿部 元, 山崎圭一, 米田光里, 寺本敦子, 川崎誠康, 小川雅生, 米田玄一郎, 吉村道子, 亀山雅男
Intratatumoral heterogeneity の検討—術前針生検・手術標本での比較—
第 23 回日本乳癌学会学術総会, 2015 年 7 月, 東京

山崎圭一, 阿部 元
乳癌治療医でありかつ緩和医療専門医である者が行う乳癌治療における緩和ケアについて
第 23 回日本乳癌学会学術総会, 2015 年 7 月, 東京

松並展輝, 阿部 元, 鶴谷 純司, 岩朝 勤, 森島宏隆, 小田直文, 玉川孝治, 谷島裕之, 神垣俊二, 山村 順, 稲治英生,
西 敏夫, 中野芳明, 荻野信夫, 山崎圭一, 菰池佳史, 手塚健志, 新田敏勝, 平井昭彦, 中川和彦, 阿部 元, 江藤美和子,
鶴谷純司, 岩朝 勤, 森島宏隆, 小田直文, 玉川孝治
進行再発乳癌に対する早期レジメンとしての Eribulin の有効性・安全性の検討 (SONG-BC01)
第 23 回日本乳癌学会学術総会, 2015 年 7 月, 東京

寺本敦子, 山崎圭一, 米田光里, 阿部 元, 山内奈都美, 名越由佳, 鄭 聡柄, 坂井靖夫
乳房再建術後に同側乳房内再発をきたした 2 例
第 3 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会, 2015 年 9 月, 札幌

山崎圭一, 阿部 元, 江藤美和子
 混合性疼痛を有する骨転移痛に対するタベンタドールの5症例について
 第53回日本癌治療学会, 2015年10月, 京都

〈地方会 / 研究会〉

寺本敦子, 山崎圭一, 米田光里, 阿部 元, 山内奈都美, 名越由佳, 鄭 聡柄, 坂井靖夫
 乳房再建術後に同側乳房内再発をきたした2例
 第70回京滋乳癌研究会, 2015年9月, 京都

寺本敦子, 堀内敏孝, 山崎圭一, 長畑敏弘, 阿部 元
 乳癌術後の急性期疼痛に対する傍脊椎および前胸壁ブロックの有効性の検討
 第13回日本乳癌学会近畿地方会, 2015年11月, 大阪

高橋陽子, 阿部 元
 炎症性乳癌術後上肢リンパ浮腫に対しモビダームを使用し浮腫が改善した症例
 第13回日本乳癌学会近畿地方会, 2015年11月, 大阪

〈対外活動〉

阿部 元
 中外製薬社内研修会講師, 2016年1月, 中外製薬堺オフィス

阿部 元
 乳がん 正しい知識を持ちましょう
 第22回健康塾, 2015年12月, ベルランド総合病院

みずき皮膚科クリニック

【論文】

〈著書〉

榎堀みき子
 難治性肝斑の治療戦略
 PEPARS No.110 シミ・肝斑治療マニュアル 全日本病院出版社; 79-88, 2016

独立行政法人国立病院機構 南京都病院 呼吸器外科

【論文】

〈和文学術論文〉

片岡瑛子, 岡本圭伍, 大塩麻友美, 元石 充, 花岡 淳, 澤井 聡
 広範な壊死を認めた胸腺腫の1例
 日本呼吸器外科学会雑誌 29 (5), 2015年7月

【学会発表】

〈全国学会〉

片岡瑛子, 大塩麻友美, 堀本かんな, 白鳥琢也, 林 一喜, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 寺本晃治, 手塚則明,
 花岡 淳, 澤井 聡
 中葉低形成に発生したカルチノイドの1例
 第32回日本呼吸器外科学会学術集会, 2015年5月, 香川

元石 充, 岡本圭伍, 賀来良輔, 澤井 聡, 大塩麻友美
 肺および胸腺カルチノイドを合併した多発性内分泌腫瘍症1型の1例
 第32回日本呼吸器外科学会学術集会, 2015年5月, 香川

大塩麻友美, 朝倉庄志

当科における胸腔鏡下自然気胸手術時の polyglycolic acid (PGA) シートによる胸膜被覆法
第 19 回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2015 年 9 月, 東京

【対外活動】

〈講演〉

朝倉庄志

胸膜疾患に対する胸腔鏡による診断と治療—画像所見を中心にして—

第 8 回宇治久世・綴喜・相楽呼吸器ネット, 2015 年 7 月 4 日, 京田辺市

特定医療法人社団御上会 **野洲病院**

【論文】

〈和文学術論文〉

生田大二, 前平博充, 塩見尚礼, 赤堀浩也, 仲成幸, 谷真至

腹腔鏡下胆嚢摘出術後に発症した感染性胆嚢胞の 1 例

日本臨床外科学会雑誌 77 (1) : 148-153, 2016

【学会発表】

〈全国学会〉

生田大二, 太田裕之, 北村直美, 園田寛道, 清水智治, 谷真至

Pagetoid spread を伴った肛門管癌の 2 例

日本大腸肛門病学会学術集会, 2015 年 11 月, 名古屋

生田大二, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 貝田佐知子, 山口剛, 村上耕一郎, 赤堀治也, 塩見尚礼,

村田聡, 山本寛, 仲成幸, 谷真至

直腸 MP 癌術後の側方リンパ節転移再発に対し腹腔鏡下側方郭清を施行した 1 例

日本内視鏡外科学会総会, 2015 年 12 月, 大阪

〈地方会〉

生田大二, 西村彰一, 若林正人, 渡邊信介

腸重積を契機に発見された盲腸癌の 1 例

第 197 回近畿外科学会, 2015 年 5 月, 京都市

生田大二, 西村彰一, 渡邊信介

上腰ヘルニアの 1 例

第 15 回滋賀ヘルニア研究会, 2015 年 6 月, 大津市

生田大二, 西村彰一, 若林正人, 渡邊信介

待機的虫垂切除における虫垂嚢胞性病変の検討

第 20 回琵琶湖消化器外科懇話会, 2015 年 11 月, 草津市

〈対外活動〉

西村彰一

一般演題 小腸①

第 197 回近畿外科学会 (座長), 2015 年 5 月, 京都市

医療法人社団緑成会 横浜総合病院 ハートセンター 心臓血管外科

【論文】

〈学術論文〉

東田隆治

重症虚血肢の治療におけるマゴットセラピー
形成外科 58 (8) ; 863-9, 2015

菊池恭太, 東田隆治, 牧野洋二郎, 李家中豪

神経性足病変に対する予防的手術

日本下肢救済・足病学会誌 8 (1) ; 60-6, 2016

【学会発表】

〈全国学会〉

阿部翔悟, 武田直人, 飛田昌寛, 田中さわ, 久保雅昭, 菊池恭太, 東田隆治

糖尿病を有する再発を繰り返す下肢慢性創傷患者の前頭葉機能について

第7回日本下肢救済・足病学会, 2015年7月11日, 横浜

菊池恭太, 東田隆治

創傷治療における超音波ガイド下神経ブロック

第7回日本下肢救済・足病学会, 2015年7月12日, 横浜

東田隆治, 中山晴雄, 菊池恭太

重症下肢虚血に対する脊髄刺激療法の経験

第7回日本下肢救済・足病学会, 2015年7月12日, 横浜

〈地方会・研究会〉

吉井 準, 武田直人, 菊池恭太, 東田隆治

既往に左片麻痺を有する右第1中足骨切断患者の介入方法の検討

第12回ミレニア創傷ケア研究会, 2015年11月14日, 横浜

東田隆治

糖尿病・透析患者の創傷ケア～血管外科医の立場から～

第12回ミレニア創傷ケア研究会, 2015年11月14日, 横浜

兼村禎大, 大井正也, 東田隆治, 石川 昇

左冠動脈主幹部解離を伴う急性大動脈解離の1救命例

第170回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 2016年3月12日, 横浜

【対外活動】

〈講演〉

東田隆治

足の解剖と機能

横浜・川崎創傷セミナー～糖尿病足病変の創傷ケアと Off-Loading ～

東田隆治

在宅で傷をみるには

横浜総合病院看護師研修会

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

■ 役 員

■ 定 款

■ 賛助会員

■ 広告掲載ご協力

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会役員・委員

〔理事長〕 小 玉 正 智

〔副理事長〕 加 藤 弘 文

〔理事〕 谷 徹 浅 井 徹
 谷 眞 至
 花 澤 一 芳 (会計・総務) 平 野 正 満 (会計・総務)
 来 見 良 誠 (教育・学術) 井 上 修 平 (教育・学術)
 遠 藤 善 裕 (広報) 白 石 昭 一 郎 (広報)

〔監事〕 寺 田 信 國 山 本 明

〔代議員〕 阿 部 元 池 添 清 彦 井 上 修 平
 梅 田 朋 子 江 口 豊 遠 藤 善 裕
 岡 藤 太 郎 来 見 良 誠 清 水 智 治
 手 塚 則 明 寺 田 信 國 内 藤 弘 之
 仲 成 幸 花 澤 一 芳 平 野 正 満
 水 黒 知 行 村 田 聡 目 片 英 治
 山 本 寛

〔学内委員〕 河 合 由 紀 (企画 (教育・学術))
 清 水 智 治 (事務局)
 鈴 木 友 彰 (選挙管理委員)
 手 塚 則 明 (会計・総務、選挙管理委員)
 仲 成 幸 (広報)
 乃 田 浩 光 (広報)
 花 岡 淳 (事務局、企画 (教育・学術))
 村 田 聡 (企画 (教育・学術))
 目 片 英 治 (選挙管理委員)
 山 口 剛 (広報)
 山 本 寛 (会計・総務)

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会定款

第1章 総則

(名称)

第1条 当法人は、一般社団法人滋賀医科大学外科同門会と称する。

(主たる事務所の所在地)

第2条 当法人は、主たる事務所を滋賀県大津市に置く。

2. この法人は、理事会の決議により前項のほか、従たる事務所を必要な場所に置くことができる。

(目的)

第3条 当法人は、外科に関する学術の研鑽、普及及び滋賀医科大学外科学講座の発展と向上及び地域における外科医療の充実を目的とする。

(事業)

第4条 当法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学術振興及び研究援助
- (2) 滋賀医科大学外科学講座の拡充と設備の強化及びその助成
- (3) 外科を志す人材勧誘活動とその支援
- (4) 関連病院及び地域医療機関との連携強化
- (5) 会員相互の親睦をはかるための行事
- (6) その他この法人の目的達成に必要と認められる事業

(公告方法)

第5条 当法人の公告方法は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

(機関)

第6条 当法人の機関として、社員総会及び理事以外に理事会及び監事を置く。

第2章 会員及び社員

(会員の資格及び社員)

第7条 当法人の会員は、次の3種とし、当法人の目的に賛同するものは、当法人の会員になることができる。

- (1) 正会員 滋賀医科大学外科学講座の過去または現在の在籍者、および希望者
- (2) 特別会員 滋賀医科大学外科学講座の非常勤講師、あるいはこれに準じるもの
- (3) 賛助会員 法人の事業を賛助する団体及び個人

2. 当法人に第3章の規定に基づき正会員の中から選出された代議員を置き、代議員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。

(正会員の権利)

第8条 正会員は、第3章に定める代議員選挙の選挙権及び被選挙権を等しく有するほか、法人法に規定された次に掲げる権利を代議員（社員）と同様に当法人に対して行使することができる。

- (1) 法人法第14条第2項に定める権利（定款の閲覧等）
- (2) 法人法第32条第2項に定める権利（社員名簿の閲覧等）
- (3) 法人法第50条第6項に定める権利（社員の代理権証明書等の閲覧等）
- (4) 法人法第52条第5項に定める権利（電磁的方法による議決権行使記録の閲覧等）
- (5) 法人法第57条第4項に定める権利（社員総会の議事録の閲覧等）
- (6) 法人法第129条第3項に定める権利（計算書類等の閲覧等）
- (7) 法人法第229条第2項に定める権利（清算法人の貸借対照表の閲覧等）
- (8) 法人法第246条第3項、第250条第3項及び第256条第3項に定める権利（合併契約等の閲覧等）

(入会)

第9条 当法人の会員となるには、当法人所定の入会申込書により入会の申し込みをし、理事会の承認を得なければならない。

(入会金及び会費)

第10条 会員は、当法人の目的を達成するため、それに必要な経費を支払う義務を負う。

2. 会員は、社員総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(会員名簿)

第11条 当法人は、会員の氏名又は名称及び住所を記載した会員名簿（この名簿は、法人法上の「社員名簿」を兼ねるものとする。）を作成し、当法人の主たる事務所に据え置くものとする。

(会員の資格喪失)

第12条 会員は、次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退会したとき
- (2) 成年被後見人又は被補佐人になったとき
- (3) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は解散したとき
- (4) 正当な理由無く3年以上会費を滞納し、催告を受けてもそれに応じず、納入しないとき
- (5) 除名されたとき

(退会)

第13条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第14条 当法人の会員が、当法人の名誉を棄損し、若しくは当法人の目的に反する行為をしたとき、又は社員としての義務に違反したときは、法人法第49条第2項に定める社員総会の特別決議により除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

(提出金品の不返還)

第15条 既納の入会金、会費及びその他の提出金品は、返還しない。

第3章 代議員

(代議員)

第16条 当法人に代議員を置き、概ね正会員数の7%の割合で選出された代議員をもって、法人法上の社員とする（端数の取扱いについては理事会で定める。）。

2. 代議員は、第12条に掲げる事由により退会した場合は、法人法上の社員としての地位を喪失し、退社するものとする。

(代議員の選出)

第17条 代議員は、正会員による代議員選挙により選出する。代議員の選挙を行うために必要な細則は理事会において定める。

2. 正会員は、他の正会員と等しく代議員選挙に立候補し又は代議員を選挙する権利を有する。理事及び理事会は、代議員を選出することはできない。

(任期)

第18条 代議員の任期は、選出後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会（定時代議員総会）の終結の時までとする。

ただし、任期満了後においても後任者が選出されるまではその職務を行わなければならない。

2. 任期満了前に退任した代議員の補欠として選出された者の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。
3. 増員により選出された代議員の任期は、他の代議員の任期の残存期間と同一とする。

(補欠代議員の予選)

第19条 代議員が欠けた場合又は代議員の員数を欠くこととなるときに備えてあらかじめ補欠の代議員を選出することができる。この場合の代議員の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

2. 補欠の代議員を予選する場合には、次に掲げる事項も併せて決定しなければならない。

- (1) 当該候補者が補欠の代議員である旨
- (2) 当該候補者を1人又は2人以上の特定の代議員の補欠の代議員として選出するときは、その旨及び当該特定の代議員の氏名
- (3) 同一の代議員(2人以上の代議員の補欠として選出した場合にあっては、当該2人以上の代議員)につき2人以上の補欠の代議員を選出するときは、当該補欠の代議員相互間の優先順位

3. 第1項の補欠代議員の予選に係る決議が効力を有する期間は、当該決議後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会(定時代議員総会)の終結の時までとする。

第4章 社員総会

(招集等)

第20条 社員総会は、第3章の代議員をもって組織する。

2. 前項の社員総会をもって法人法上の社員総会とする。

3. 当法人の社員総会は、定時社員総会と臨時社員総会とし、定時社員総会は毎事業年度終了後2ヶ月以内に、臨時社員総会は必要がある場合に臨時開催する。

4. 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事長が招集する。

5. 総社員の5分の1の議決権を有する社員は、理事長に対し、社員総会の目的である事項及び招集の理由を示して社員総会の招集を請求することができる。

6. 社員総会の議長は、理事長がこの任に当たる。ただし、理事長に事故若しくは支障があるときは副理事長がこれに代わる。

7. 社員総会の招集は、法令に別段の定めがある場合を除き、開催日の1週間前までに、その会議の日時、場所、及び目的である事項を記載した書面又は電磁的方法によって通知しなければならない。

(権限)

第21条 社員総会は、当法人の最高議決機関として、次の事項について決議する。

- (1) 事業報告
- (2) 役員を選任又は解任
- (3) 定款の変更
- (4) 役員報酬等の額及び規定
- (5) 法人法第113条に規定する役員の一部免除
- (6) 会員の除名
- (7) 解散及び残余財産の処分
- (8) 理事会において社員総会に付議した事項
- (9) その他重要な事項

(議決権)

第22条 社員総会における議決権は、社員1人につき1個とする。

(定足数及び決議の方法)

第23条 社員総会は、総社員の過半数の出席がなければ開催することができない。

2. 社員総会の決議は、法令又はこの定款に定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。

3. 前項に規定にかかわらず、次の決議は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 役員等の責任の一部免除
- (4) 定款の変更
- (5) 解散
- (6) その他法令で定められた事項

(書面表決等)

第24条 やむを得ない理由のために社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって又は電磁的方法により表決し、若しくは他の会員を代理人として委任することができる。

2. 前項の場合における前条の規定については、その社員は出席したものとみなす。

3. 理事又は社員が社員総会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

(社員総会議事録)

第25条 社員総会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、社員総会の日から10年間主たる事務所に据え置く。

2. 議長は、前項に議事録に記名押印する。

第5章 役員等

(役員設置等)

第26条 当法人に次の役員を置く。理事3名以上15名以内 監事2名以内

2. 理事のうち1名を代表理事とする。

3. 代表理事を理事長とし、理事のうち1名を副理事長、2名以内を常任理事、1名を事務局長とすることができる。

(事務局及び職員)

第27条 当法人に、事務を処理するため事務局を設け、事務局長及び必要な職員を置く。

2. 事務局長は、理事会の議決を経て理事長が委嘱し、職員は理事長が任免する。

3. 事務局の組織及び運営に関する必要な事項は、理事会の議決を経て理事長が別に定める。

(選任等)

第28条 理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する。

2. 理事長、副理事長、常任理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務権限)

第29条 理事長は、当法人を代表し、その業務を執行する。

2. 副理事長は理事長を補佐し、常任理事は、当法人の業務を分担執行する。

3. 事務局長は当法人の事務を執行する。

4. 理事長、常任理事及び事務局長は、毎事業年度毎に4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務権限)

第30条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2. 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、当法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(任期)

第31条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2. 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会終結の時までとし、再任を妨げない。

3. 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4. 役員は、辞任又は任期の満了後において、定員を欠くに至った場合には、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行う権利義務を有する。

(解任)

第32条 役員は、社員総会の決議によって解任することができる。ただし、監事を解任する場合は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(報酬)

第33条 役員は、無報酬とする。

2. 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。

3. 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(取引の制限)

第34条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、理事会において、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

(1) 自己又は第三者のためにする当法人の事業の部類に属する取引

(2) 自己又は第三者のためにする当法人との取引

(3) 当法人がその理事の債務を保証することその他理事以外の者との間における当法人とその理事との利益が相反する取引

(責任の一部免除又は限定)

第35条 理事または監事は一般法人法第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として免除することができる。

第6章 理事会

(構成)

第36条 当法人に理事会を置く。

2. 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第37条 理事会は、次の職務を行う。

(1) 当法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長、副理事長、専務理事及び常任理事の選定及び解職

(招集)

第38条 理事会は、理事長が招集する。

2. 理事長が欠けた時又は理事長に事故あるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第39条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長が欠けた時又は理事長に事故あるときは、理事長があらかじめ理事会の決議を経て定めた順位により他の理事がこれに代わるものとする。

(決議)

第40条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(理事会の決議の省略)

第41条 理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案に異議を述べた場合を除く。）は、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

(理事会議事録)

第42条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成する。

2. 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名又は記名押印し、10年間当法人の主たる事務所に据え置くものとする。

(理事会規則)

第43条 理事会に関する事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、理事会において定める理事会規則による。

第7章 決算

(事業年度)

第44条 当法人の事業年度は、毎年1月1日から12月31日までの年1期とする。

(事業計画及び収支予算)

第45条 当法人の事業計画及び収支予算については、毎事業年度開始日の前日までに理事長が作成し、理事会の決議を経て社員総会の承認（理事会の承認）を受けなければならない。

2. 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、社員総会の決議に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入を得又は支出することができる。

3. 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第46条 当法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経て定時社員総会に提出し、第1号、第2号についてはその内容を報告し第3号から第5号の書類については承認を受けなければならない。

(1) 事業報告書

(2) 事業報告書の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 損益計算書（正味財産増減計算書）

(5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書

2. 第1項の書類のほか、監査報告の書類を主たる事務所に5年間据え置くとともに、定款及び会員名簿を主たる事務所に据え置くものとする。

(剰余金の処分制限)

第47条 この法人は、会員その他の者に対し、剰余金の分配をすることができない。

(剰余財産の帰属)

第48条 清算をする場合において、この法人の剰余財産は、類似の事業を目的とする公益社団法人又は公益財団法人に帰属させるものとする。

2. 前項に規定する他の公益社団法人又は公益財団法人は、第17条に規定する社員総会の決議により定めるものとする。

一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 賛助会員一覧

赤穂市民病院
一般財団法人真和会 京都大橋総合病院
医療法人医仁会 武田総合病院
医療法人恭昭会 彦根中央病院
医療法人弘英会 琵琶湖大橋病院
医療法人弘正会 西京都病院
医療法人社団浅ノ川 心臓血管センター 金沢循環器病院
医療法人社団昂会 日野記念病院
医療法人社団昂会 湖東記念病院
医療法人社団美松会 生田病院
医療法人社団洛和会 音羽病院
医療法人仁生会 甲南病院
医療法人総心会 長岡京病院
医療法人東和会グループ 第一東和会病院
医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院
医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院
医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院
医療法人芙蓉会 南草津病院
医療法人 マキノ病院
医療法人友仁会 友仁山崎病院
医療法人よつば会 くろづ外科医院
近江八幡市立総合医療センター
大阪医科大学三島南病院
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院
公益財団法人 豊郷病院
公益社団法人地域医療振興協会 市立奈良病院
公立甲賀病院
国民健康保険 小松市民病院
社会医療法人畿内会 岡波総合病院
社会医療法人誠光会 草津総合病院
社会医療法人信愛会 暁生会脳神経外科病院
社会医療法人生長会 ベルランド総合病院
社会医療法人天神会 古賀病院 21
社会医療法人天神会 新古賀病院
特定医療法人社団御上会 野洲病院
独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター
独立行政法人国立病院機構 南京都病院
独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院
長浜市立湖北病院
日本赤十字社 長浜赤十字病院
三菱京都病院
守山市民病院

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会の活動に、ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございました。
会員相互の親睦活動に加え、外科に関する学術の研鑽、若手外科医の育成、及び地域の外科医療の発展になお一層尽力する活動を行っていく所存でございます。

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 広告掲載ご協力

泉工医科工業株式会社
日本ライフライン株式会社
アストラゼネカ株式会社
エドワーズライフサイエンス株式会社
センチュリーメディカル株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 エチコン事業部
株式会社大塚製薬工場
MSD 株式会社
石黒メディカルシステム株式会社
日本イーライリリー株式会社
武田薬品工業株式会社
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
セント・ジュード・メディカル株式会社
アステラス製薬株式会社
大鵬薬品工業株式会社
小野薬品工業株式会社
株式会社ツムラ
ファイザー株式会社
コヴィディエンジャパン株式会社
ケーシーアイ株式会社
一般社団法人 日本血液製剤機構
中外製薬株式会社
株式会社ジェイ・エム・エス
大日本住友製薬株式会社

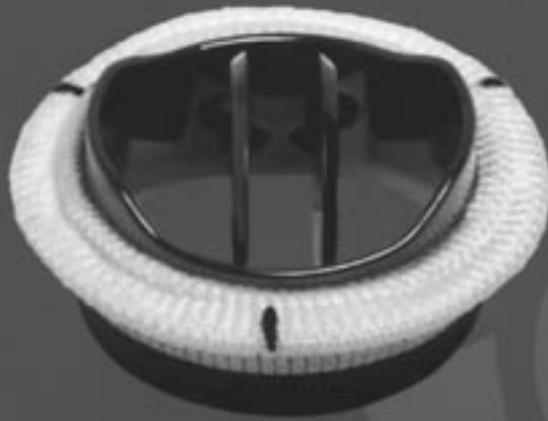
(申し込み順)

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会同門会誌発行にあたり、多くの皆様からご協力をいただきました。
ここに深く御礼申し上げます。

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

Designed for life

Technical dilemma:
an uneven
calcified annulus



On-X® Conform-X
Aortic Heart valve

A new solution:

On-X® Prosthetic Heart Valve
with Conform-X sewing ring



フレキシブルでフィット性の高いPTFE製縫合輪

ON-X 機械式人工心臓弁

Conform-X Aortic Heart Valve

販売代理

MERA 泉工医科工業株式会社

■問い合わせ先: 本社営業本部 (ON-Xプロジェクト) : TEL.03-3815-4009 FAX.03-3812-4899

■営業拠点: 札幌支店・東北支店・青森・盛岡・福島・関東支店・つくば・松本・新潟・東京支店・横浜・中部支店・静岡・金沢・関西支店・中国支店・岡山・高松・九州支店・鹿児島

■常に研究・改良に努めておりますので、仕様の一部を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。●届出番号 222008200014000 www.mera.co.jp/

法人製造販売業者 **泉工医科貿易株式会社** 〒113-0034 東京都文京区湯島3-20-12

外国特許承認取得者

ON-X Life Technologies, Inc.
オンエックス ライフ テクノロジーズ (アメリカ)

SOLO SMART



The smart way to return to life

ステントレス生体弁 **SOLO SMART** はフィジオロジカルな弁運動の再現による
「優れた血行動態」を目指します。

■ SOLO SMART によるAVRの更なる可能性

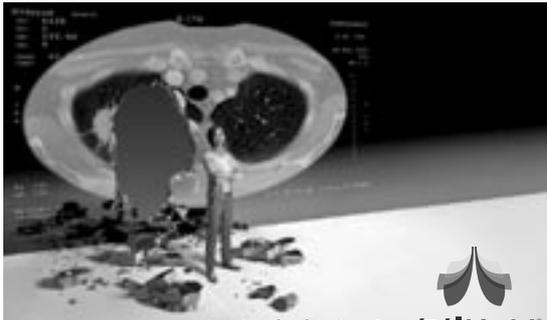
- ✓ PPMを回避したい症例
- ✓ 僧帽弁形成術や僧帽弁置換術を要する場合

販売名：Soloステントレス生体弁
一般的名称：ウシ心のう膜弁
医療機器承認番号：22700BZ100031000

選任製造販売業者
日本ライフライン株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番20号 天王洲郵船ビル CVS事業部 TEL.03-6711-5233
<http://www.jll.co.jp>

JLL Japan Lifeline



限界を超える。タグリッソ®

AstraZeneca

使用上の注意 (抜粋)

- 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
 - 間質性肺疾患のある患者又はその既往歴のある患者[間質性肺疾患が増悪し、死亡に至る可能性がある。](用法・用量に関連する使用上の注意)、「重要な基本的注意」及び「重大な副作用」の項参照)
 - 中等度又は重度の肝機能障害のある患者[血漿中濃度が上昇するおそれがある。]
 - QT間隔延長のおそれ又はその既往歴のある患者[QT間隔延長が起こるおそれがある。](用法・用量に関連する使用上の注意)、「重要な基本的注意」及び「重大な副作用」の項参照)
- 重要な基本的注意
 - 間質性肺疾患があらわれることがあり、特に本剤投与開始12週間以内の発現が多いことが報告されている。初期症状(呼吸困難、咳嗽、発熱等)の確認及び定期的な胸部画像検査の実施等、観察を十分に行うこと。必要に応じて、動脈血酸素分圧(PaO₂)、動脈血酸素飽和度(SpO₂)、肺動脈血酸素分圧較差(A-aDO₂)、肺拡散能力(DLco)等の検査を行うこと。また、患者に対して、初期症状があらわれた場合には、速やかに医療機関を受診するよう指導すること。(用法・用量に関連する使用上の注意)、「慎重投与」及び「重大な副作用」の項参照)
 - QT間隔延長があらわれることがあるので、本剤投与開始前及び投与中は定期的に心電図検査及び電解質検査(カリウム、マグネシウム、カルシウム)を行い、患者の状態を十分に観察すること。また、必要に応じて電解質補正を行うこと。(用法・用量に関連する使用上の注意)、「慎重投与」及び「重大な副作用」の項参照)
 - 血小板減少、好中球減少、白血球減少、貧血があらわれることがあるので、本剤投与開始前及び投与中は定期的に血液検査(血液数算定、白血球分画等)を行い、患者の状態を十分に観察すること。(「重大な副作用」の項参照)
 - ALT(GPT)、AST(GOT)、ビリルビン等の上昇を伴う肝機能障害があらわれることがあるので、本剤投与開始前及び投与中は定期的に肝機能検査を行い、患者の状態を十分に観察すること。(「重大な副作用」の項参照)
- 相互作用

本剤は主にCYP3Aにより代謝される。また、本剤はBreast Cancer Resistance Protein(BCRP)を阻害することが示されている。

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	
CYP3A誘導剤	フェニトイン、リファンピシン、カルバマゼピン、セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort)等
BCRPの基質となる薬剤	ロズバスタチン、サラゾスルファピリジン等
QT間隔延長を起こすことが知られている薬剤	キニジン、プロカイナムド、オランダセットロン、クラリスロマイシン等

4. 副作用

EGFR T790M変異陽性の非小細胞肺癌患者を対象とした国際共同第I/II相試験(AURA試験)の第II相部分及び国際共同第II相試験(AURA2試験)の併成成績において、安全性評価対象症例411例(日本人80例を含む)中355例(86.4%)に副作用が認められ、主な副作用は、発疹・皮疹等155例(37.7%)、下痢150例(36.5%)、皮膚乾燥・湿疹等117例(28.5%)、爪の障害(爪囲炎を含む)96例(23.4%)等であった。また、日本人集団では80例中75例(93.8%)に副作用が認められ、主な副作用は、発疹・皮疹等45例(56.3%)、爪の障害(爪囲炎を含む)31例(38.8%)、下痢29例(36.3%)、皮膚乾燥・湿疹等24例(30.0%)、間質性肺疾患5例(6.3%)等であった。(承認時)副作用の頻度については、EGFR T790M変異陽性の非小細胞肺癌患者を対象とした国際共同第I/II相試験(AURA試験)の第II相部分及び国際共同第II相試験(AURA2試験)の併成成績に基づき記載した。

(1)重大な副作用

- 間質性肺疾患(2.7%)：間質性肺疾患(間質性肺炎、肺臓炎等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、ステロイド治療等の適切な処置を行うこと。
- QT間隔延長(2.9%)：QT間隔延長があらわれることがあるので、患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には、本剤の休薬、減量又は中止等の適切な処置を行うこと。
- 血小板減少(12.7%)、好中球減少(8.0%)、白血球減少(9.2%)、貧血(5.1%)：血小板減少、好中球減少、白血球減少、貧血があらわれることがあるので、患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には、本剤の休薬、減量又は中止等の適切な処置を行うこと。
- 肝機能障害(7.8%)：ALT(GPT)、AST(GOT)、ビリルビン等の上昇を伴う肝機能障害があらわれることがあるので、患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には、本剤の休薬、減量又は中止等の適切な処置を行うこと。

承認条件

- 医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。
- 国内での治験症例が極めて限られていることから、製造販売後、一定数の症例に係るデータが累積されるまでの間は、全症例を対象に使用成績調査を実施することにより、本剤使用患者の背景情報を把握するとともに、本剤の安全性及び有効性に関するデータを早期に収集し、本剤の適正使用に必要な措置を講じること。
- 本剤の投与が、肺癌の診断、化学療法に精通し、本剤のリスク等についても十分に管理できる医師・医療機関・管理薬剤師のいる薬局のもとでのみ行われるよう、製造販売にあたって必要な措置を講じること。

投薬期間制限医薬品に関する情報

本剤は新医薬品であるため、厚生労働省告示第97号(平成20年3月19日付)に基づき、平成29年5月末日まで、投薬(あるいは投与)は1回14日分を限度とされています。

抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤

タグリッソ®錠40mg・80mg

TAGRISSE® Tablets (オシメルチニブメシル酸塩)

製薬/処方箋医薬品 (注：一部医師の処方箋により使用すること)

新発売

薬価基準収載

【警告】

- 本剤は、緊急時に十分に対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、添付文書を参照して、適切と判断される症例についてのみ投与すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に本剤の有効性及び危険性(特に、間質性肺疾患の初期症状、服用中の注意事項、死亡に至った症例があること等)に関する情報、非小細胞肺癌の治療法等を十分説明し、同意を得てから投与すること。
- 本剤の投与により間質性肺疾患があらわれ、死亡に至った症例が報告されているので、投与期間中にわたり、初期症状(呼吸困難、咳嗽、発熱等)の確認及び定期的な胸部画像検査の実施等、観察を十分に行うこと。異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。また、特に治療初期は入院又はそれに準ずる管理の下で、間質性肺疾患等の重篤な副作用発現に関する観察を十分に行うこと。(用法・用量に関連する使用上の注意)、「慎重投与」及び「重要な基本的注意」、「重大な副作用」の項参照)
- 本剤投与開始前に、胸部CT検査及び問診を実施し、間質性肺疾患の合併又は既往歴がないことを確認した上で、投与の可否を慎重に判断すること。(「慎重投与」の項参照)

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

- 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人(「妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照)

効能・効果

EGFRチロシンキナーゼ阻害薬に抵抗性のEGFR T790M変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌

<効能・効果に関連する使用上の注意>

- 十分な経験を有する病理医又は検査施設における検査により、EGFR T790M変異陽性が確認された患者に投与すること。検査にあたっては、承認された体外診断薬を用いて判定すること。
- 【臨床成績】の項の内容を熟知し、本剤の有効性及び安全性を十分に理解した上で、本剤以外の治療の実施についても慎重に検討し、適応患者の選択を行うこと。
- 本剤の術後補助化学療法における有効性及び安全性は確立していない。

用法・用量

通常、成人にはオシメルチニブとして80mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。

<用法・用量に関連する使用上の注意>

- 他の抗悪性腫瘍剤との併用について、有効性及び安全性は確立していない。
- 副作用がみられた場合は、症状、重症度等に応じて、以下の基準を考慮して、本剤を休薬、減量又は中止すること。本剤を減量する場合には、40mgを1日1回投与すること。

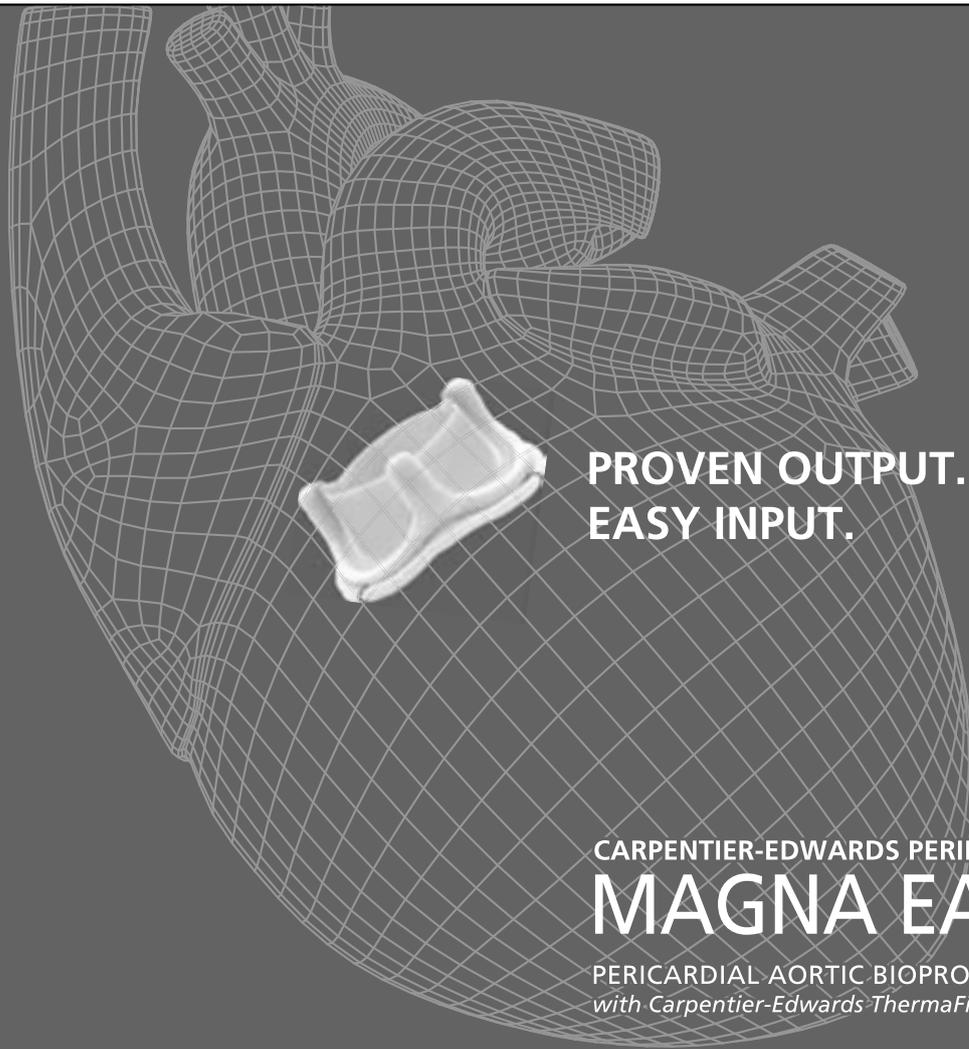
本剤の休薬、減量及び中止基準の目安

副作用	程度	処置
間質性肺疾患/肺臓炎	—	本剤の投与を中止する。
QT間隔延長	500msecを超えるQTc値が認められる	481msec未満又はベースラインに回復するまで本剤を休薬する。481msec未満又はベースラインに回復した後、本剤を減量し、投与を再開する。3週間以内に回復しない場合は本剤の投与を中止すること。
	重篤な不整脈の症状/兆候を伴うQT間隔延長	本剤の投与を中止する。
その他の副作用	Grade 3以上	Grade 2以下に改善するまで本剤を休薬する。Grade 2以下に回復した後、必要に応じて本剤の減量を考慮し、投与を再開する。3週間以内にGrade 2以下に回復しない場合は本剤の投与を中止すること。

GradeはCTCAE(Common Terminology Criteria for Adverse Events) ver. 4.0に基づく。

●その他の使用上の注意等の詳細は添付文書をご参照ください。●警告、禁忌を含む使用上の注意の改訂に十分ご留意ください。 2016年5月改訂(第2版)

製造販売元[資料請求先] アストラゼネカ株式会社 大阪市北区大深町3番1号 ☎0120-189-115(問い合わせフリーダイヤル) メディカルインフォメーションセンター) ☎0120-259-258(タグリッソ医療従事者お問い合わせ窓口)



**PROVEN OUTPUT.
EASY INPUT.**

CARPENTIER-EDWARDS PERIMOUNT
MAGNA EASE
PERICARDIAL AORTIC BIOPROSTHESIS
with Carpentier-Edwards ThermoFix process

Where MAGNA hemodynamics meets EASE of implantation.

PERIMOUNT 生体弁の長期遠隔成績¹と

数多くの論文に著されているMAGNAの優れた血行動態性能。^{2,3}

臨床実績に裏付けられたPERIMOUNT MAGNAのプラットフォームに、

独自のThermoFix石灰化抑制処理と、植え込み易さが加わった牛心のう膜弁。

それが、カーペンターエドワーズ牛心のう膜生体弁MAGNA EASE TFXです。



販売名 : カーペンターエドワーズ
牛心のう膜生体弁
マグナEASE TFX
承認番号 : 22300BZX00320

1 Jessica Forcillo, et al. Carpentier-Edwards Pericardial Valve in the Aortic Position: 25-Years Experience. *Ann Thorac Surg.* 2013;96:486-93

2 Dalmau MJ, et al. The Carpentier-Edwards Perimount Magna aortic xenograft: a new design with an improved hemodynamic performance. *Interact Cardiovasc Thorac Surg.* 2006;5(3):263-7.

3 Botzenhardt F, et al. Hemodynamic performance and incidence of patient-prosthesis mismatch of the complete supraannular perimount magna bioprosthesis in the aortic position. *Thorac Cardiovasc Surg.* 2005;53(4):226-30

製造販売元 エドワーズ ライフサイエンス株式会社

本社 : 東京都新宿区西新宿6丁目10番1号 Tel.03-6894-0500

edwards.com/jp

© 2015 Edwards Lifesciences Corporation. All rights reserved. EW2015077





Formerly known as ATS mechanical heart valve

OPHV

Open Pivot™ Heart Valve

AP360®

リーフレットの稼動に頼らず血流の力で洗浄される、Open Pivot™ヒンジを採用。
従来のAdvanced Performanceシリーズの大きな弁口面積を引き継ぐ、狭小人工弁です。
機械弁に求められる性能を、どの角度(360度)から見ても高い次元(Advanced Performance)で
兼ね備える事から、“AP360”と名づけられました。

【本社】〒141-8588 東京都品川区大崎1-11-2 TEL.03-3491-1551

【大阪支店】TEL.06-6263-3760【札幌営業所】TEL.011-241-3737【仙台営業所】TEL.022-213-0040【大宮営業所】TEL.048-783-2791【名古屋営業所】TEL.052-220-3660【福岡営業所】TEL.092-752-5653

〈販売名〉ATSバイリーフレット人工心臓弁 〈製造販売元〉センチュリーメディカル株式会社 〈外国製造元〉Medtronic, Inc. (米国) 〈医療機器承認番号〉20800BZY00332000



ENSEAL® G2
Articulating



PDS PLUS®
モノフィラメント抗腐蝕合糸
COATED
VICRYL PLUS®
ブレイド抗腐蝕合糸



EES
LINEAR CUTTER



Generator
GEN 11



HARMONIC
FOCUS®
Long Curved
Shears

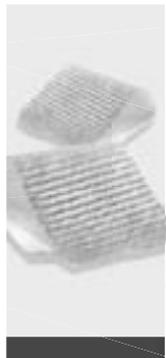


DERMABOND®
ADVANCED
TOPICAL SKIN ADHESIVE

Shaping the future of surgery



ENDOPATH®
XCEL
OPTIMEW®



SURGICEL®
Absorbable Hemostat



Powered
ECHELON FLEX®
GST System



PROXIMATE®
ILS



HARMONIC
ACE®+



blake®
SILICONE DRAINS
J-VAC®
SUCTION RESERVOIR

ETHICON

PART OF THE *Johnson & Johnson* FAMILY OF COMPANIES

製造販売業者：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー 本社 〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号

一般医療機器 販売名：ダーマボンド アドバスタッド 承認番号：13B1X00204ME0008	高度管理医療機器 販売名：マイクロリブ プラス 承認番号：22000BZX01652000	高度管理医療機器 販売名：EESジェネレーター 承認番号：22300BZX00333000	高度管理医療機器 販売名：GSIカートリッジ 承認番号：22700BZX0055000
管理医療機器 販売名：J-VAC トレナージ システム 承認番号：20200BZY00540000	高度管理医療機器 販売名：PDS プラス 承認番号：22300BZX00333000	高度管理医療機器 販売名：EESジネティック ACE プラス 承認番号：22500BZX00195000	高度管理医療機器 販売名：EESジネティック ACE II 承認番号：22500BZX00195000
管理医療機器 販売名：エンダコック トロッキングシステム 承認番号：21900BZX00882000	高度管理医療機器 販売名：プロキシマイト ILS 承認番号：21900BZX00893000	高度管理医療機器 販売名：ハーモニック スカルペル II 承認番号：21900BZY00662000	高度管理医療機器 販売名：ハーモニック FOCUS 承認番号：22000BZX00832000
管理医療機器 販売名：EES リニヤール カッター スタイアラー 承認番号：223AA8ZX00075000	高度管理医療機器 販売名：エンシール G2 ディュシェーロー 承認番号：22500BZX00547000	高度管理医療機器 販売名：ハーモニック ACE II 承認番号：21900BZY00662000	高度管理医療機器 販売名：ハーモニック FOCUS 承認番号：22000BZX00832000
管理医療機器 販売名：エンダコックパワードリナーカッター 承認番号：22500BZX00396000	処方薬 医薬品 販売名：サージセル・アプソルブル・ヘモスタット 承認番号：14700AMV00205000		

ETHD002F02201512 ©J&J, 2015

保険適用

新発売

外皮用殺菌消毒剤(オラネキシジングルコン酸塩液)

オラネジン® 消毒液1.5%

オラネジン® 液1.5%消毒用アプリーケーター 10mL・25mL

Olanedine. Antiseptic Solution 1.5% / Olanedine. Solution 1.5% Antiseptic Applicator 10mL・25mL



◆「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌」、「使用上の注意」及び「取扱い上の注意」については、製品添付文書をご参照ください。



製造販売元
株式会社大塚製薬工場
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115

販売提携
大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

資料請求先
株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンター
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2 (15.09作成)



※外箱のイメージはアジア・パシフィック地域で使用されている外箱であり、日本で発売されるものとは異なります。

■「効能・効果」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については製品添付文書をご参照ください。



製造販売元 (資料請求先)
MSD株式会社
〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア
<http://www.msdd.co.jp/>

2015年2月作成
CAN15AD016-0220

キャンディン系抗真菌剤 薬価基準収載

カンサイダス®

点滴静注用50mg,70mg
注射用カスポファンギン酢酸塩

劇薬 / 処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

医療を支える企業としての使命感を忘れずに
今までもこれからも・・・いつも生命のそばに



<http://www.ishiguro-medical.jp/>



石黒メディカルシステム株式会社

病 院 設 備
医 療 機 器
介 護 用 品
有 料 老 人 ホ ー ム 運 営
病 院 の 開 業 支 援

京 都 本 社 : 〒612-8412 京 都 市 伏 見 区 竹 田 中 川 原 町 381 番 地
TEL 075-641-1496 FAX 075-641-0010
大 阪 支 店 : 〒569-1145 大 阪 府 高 槻 市 富 田 丘 町 9 番 5 号
TEL 072-696-1496 FAX 072-696-1961
東 大 阪 支 店 : 〒577-0012 大 阪 府 東 大 阪 市 長 田 東 3 丁 目 3 番 28 号
TEL 06-6747-1496 FAX 06-6747-1497
滋 賀 支 店 : 〒524-0041 滋 賀 県 守 山 市 藤 部 6 丁 目 4 番 36 号
TEL 077-582-7770 FAX 077-582-7796
京 良 営 業 所 : 〒639-1124 京 良 県 大 和 郡 山 市 馬 町 130 番 地
TEL 0743-23-1496 FAX 0743-23-1497
東 京 営 業 所 : 〒145-0064 東 京 都 大 田 区 上 池 台 1-20-23 グ レ イ ス 長 原 1F
TEL 03-3748-8777 FAX 03-3729-1212



CYRAMZA®
(ramucirumab)

抗悪性腫瘍剤 ヒト型抗VEGFR-2^注モノクローナル抗体
生物由来製品、創薬、処方箋医薬品*

サイラムザ® 点滴静注液 100mg
点滴静注液 500mg

CYRAMZA® Injection ラムシルマブ(遺伝子組換え)注射液

注) VEGFR-2: Vascular Endothelial Growth Factor Receptor-2(血管内皮増殖因子受容体2)

*注意-医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告、禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元(資料請求先)
日本イーライリリー株式会社
〒651-0086 神戸市中央区東上通7丁目1番5号

Lilly Answers リリーアンサーズ
日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口
0120-360-605 (医療関係者向け)
受付時間: 月～金 8:45～17:30

Better Health, Brighter Future



タケダから、世界中の人々へ。より健やかで輝かしい明日を。

一人でも多くの人に、かけがえない人生をより健やかに過ごしてほしい。タケダは、そんな想いのもと、1781年の創業以来、革新的な医薬品の創出を通じて社会とともに歩み続けてきました。

私たちは今、世界のさまざまな国や地域で、予防から治療・治癒にわたる多様な医療ニーズと向き合っています。その一つひとつに応えていくことが、私たちの新たな使命。よりよい医薬品を待ち望んでいる人々に、少しでも早くお届けする。それが、いつまでも変わらない私たちの信念。

世界中の英知を集めて、タケダはこれからも全力で、医療の未来を切り拓いていきます。

www.takeda.co.jp

武田薬品工業株式会社

LET'S WORK
ONCOLOGY FROM BOEHRINGER INGELHEIM



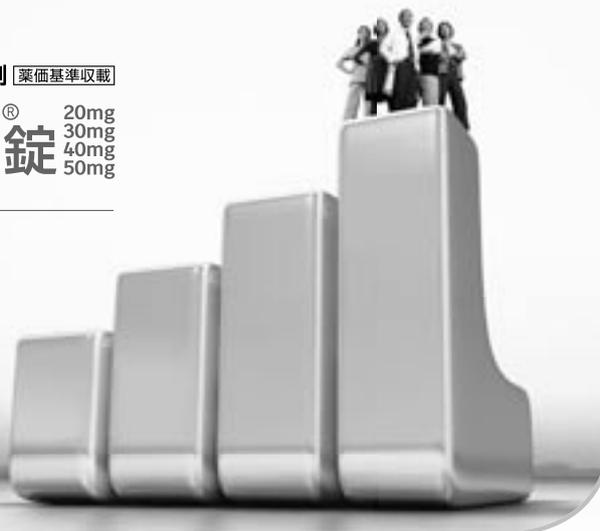
抗悪性腫瘍剤 / チロシンキナーゼ阻害剤 薬価基準収載

シオトリアブ錠 20mg
30mg
40mg
50mg

アフマチニブマレイン酸塩製剤

劇薬、処方箋医薬品（注意・医師等の処方箋により使用すること）

Giotrif® Tablets 20mg・30mg・40mg・50mg



製造販売

日本バーリンガー・インゲルハイム株式会社
〒141-6017 東京都品川区大崎2丁目1番1号
資料請求先：DIセンター

「効能・効果」「用法・用量」「警告・禁忌を含む使用上の注意」「効能・効果に関連する使用上の注意」「用法・用量に関連する使用上の注意」
につきましては製品添付文書をご参照ください。



2016年3月作成



Trifecta™
Valve

WHEN THE GOAL IS EXCEPTIONAL HEMODYNAMICS¹ THE VALVE IS TRIFECTA.

1. St. Jude Medical, Trifecta Valve, Pre-Market Approval Application Summary of Safety and Effectiveness Data, #P30009, 2011. Echo follow-up at one year.

販売名：SJM®-トライフレクタ生体弁
承認番号：22400BEX00074000

製造販売元

セント・ジュード・メディカル株式会社
本社：〒105-2115 東京都港区東新橋一丁目5番2号
お墨付ビルディング
電話：03-6255-6376 FAX: 03-6255-6377

www.sjm.co.jp



注 意：本製品の使用に際しては、添付文書等必ずお読みください。
Unless otherwise noted, ™ indicates that the name is a trademark of, or licensed to, St. Jude Medical or one of its subsidiaries. ST. JUDE MEDICAL and the nine-squares symbol are trademarks and service marks of St. Jude Medical, Inc. and its related companies. © 2013 St. Jude Medical, Inc. All Rights Reserved.
VER.13 DEC.

まだないくすりを
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。

www.astellas.com/jp/

 **astellas**
Leading Light for Life
アステラス製薬

Abraxane®

抗悪性腫瘍剤

【特許商標】

特定生物由来製品、毒薬、処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

アブラキサン® 点滴静注用 100mg

Abraxane® I.V. Infusion 100mg

パクリタキセル注射剤（アルブミン懸濁型）

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告、禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元
資料請求先
(医薬品情報課)



大鵬薬品工業株式会社
〒101-8444 東京都千代田区神田新町1-27
TEL.0120-20-4527 FAX.03-3293-2451
<http://www.taiho.co.jp/>

提携先



2015年2月作成



【薬価基準収載】

抗悪性腫瘍剤/ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体 オプジーボ® 点滴静注 20mg, 100mg

ニボルマブ（遺伝子組換え）製剤
生物由来製品、創薬、処方箋医薬品®
注）本薬—遺伝子組換え—により作成されています。

OPDIVO
(nivolumab)

効能・効果、用法・用量、警告・
禁忌を含む使用上の注意等は
添付文書をご参照ください。

製造販売元（資料請求先）
小野薬品工業株式会社
〒541-8564 大阪市中央区久太郎町1-8-2

プロモーション担当
アリスルマイバース スタッフ株式会社
〒103-1320 東京都港区芝浦6-6-1

2015年4月作成



腹痛、腹部膨満感に

腹が冷えて痛み、
腹部膨満感のあるもの

ダイ ケン チュウ トウ
100 ツムラ大建中湯
エキス顆粒 (医療用) (薬価基準収載)

■効能又は効果、用法及び用量、使用上の注意等は、製品添付文書をご参照下さい。



株式会社 **ツムラ**

<http://www.tsumura.co.jp/>

●資料請求・お問い合わせは弊社MR、またはお客様相談窓口まで。Tel.0120-329-970

(2015年3月制作)



抗悪性腫瘍剤/チロシキナーゼ阻害剤

薬価基準収載

ザークリ® カプセル 200mg
XALKORI® Capsules 250mg
クリゾチニブカプセル

劇薬 処方箋医薬品 注意—医師等の処方箋により使用すること

製造販売(輸入)

ファイザー株式会社

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7

資料請求先：製品情報センター

販売提携

メルクセローノ株式会社

〒153-8926 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー

※「効能・効果」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」等は、製品添付文書をご参照ください。

2016年3月作成



Tri-Staple™ Technology

Endo GIA™ Reinforced Extra Thick

**[The reinforcement is preloaded.
The confidence is built in.]**

エンドGIA™ トライステープル™
リンフォース カートリッジ

販売名: リンフォース トライステープル
医療機器承認番号: 22600BZX00090000

製造販売元 **コヴィディエン ジャパン株式会社**
〒158-8615 東京都世田谷区用賀 4-10-2
TEL (03) 5717-1270 FAX (03) 5717-1279 <http://www.covidien.co.jp>

 **COVIDIEN**
positive results for life™

COVIDIEN、COVIDIEN ロゴマーク及び“positive results for life”はCovidien AGの商標です。
TMを付記した商標はCovidien companyの商標です。
©2014 Covidien.

 **vac therapy**

www.kcij.com



Seal Check™機能の追加
夜間モードの搭載

**約50%
軽量化**

Improved Design
さまざまな創傷治療場面で、
より使いやすく

InfoV.A.C.治療システム
陰圧創傷治療システムに
新しい選択肢が加わりました。



 **KCI**
An Acelity Company

製造販売元 (資料請求先)
ケーシーアイ株式会社
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル 5F

フリーダイヤル
0120-897-706

承認番号: 22700BZX00238000
販売名: InfoV.A.C.治療システム
クラスIII (高度管理医療機器)
保険適用: 特定保険医療材料

 **Acelity™**

効能又は効果、警告、禁忌・禁止を含む使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。本製品に関する情報は、医療従事者を対象にしています。
©2015 KCI Licensing, Inc., All rights reserved. Acelity, the Acelity logo, InfoV.A.C., KCI, the KCI logo, Seal Check, SensaT.R.A.C., V.A.C., V.A.C. ATS, and the V.A.C. Therapy logo are trademarks of KCI Licensing, Inc. DSL#15-0543.JN (9/15)



血漿分画製剤(液状・静注用免疫グロブリン製剤)

献血 ウェノグロブリン® IH5% 0.5g/10mL・1g/20mL・2.5g/50mL 静注 5g/100mL・10g/200mL

Venoglobulin IH5% i.v. 0.5g/10mL・1g/20mL・2.5g/50mL・5g/100mL・10g/200mL **献血** (生物学的製剤基準 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン)

特定生物由来製品 **処方箋医薬品** (注意-医師等の処方箋により使用すること)

薬価基準収載

血漿分画製剤(血液凝固阻止剤)

薬価基準収載

ニアート® 500単位 静注用 1500単位

Neuart i.v. 500units・1500units **献血** (生物学的製剤基準 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ)

特定生物由来製品 **処方箋医薬品** (注意-医師等の処方箋により使用すること)

製造販売元(資料請求先)

JB 一般社団法人
日本血液製剤機構

東京都港区浜松町2-4-1

※効能・効果、用法・用量、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

VGX-NAT(A4 1/2)2015年3月作成

[資料請求先]

一般社団法人 日本血液製剤機構 **くすり相談室** 〒105-6107 東京都港区浜松町2-4-1 医療関係者向け製品情報サイト <http://www.jbpo.or.jp/med/di/>



中外製薬

Roche ロシュグループ



がんに立ち向かう患者さんに 希望をお届けするのも、 私たちの仕事です。

すべては、患者さんが希望をもってがんに立ち向かえるがん医療の実現のために。私たち中外製薬は、革新的な医薬品の研究開発・生産・情報提供はもとより、患者さんやご家族、医療関係者に向けたセミナーの開催、最新がん医療の紹介など、さまざまな支援活動を行っています。

がん医療の最前線で、ともに。
中外オンコロジー

<http://gan-guide.jp>

ONCOLOGY(オンコロジー)は、腫瘍学・がん研究を表す言葉です。

at the Front Line
CHUGAI ONCOLOGY

高度管理医療機器
体外式膜型人工肺

オキシア AC-N / オキシア IC-N

Compact & Effective

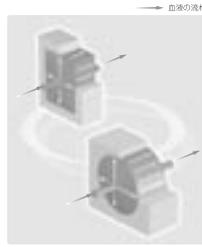
"円形血液流路"の開発によりガス交換部の小型化・効率化を実現



低圧力損失を実現

接液面積を大幅に低減

血液の低流速部分を低減



Legacoat (レガコート)は、血液適合性に優れた MPC(2-Methacryloyloxyethyl Phosphoryl Choline) ポリマー*を人工心肺製品の血液接触表面にコーティングしています。

Legacoat

*MPCポリマーは、生体細胞膜のリン脂質極性基の構造を模倣し、合成された高分子材料で、タンパク質の吸着・変性を抑制することで抗血栓性を発揮します。



Legacoat
oxiaACN



販売名：オキシア AC-N
医療機器承認番号：22600BZX00186000
高度管理医療機器：クラスIII

Legacoat
oxiaICN



販売名：オキシア IC-N
医療機器承認番号：22600BZX00187000
高度管理医療機器：クラスIII

株式会社 ジエイ・エム・エス <http://www.jms.co.jp>

お問い合わせ先 東京本社 治療デバイス営業部 TEL 03-6404-0603
〒140-0013 東京都品川区南大井1丁目13番5号 新南大井ビル



 大日本住友製薬

ポリエンマクロライド系抗真菌性抗生物質製剤 ————— 薬価基準収載
毒薬・処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

アムビゾーム® 点滴静注用 50mg
注射用アムホテリシンBリボゾーム製剤 (略号:L-AMB) *AmBisome*®

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等
については、添付文書をご参照ください。

製造販売元 (資料請求先)
大日本住友製薬株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8

《製品に関するお問い合わせ先》
くすり情報センター
TEL 0120-034-389
受付時間 / 月～金 9:00～18:30 (祝・祭日を除く)
【医療情報サイト】 <https://ds-pharma.jp/>

提携
 **GILEAD**

2015.9作成

滋賀医科大学外科同門会 2016年度

発行日 2016年12月

連絡先 滋賀医科大学 外科学講座内
外科同門会事務局
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
電話:077-548-2238 / 077-548-2244
